

志賀原子力発電所2号炉
敷地周辺の地質・地質構造について

データ集1（ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV）

2025年11月21日
北陸電力株式会社

余白

目 次

	項 目	今回添付	備考
データ集1-1(空中写真)	福浦断層周辺	—	敷地近傍
	敷地近傍のその他の断層等周辺	—	
	富来川南岸断層周辺	—	
データ集1-2 (ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV)	福浦断層	—	敷地近傍
	断層o	—	
	高ツボリ山東方リニアメント	—	
	富来川南岸断層	1-2-555 — 1-2-646	敷地周辺 (陸域)
	眉丈山第2断層	1-2-647 ～ 1-2-730	
	富来川断層	1-2-731 ～ 1-2-845	
	邑知潟南縁断層帯	1-2-847 ～ 1-2-880	

余白

データ集1－2

ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV

ボーリング孔一覧表(1/2)

紫字は第1193回審査会合以降に追加した箇所

福浦断層に関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
FK-1	94.48	45°	80.00	86	0.00 ~ 80.00	第973回	1-2-8~17	
F-1' ※1	53.08	45°	71.00	86	24.00 ~ 71.00	第1168回	1-2-18~33	0.00~24.00mは ノンコア、BHTVなし
FW-1	50.99	45°	100.00	86	0.00 ~ 100.00	第1009回	1-2-34~65	
OT-2 ※1	21.06	45°	60.00	86	0.00 ~ 60.00	第1009回	1-2-66~84	
OT-3	21.27	60°	40.00	86	0.00 ~ 40.00	第1009回	1-2-85~96	
OS-1	51.69	45°	100.00	86	0.00 ~ 100.00	第1064回	1-2-97~125	
OS-2	55.91	45°	100.00	86	0.00 ~ 100.00	第1064回	1-2-126~154	
OS-3	57.18	45°	39.00	86	0.00 ~ 39.00	第1064回	1-2-155~163	
OS-3'	57.17	45°	62.00	86	0.00 ~ 62.00	第1064回	1-2-164~184	
OS-4	55.44	45°	110.00	86	0.00 ~ 110.00	第1064回	1-2-185~216	
OS-11	55.91	45°	70.00	86	0.00 ~ 70.00	第1064回	1-2-217~236	
FD-1	38.94	45°	39.00	86	0.00 ~ 39.00	第1064回	1-2-237~250	
FD-2	38.41	45°	25.00	86	0.00 ~ 25.00	第1064回	1-2-251~260	
FD-3	48.80	45°	50.00	86	0.00 ~ 50.00	第1064回	1-2-261~278	
FD-4	38.91	45°	50.00	86	0.00 ~ 50.00	第1064回	1-2-279~295	
FD-5	37.18	45°	50.00	86	0.00 ~ 50.00	第1064回	1-2-296~312	
FD-6	52.96	45°	70.00	86	0.00 ~ 70.00	第1168回	1-2-313~336	
FD-7	39.03	45°	60.00	86	0.00 ~ 60.00	第1064回	1-2-337~355	
FD-8	48.30	45°	65.00	86	0.00 ~ 65.00	第1064回	1-2-356~378	
FD-8'	48.35	45°	7.00	86	0.00 ~ 7.00	第1064回	1-2-379~382	
FD-9	47.12	45°	50.00	86	0.00 ~ 50.00	第1064回	1-2-383~401	

※1:2013年度に実施

断層oに関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
OS-5	37.89	45°	50.00	86	0.00 ~ 50.00	第1168回	1-2-404~420	
OS-6	37.89	45°	60.00	86	0.00 ~ 60.00	第1168回	1-2-421~439	
OS-7	37.87	45°	29.00	86	0.00 ~ 29.00	第1168回	1-2-440~448	
OS-8	37.87	45°	32.00	86	0.00 ~ 32.00	第1168回	1-2-449~458	
OS-9	55.55	45°	80.00	86	0.00 ~ 80.00	第1064回	1-2-459~481	
OS-5.5	21.21	70°	58.40	86	0.00 ~ 58.40	第1168回	1-2-482~499	
OS-6.5	37.84	70°	38.00	86	0.00 ~ 38.00	第1168回	1-2-500~511	
OS-5.5'	21.85	70°	20.00	86	0.00 ~ 20.00	第1168回	1-2-512~518	
OS-5.5''	21.85	鉛直	15.00	86	0.00 ~ 15.00	第1168回	1-2-519~523	

高ツボリ山東方リニアメントに関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
TTE-1	142.30	45°	52.00	86	0.00 ~ 52.00	第1009回	1-2-526~539	
TTE-2	143.18	45°	52.00	86	0.00 ~ 52.00	第1009回	1-2-540~553	

富来川南岸断層に関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
TJ-1	10.96	鉛直	200.00	86	0.00 ~ 200.00	第973回	1-2-556~567	BHTVなし※2
WD-1	53.14	45°	115.00	86	0.00 ~ 115.00	第1009回	1-2-568~604	
IM-a	37.72	60°	80.00	86	0.00 ~ 80.00	第1064回	1-2-605~629	
TJ-2	7.35	鉛直	40.00	86	0.00 ~ 40.00	今回	1-2-630~638	0.00~28.00mはBHTVなし※3
TJ-3	7.19	鉛直	30.00	86	0.00 ~ 30.00	今回	1-2-639~640	BHTVなし※3
TJ-4	6.89	鉛直	30.00	86	0.00 ~ 30.00	今回	1-2-641~642	BHTVなし※3
TJ-5	6.86	鉛直	24.00	86	0.00 ~ 24.00	今回	1-2-643~644	BHTVなし※3
TJ-5' ※4	-17.14	鉛直	7.00	86	24.00 ~ 31.00	今回	1-2-645~646	0.00~24.00mはノンコア、 BHTVなし※3

※2:孔壁崩壊により、BHTVによる走向傾斜データが取得できなかった。

※3:沖積層・洪積層区間は、孔壁崩壊の可能性があるため、ケーシングを使用して掘削を行ったことから、BHTVは実施していない。

※4:TJ-5' 孔は、TJ-5孔の深度24m以深を掘削中にコアを流失したため、深度24m以深について再掘削したもの。

ボーリング孔一覧表(2/2)

紫字は第1193回審査会合以降に追加した箇所

眉丈山第2断層に関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
宿屋No.1	6.487	鉛直	70.00	86	0.00 ~ 70.00	今回	1-2-648～653	BHTVなし
宿屋No.2	6.331	鉛直	60.00	86	0.00 ~ 60.00	今回	1-2-654～659	BHTVなし
宿屋No.3	4.409	鉛直	70.00	86	0.00 ~ 70.00	今回	1-2-660～665	BHTVなし
宿屋No.4	3.602	鉛直	90.00	86	0.00 ~ 90.00	今回	1-2-666～673	BHTVなし
宿屋No.6	6.495	75°	20.00	86	0.00 ~ 20.00	今回	1-2-674～676	BHTVなし
宿屋No.7	6.356	鉛直	32.58	86	0.00 ~ 32.58	今回	1-2-677～680	BHTVなし
宿屋No.8	12.187	鉛直	14.35	86	0.00 ~ 14.35	今回	1-2-681～682	BHTVなし
宿屋No.9	17.377	鉛直	10.10	86	0.00 ~ 10.10	今回	1-2-683～684	BHTVなし
宿屋No.10	12.187	鉛直	90.00	86	0.00 ~ 90.00	今回	1-2-685～694	BHTVなし
徳田北方 No.1	21.15	60°	40.00	86	0.00 ~ 40.00	今回	1-2-695～701	BHTVなし
徳田北方 No.2	19.47	鉛直	33.00	86	0.00 ~ 33.00	今回	1-2-702～706	BHTVなし
徳田北方 No.3	19.77	鉛直	35.00	86	0.00 ~ 35.00	今回	1-2-707～712	BHTVなし
徳田北方 No.4	19.35	鉛直	40.00	86	0.00 ~ 40.00	今回	1-2-713～719	BHTVなし
徳田北方 No.5	19.52	鉛直	40.00	86	0.00 ~ 40.00	今回	1-2-720～726	BHTVなし
NNOYH-01	15.64	60°	51.00	86	0.00 ~ 51.00	今回	1-2-727～730	BHTVなし

富来川断層に関する調査ボーリング孔一覧表

孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
KD-1	203.62	60°	150.00	86	24.00 ~ 150.00	今回	1-2-732～772	0.00～24.00mはノンコア
KD-1' ※	203.62	75°	100.00	86	0.00 ~ 100.00	今回	1-2-773～802	
IG-1	93.55	60°	140.00	86	0.00 ~ 14.00	今回	1-2-803～845	

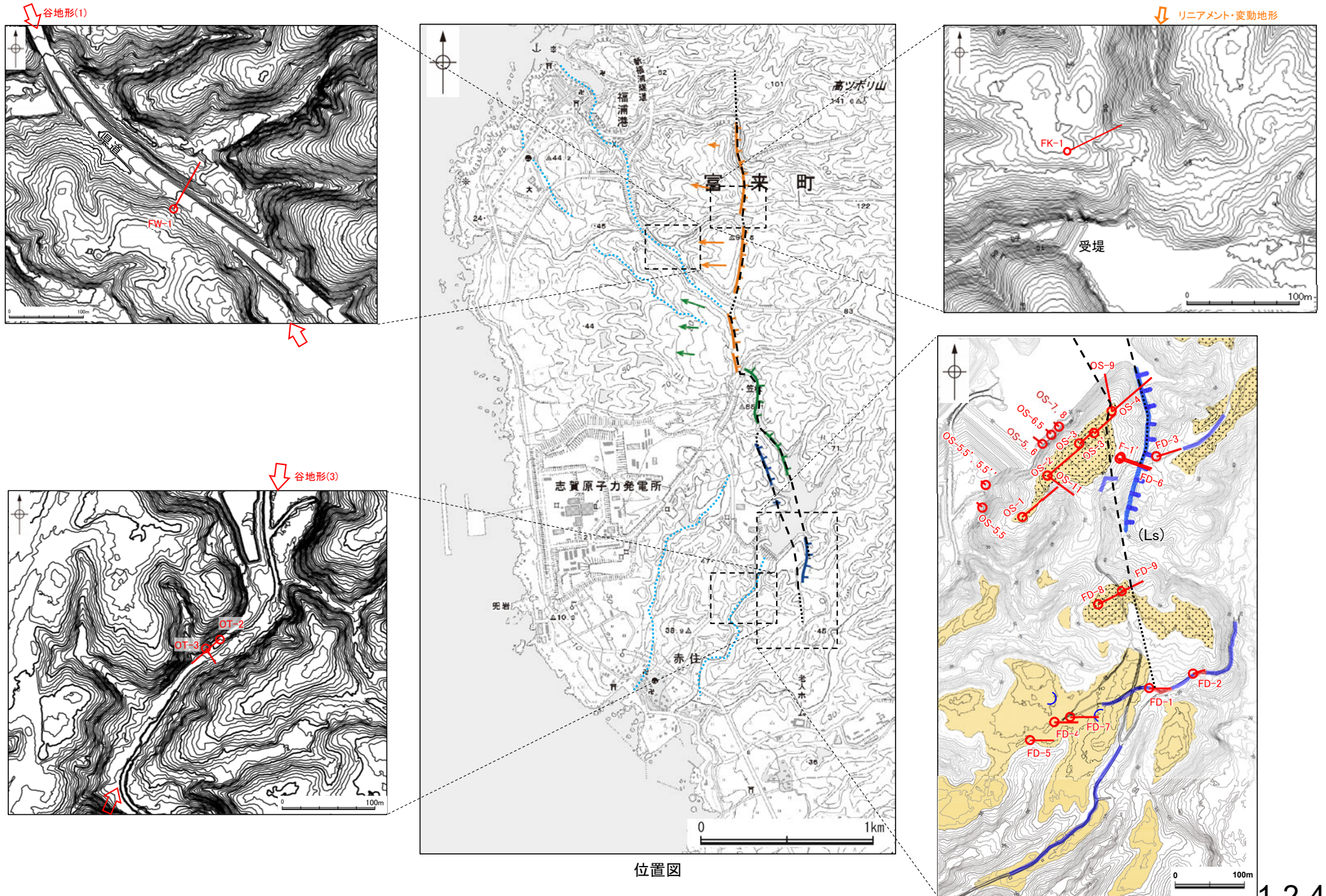
※ KD-1' 孔は、地表付近の風化の影響のため、KD-1孔の深度0～24mをノンコア区間としたことから、補完的により高角の掘進角75°で掘削したもの。

邑知潟南縁断層帯に関する調査ボーリング孔一覧表

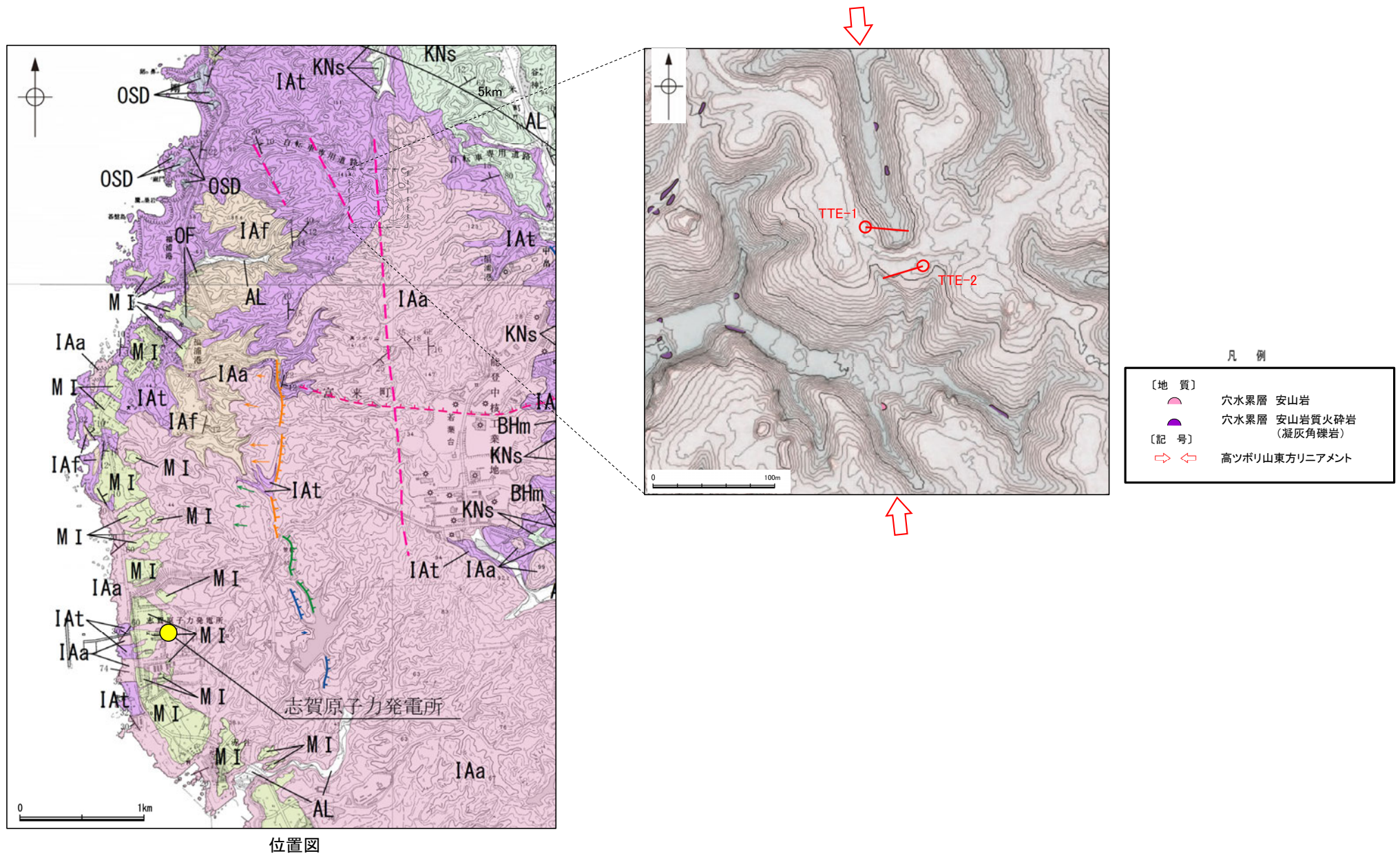
孔名	孔口標高 (m)	掘進方向	掘進長 (m)	孔径 (mm)	掲載範囲 (m)	資料提出時期 (審査会合)	頁	備考
中川町付近 No.1	4.11	鉛直	28.10	86	0.00 ~ 28.10	今回	1-2-848～852	BHTVなし
中川町付近 No.2	5.03	鉛直	27.00	86	0.00 ~ 27.00	今回	1-2-853～856	BHTVなし
中川町付近 No.3	6.43	鉛直	27.00	86	0.00 ~ 27.00	今回	1-2-857～860	BHTVなし
中川町付近 No.4	7.99	鉛直	27.00	86	0.00 ~ 27.00	今回	1-2-861～864	BHTVなし
中川町付近 No.5	8.26	鉛直	24.00	86	0.00 ~ 24.00	今回	1-2-865～868	BHTVなし
中川町付近 No.6	8.78	鉛直	22.00	86	0.00 ~ 22.00	今回	1-2-869～872	BHTVなし
中川町付近 No.7	9.99	鉛直	20.00	86	0.00 ~ 20.00	今回	1-2-873～876	BHTVなし
中川町付近 No.8	10.75	鉛直	20.00	86	0.00 ~ 20.00	今回	1-2-877～880	BHTVなし

余白

位置図(福浦断層, 断層o)



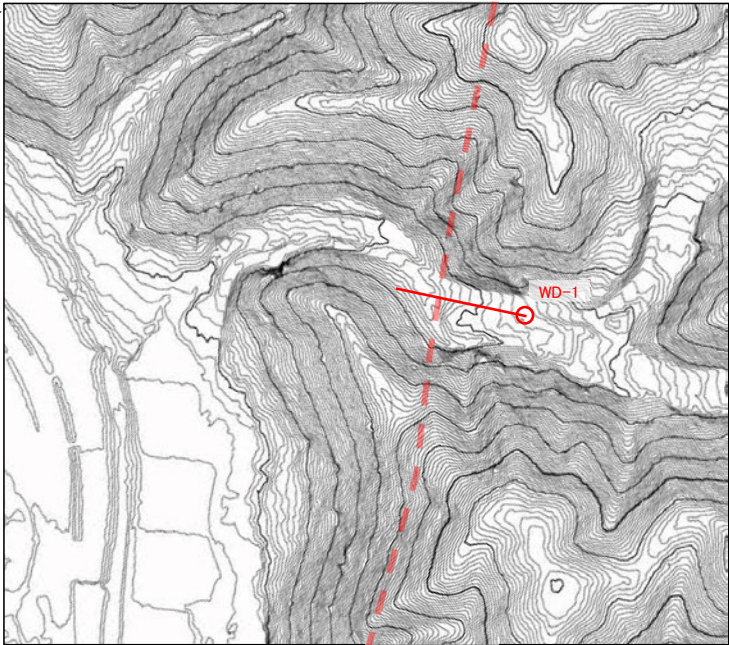
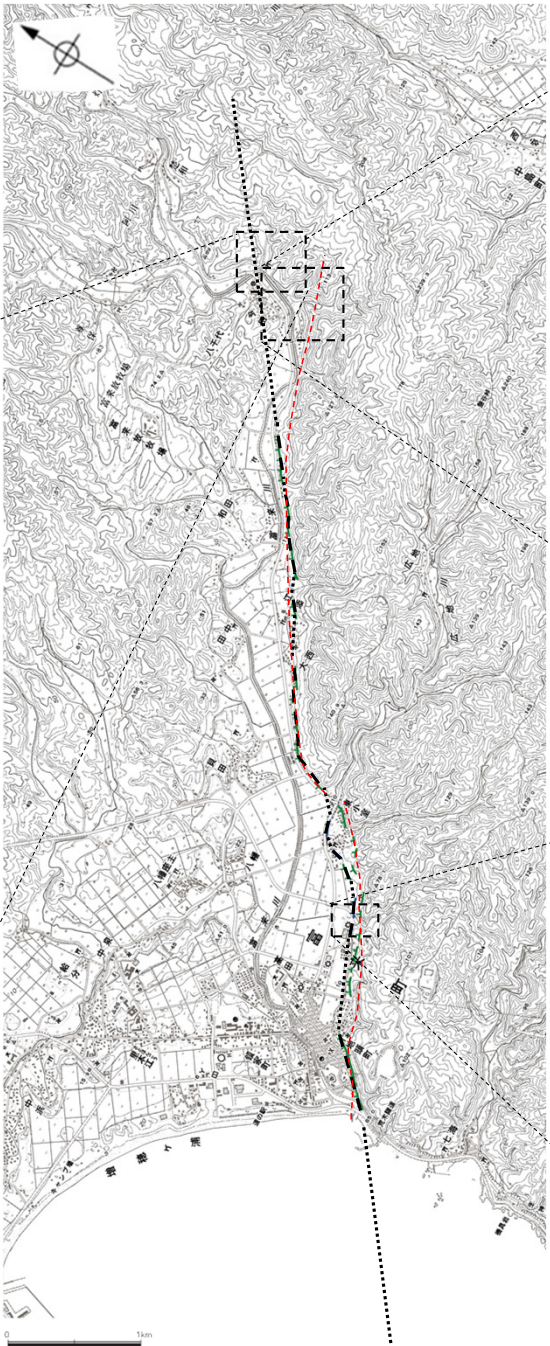
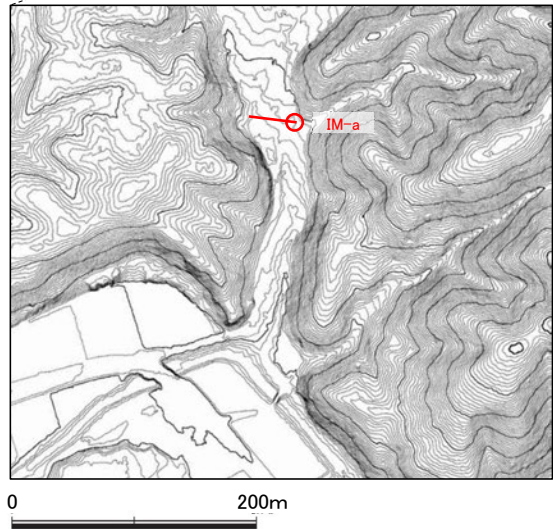
位置図(高ツボリ山東方リニアメント)



位置図(富来川南岸断層 1/2)



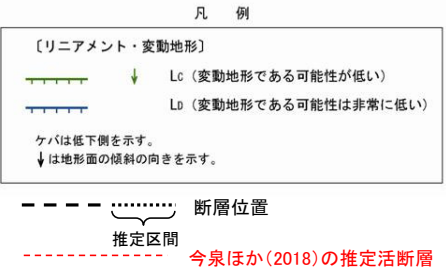
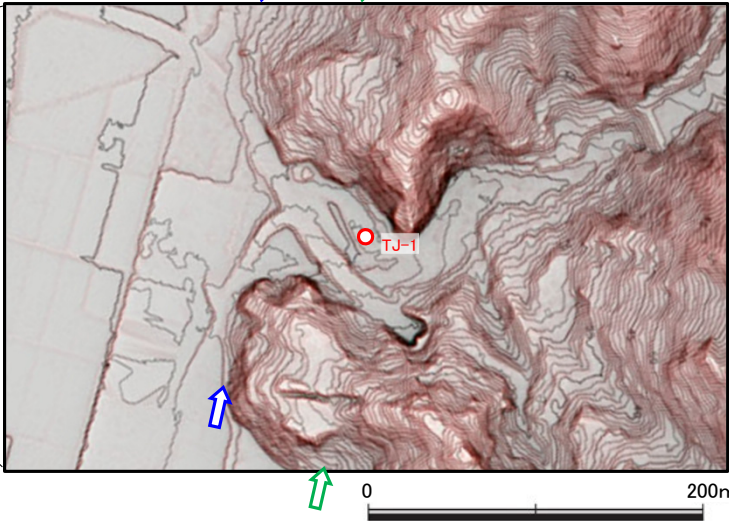
位置図



今泉ほか(2018)の
推定活断層

リニアメント・変動地形
 L_D

リニアメント・変動地形
 L_C

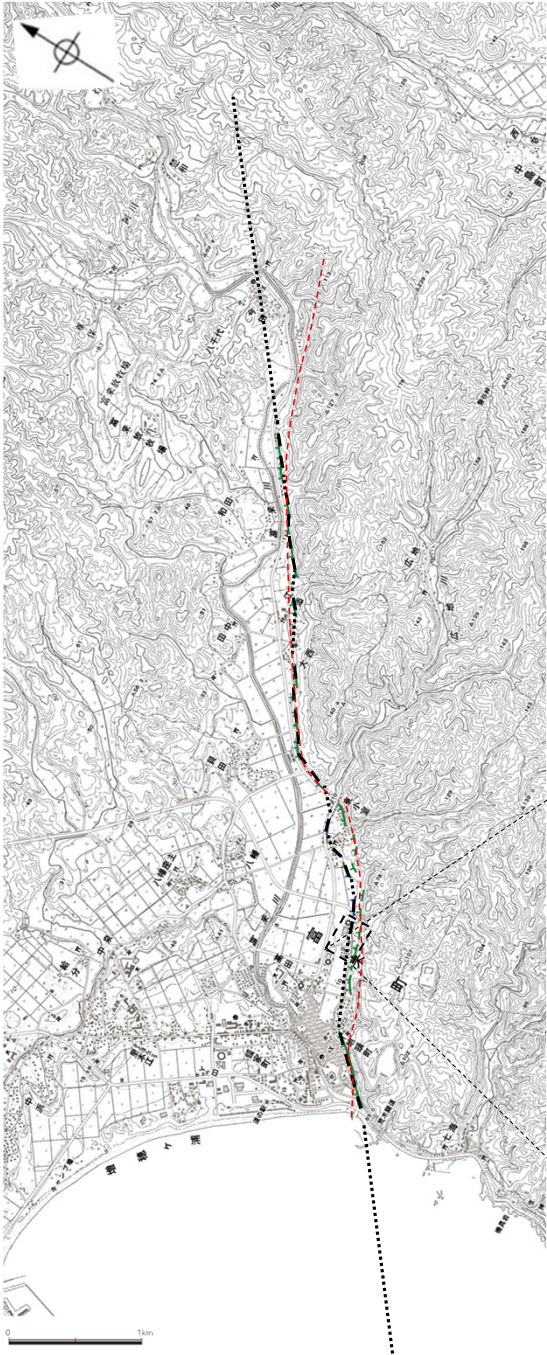


位置図(富来川南岸断層 2/2)

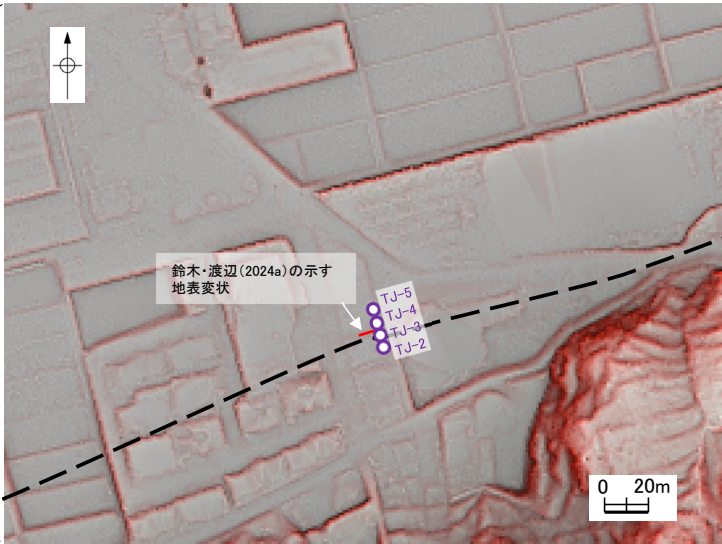
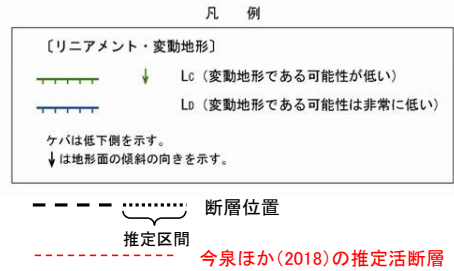
紫字は第1193回審査会合以降に追加した箇所



位置図



位置図



富来川南岸断層
(推定位置)

位置図(眉丈山第2断層)

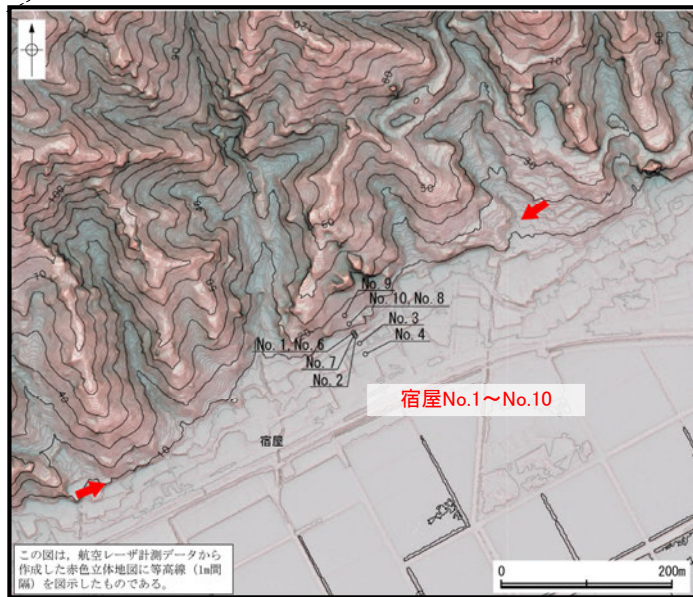


位置図

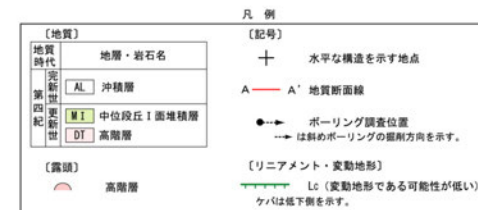
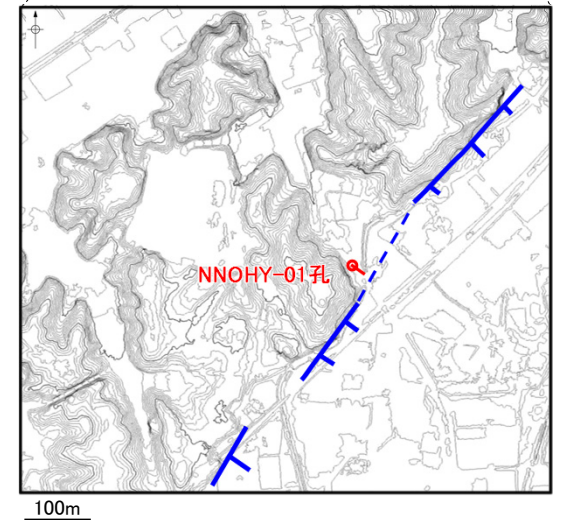
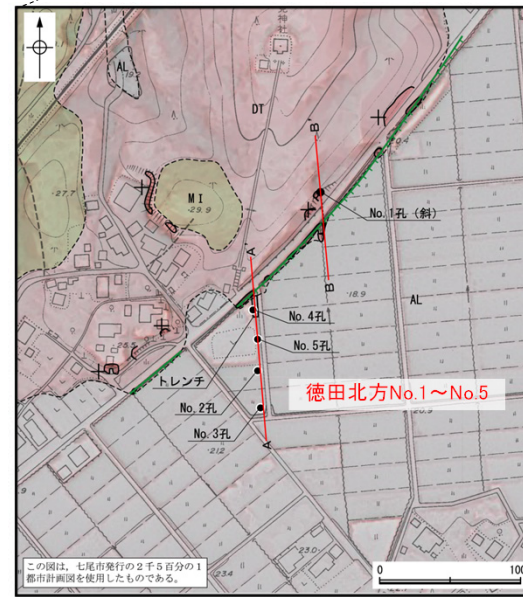


拡大位置図

----- 断層位置
推定区間



→ ← リニアメント・変動地形



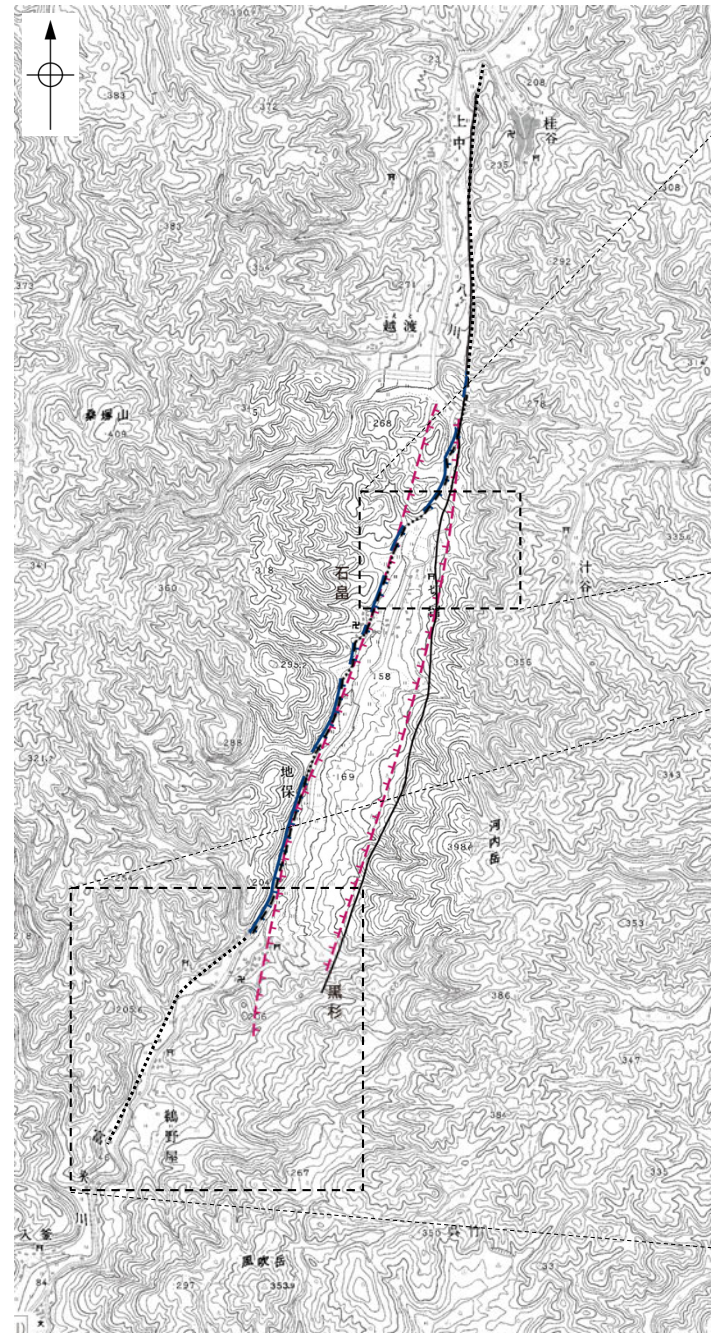
[リニアメント・変動地形]

↓ Lb (変動地形である可能性がある)
 ↓ Lc (変動地形である可能性が低い)
 ↓ Ld (変動地形である可能性は非常に低い)
 ケバは低下側を示す。
 ↓ は地形面の傾斜の向きを示す。

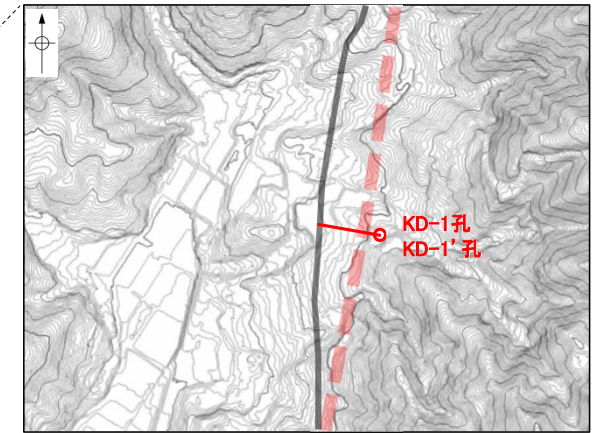
位置図(富来川断層)



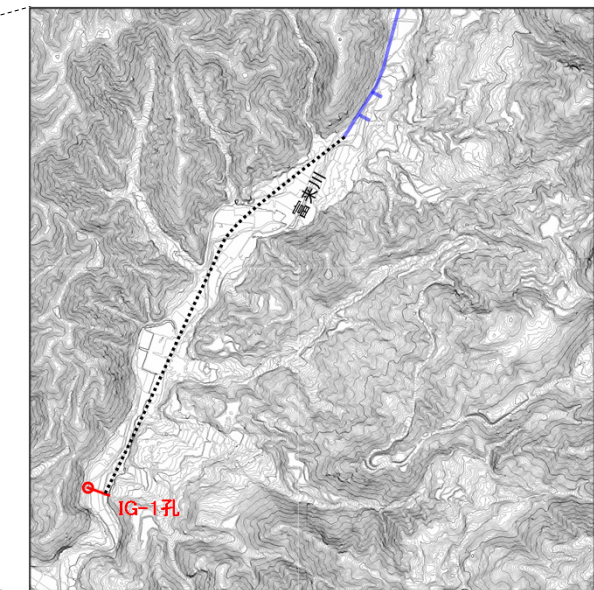
位置図



拡大位置図



--- 活断層研究会(1991)他による
推定活断層
--- 今泉ほか(2018)による推定活断層



凡 例

[リニアメント・変動地形]
--- Ld (変動地形である可能性は非常に低い)
--- ケバは低下側を示す。

[活断層研究会 (1991) 他]^{※1}

--- 推定活断層
 短線は緩ずれの低下側を示す。

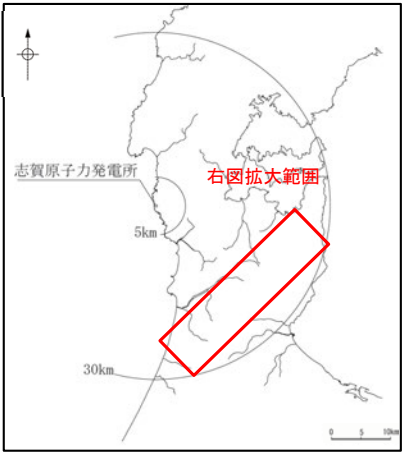
※1: 活断層研究会(1991) (基図: 1/200,000地形図) とほぼ同じ位置に図示し、より精度の高い、太田・国土院地理院地理調査部(1997) (基図: 1/50,000地形図) の断層トレース。

[今泉ほか (2018)]

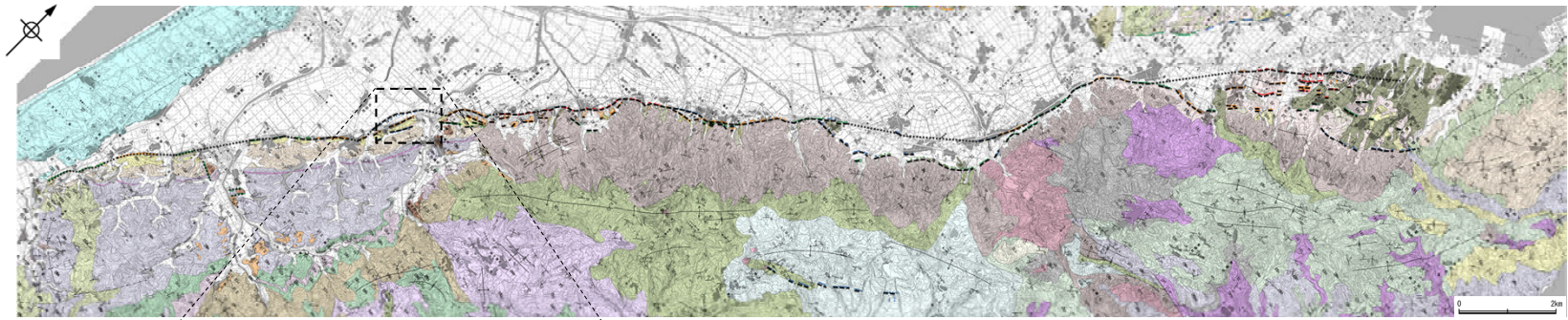
--- 推定活断層

--- 断層位置
--- 推定区間

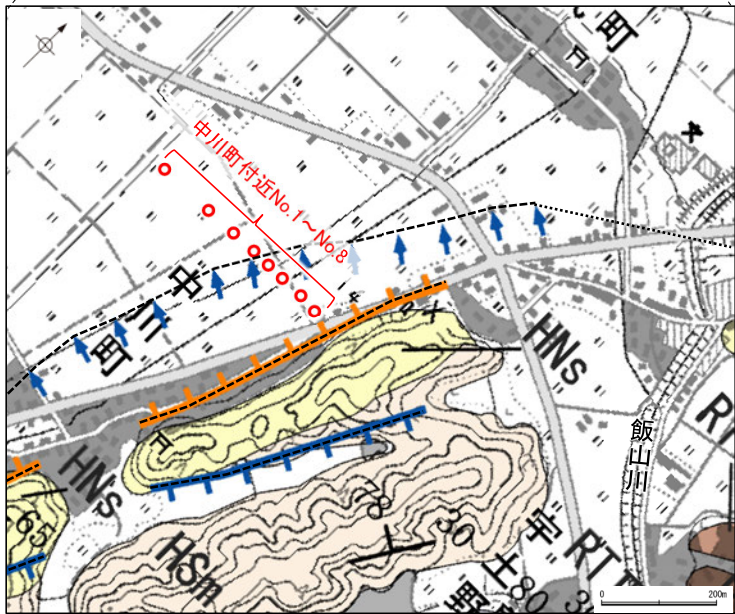
位置図(邑知潟南縁断層帯)



位置図



拡大位置図



凡 例

〔リニアメント・変動地形〕

- LA (変動地形である可能性が高い)
- LB (変動地形である可能性がある)
- LC (変動地形である可能性が低い)
- LD (変動地形である可能性は非常に低い)

ケバは低下側を示す。
↓は地形面傾斜の向きを示す。

地質時代	地 層・岩 石 名
第四紀	SD 砂丘砂層
第四紀	AL 沖積層
第四紀	RTIV 河成段丘IV面堆積層
第四紀	RTIII 河成段丘III面堆積層
第四紀	RTII 河成段丘II面堆積層
第四紀	MI 中位段丘I面堆積層
第四紀	DT 高階層
第三紀	DH 堆生層
第三紀	HNS 中川砂岩層
第三紀	HSm 崎山シルト岩層・杉野屋シルト岩層
第三紀	OSa 敷波互層
第三紀	OMn 虫崎泥岩層・聖川泥岩層 (==は挟在する軽石質凝灰岩層)
第三紀	OKa 葛葉互層
第三紀	OSs 七尾石灰質砂岩層 (非石灰質部)
第三紀	OLs 七尾石灰質砂岩層 (石灰質部)
第三紀	BAs 赤浦砂岩層
第三紀	BSc 新宮砂岩層
第三紀	KGc 百海礫岩層
第三紀	KBc 高島礫岩層
第三紀	KFs 懸札砂岩層
第三紀	KTs 石動山礫岩層
第三紀	EMs 三尾砂岩層
第三紀	BNn 中波泥岩層
第三紀	KJn 国見泥岩層
第三紀	KNs 多根互層
第三紀	KKc コロサ礫岩層
第三紀	IAT 熊淵火山岩類 安山岩質火砕岩 (凝灰角礫岩)
第三紀	Grn 花崗岩・片麻岩

----- 断層位置
----- 推定区間

余白

富来川南岸断層

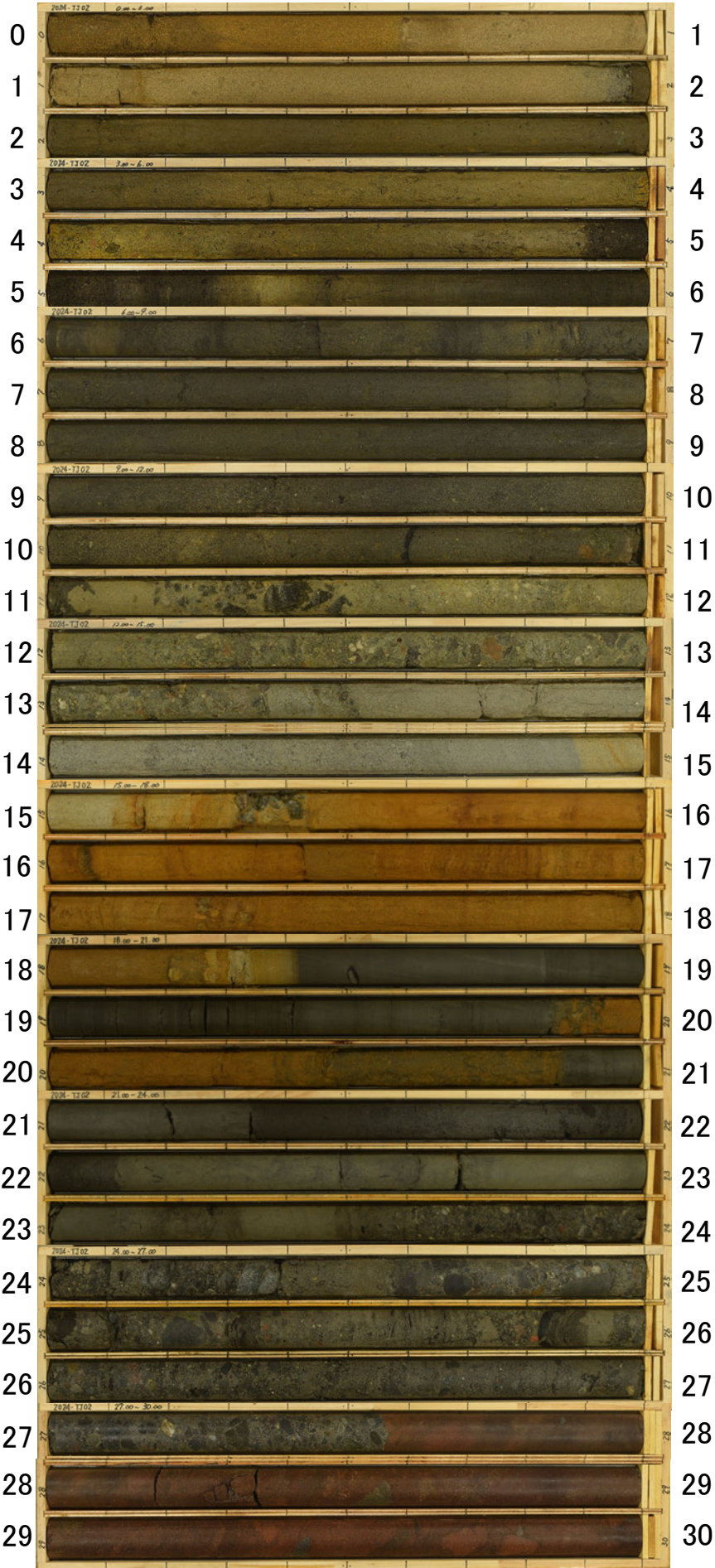
2024-TJ02

G L = 7.35m

L = 40.00m

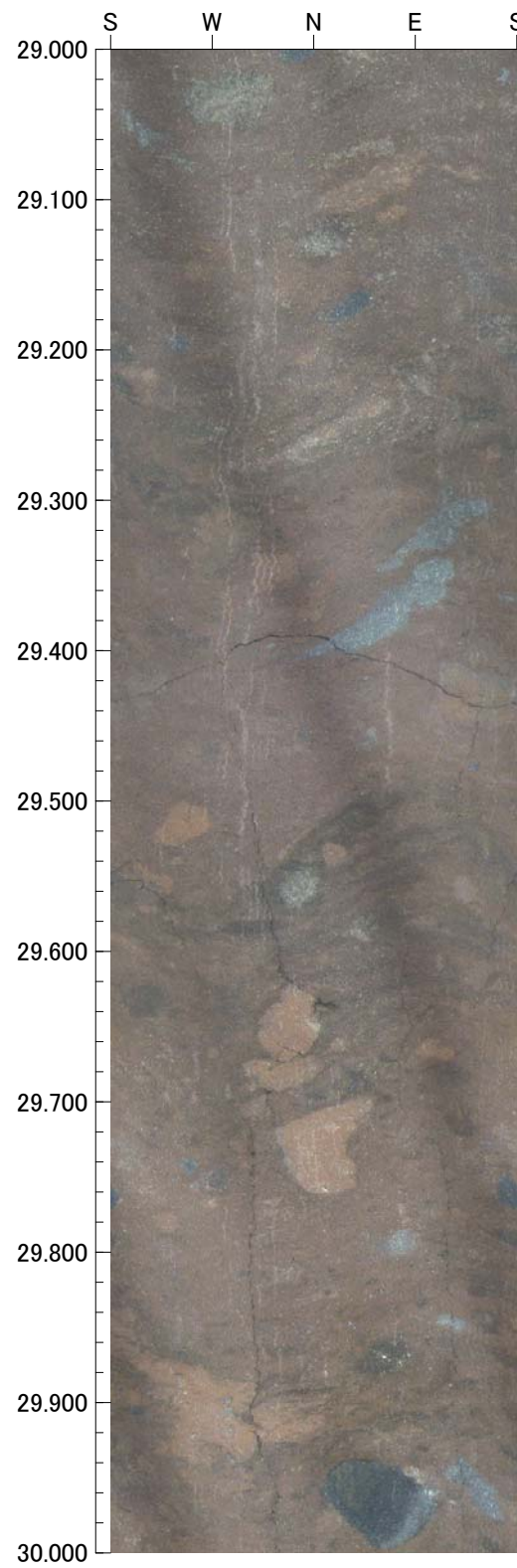
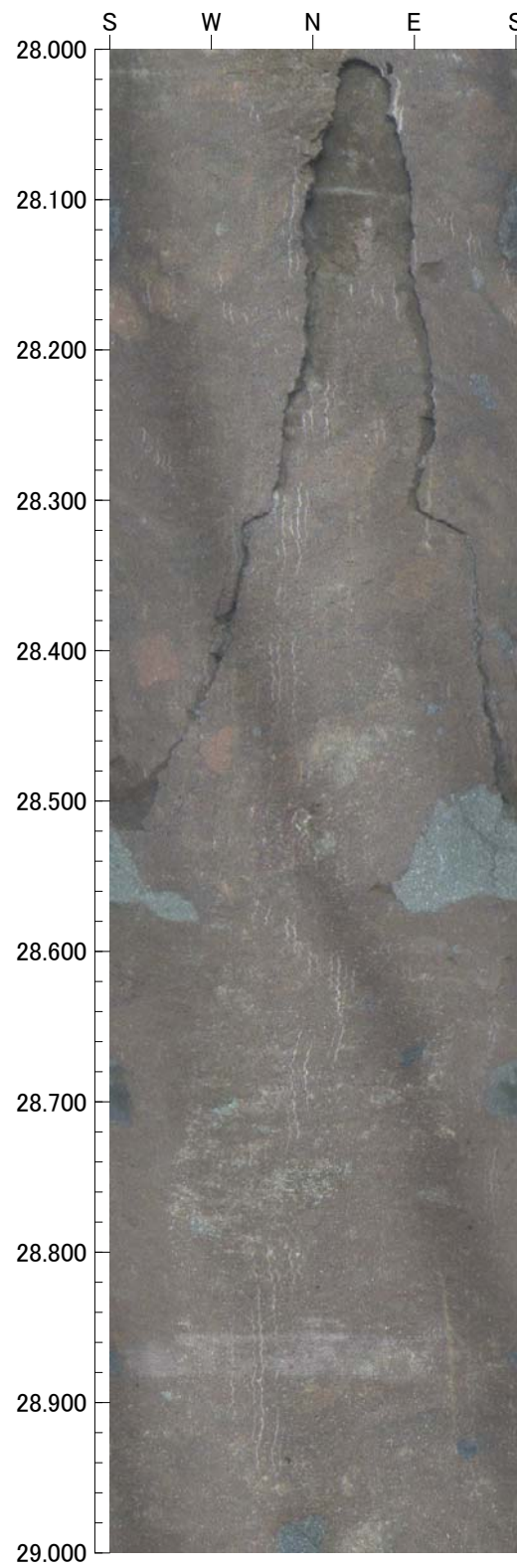
標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	コア 採取率 (%)				最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	岩 級 区 分	記 事
						20	40	60	80				
0				盛土	にぶい褐 黄褐色 にぶい黄 明黄色					83		D	●0.00~1.98m 盛土
	5.37	1.98								86			0.00~0.59m 細~粗粒砂層。締め悪く指圧で跡が残る。
				砂質 シルト層	灰 オリーブ ・ 暗 オリーブ					91		D	0.59~1.98m 細~中粒砂層。締め悪く指圧で跡が残る。
	2.72	4.63								62			●1.98~13.52m 沖積層
5				シルト・ 腐植互層	灰オリーブ ・ オリーブ黒					93		D	1.98~4.63m 砂質シルト層。締め悪く指圧で跡が残る。全体に層理に乏しい。
	1.19	6.16								100			4.63~6.16m シルトと腐植の互層。締め悪く指圧で跡が残る。
				腐植 シルト 混じり 砂層	オリーブ 黒					55		D	4.90~5.28m 腐植層。上位層との境界は明瞭。
										77			5.80~6.07m 腐植層。
										100		D	6.16~10.20m 腐植、シルト混じり砂層。締め悪く指圧で跡が残る。腐植とシルトが 混じる極細~中粒砂からなる。全体に層理に乏しいが一部に水平な層理が認め られる。
10	-2.85	10.20		腐植 シルト混 じり砂層	オリーブ 黒					100		D	10.20~11.07m 腐植、シルト、礫まじり砂層。腐植、シルト、細礫が混じる極細~ 中粒砂からなる。層理に乏しい。基底は侵食面で、直上に径1~5cmの垂円~垂角 礫を40~60%含む。偽礫も含む。
	-3.72	11.07								100			11.07~13.52m 砂礫層。細~粗粒砂の基質に径1~10cmの垂円~垂角礫を10~60% 含む。全体として上方細粒化し、基底は侵食面で20° 傾斜する。
	-6.17	13.52		砂礫層	灰 オリーブ					100		D	
				中~粗粒 砂層	灰 オリーブ オリーブ 灰					72		D	●13.52~27.56m 更新統
15	-8.09	15.44								100			13.52~15.44m 中~粗粒砂層。締め悪く指圧で跡が残る。細粒層や斜交層理を伴 う。基底に砂礫層を挟む。
				細~中粒 砂層	黄褐 褐色					56		D	15.44~18.33m 細~中粒砂層。上位層より締めが良いが、指圧で跡が残る。礫層 や斜交層理を伴う。
	-10.98	18.33								58			
				粘土層	灰オリーブ オリーブ黒					100		D	18.33~19.85m 粘土層。水平で細かい層理が発達し、砂の薄層を挟む。締めま っており指圧で跡が残らない。
20	-12.50	19.85								44			19.85~20.86m 細~中粒砂層。締め悪く指圧で跡が残る。最上部と下半部は粘 土の偽礫を含む。
	-13.51	20.86		細~中粒 砂層	黄褐 オリーブ褐					48		D	
	-13.99	21.34		粘土層	オリーブ灰					66		D	20.86~21.34m 粘土層。一部に層理が認められる。よく締めっており指圧で跡 が残らない。
	-14.77	22.12		腐植質 シルト・ 腐植混じり 砂互層	オリーブ黒 ・ 灰					49		D	21.34~22.12m 腐植質シルトと腐植混じり砂の互層。指圧で跡が残らない。基底 部に生痕化石を伴う。
	-16.17	23.52		腐植混じり シルト・ 砂互層	灰 オリーブ					100		D	22.12~23.52m 腐植混じりシルトと砂の互層。植物根化石が認められる。下部で 腐植分に富む。
25				砂礫層	オリーブ灰					43			23.52~27.56m 砂礫層。中~極粗粒砂の基質に径0.5~8cmの垂円~垂角礫を30 ~60%含む。締め具合は指圧で跡が残らないから残るまで様々である。
	-20.21	27.56								88		D	
										100			
				安山岩 (角礫質)	暗赤褐 ・ 暗赤					65	100	Ab	●27.56~40.00m 別所岳安山岩類
30	-23.11	30.46								100	100		27.56~30.46m 安山岩(角礫質)。ハンマーの軽打で金属音を発し、ナイフで傷 がつかない硬さ。径1~10cmの安山岩角礫が認められる。割れ目は、ほとんど認 められない。下位との境界は60° 傾斜し漸移する。
	-24.09	31.44			黒褐 緑黒					66	100		
				火山礫 凝灰岩	暗灰黄 ・ オリーブ 黒					48	100	Bb	30.46~31.44m 安山岩(角礫質)。下位との境界は60° 傾斜し漸移する。
	-26.23	33.58								55	88		31.44~33.58m 火山礫凝灰岩。凝灰岩の基質に径1~5cmの安山岩角~垂角礫 や軽石を30~40%含む。軽石は圧密されレンズ状である。
					赤 ・ 極暗赤褐					39	83	Ab	33.58~35.65m 安山岩(角礫質)。基質と角礫部が斑状に分布する。
35	-28.30	35.65		安山岩 (角礫質)						70	100		35.65~40.00m 安山岩(角礫質)。基質と角礫部が斑状に分布する。
										43	100		
					暗赤褐 ・ 赤黒					48	100	Ab	
										61	98		
										73	100		
40	-32.65	40.00								52	97		

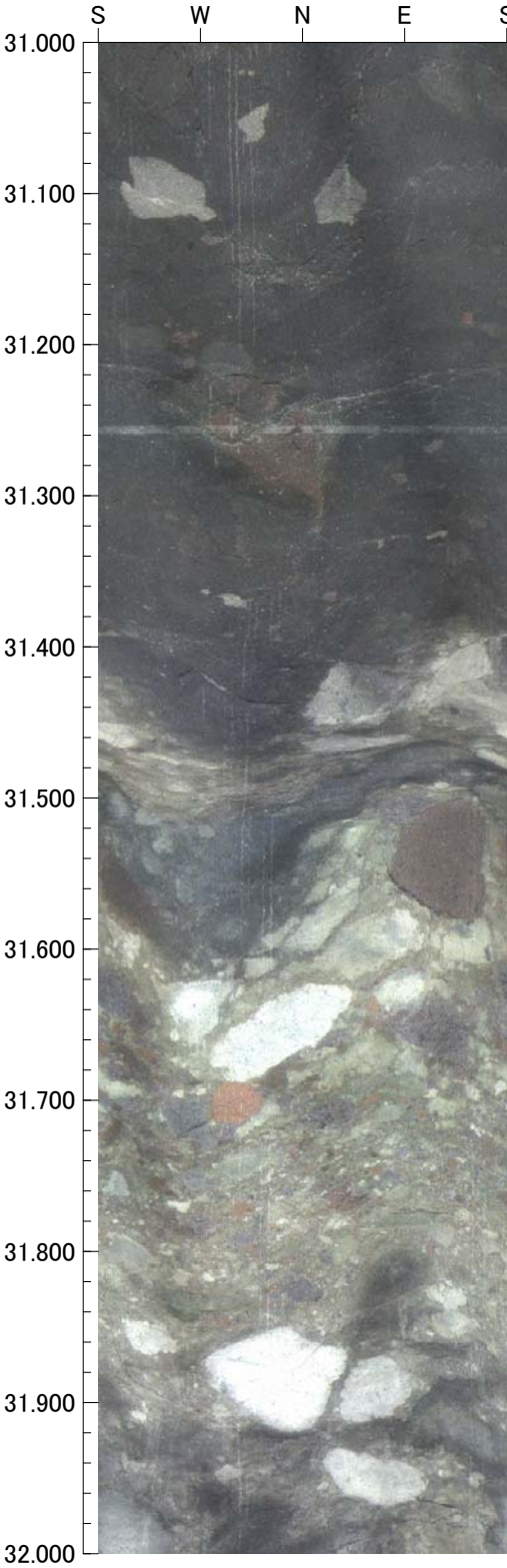
TJ-2孔(0.00~30.00m)

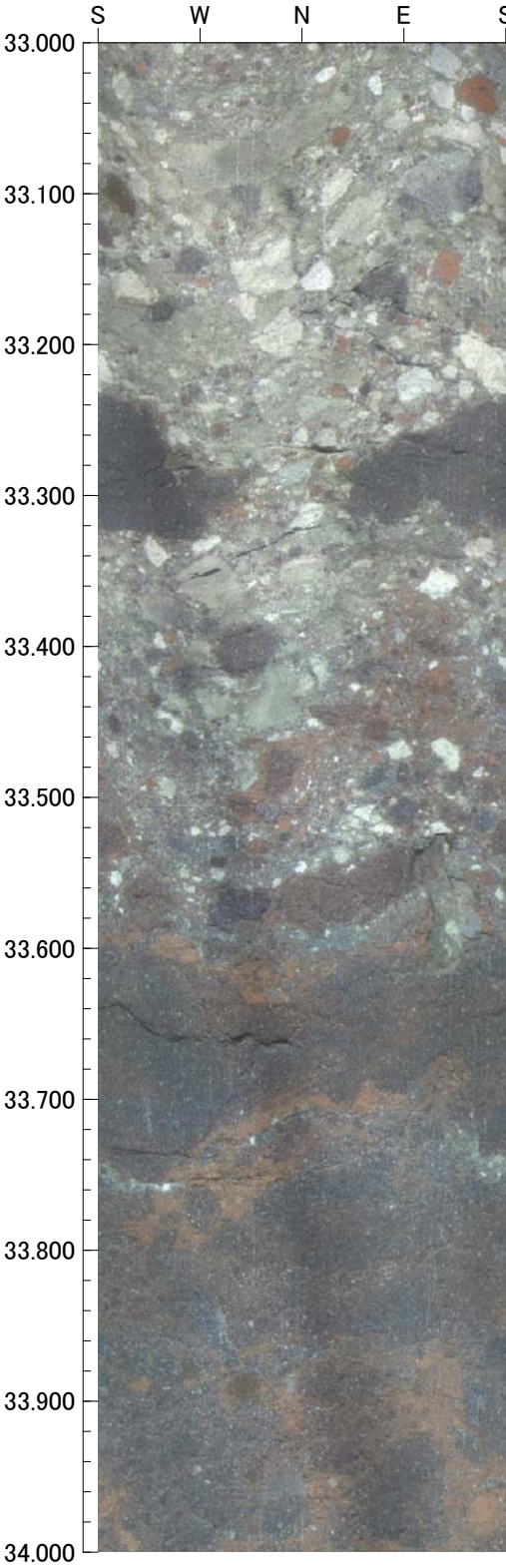
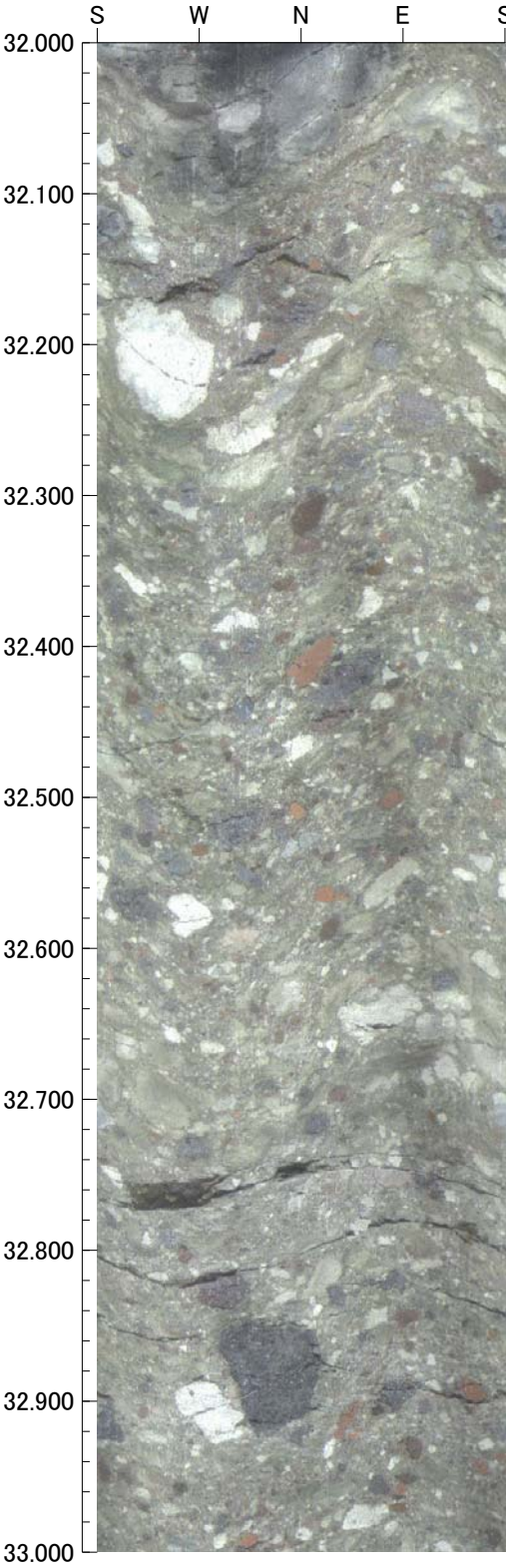


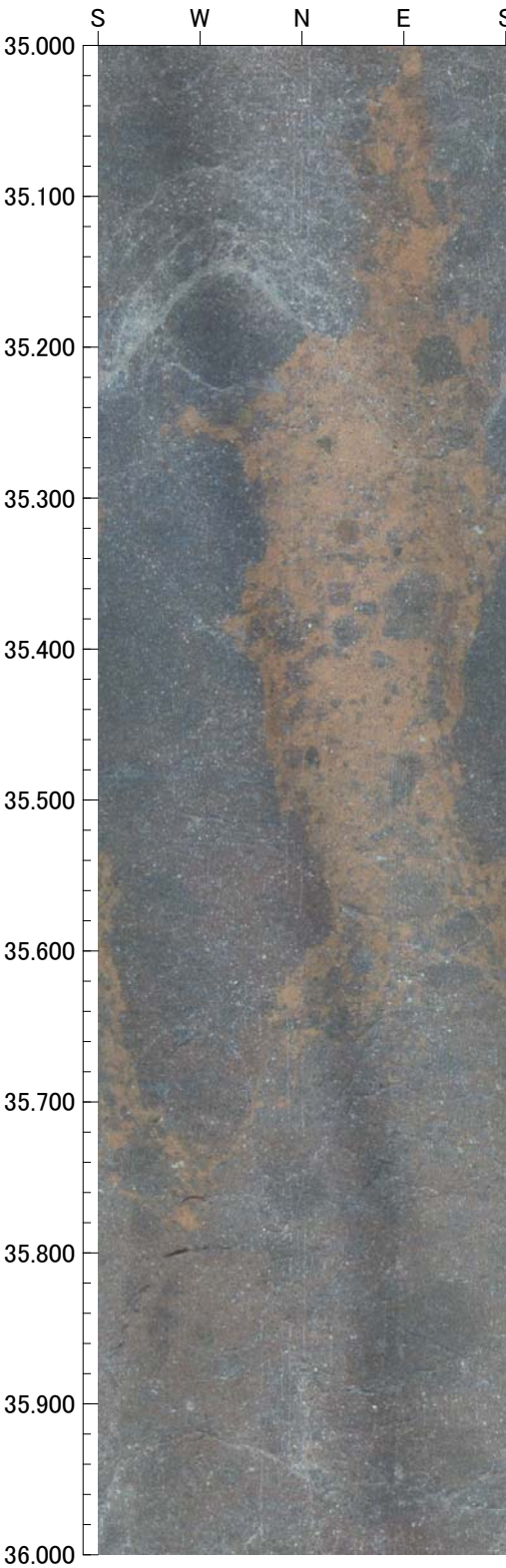
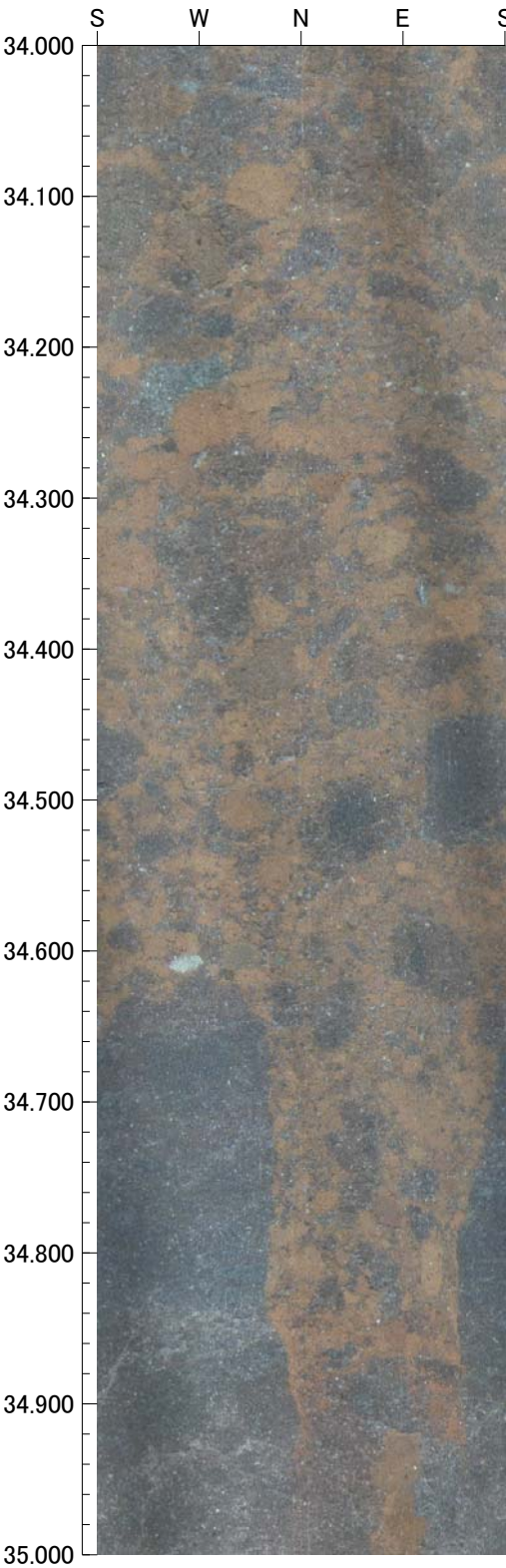
TJ-2孔 (30.00~40.00m)







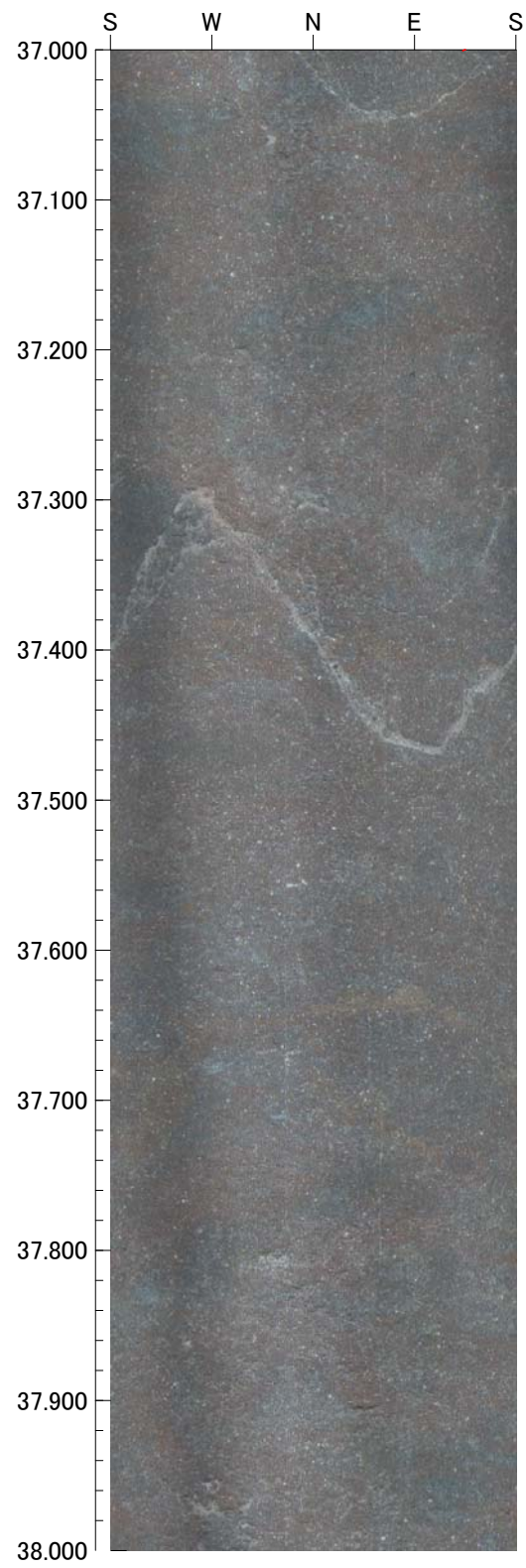
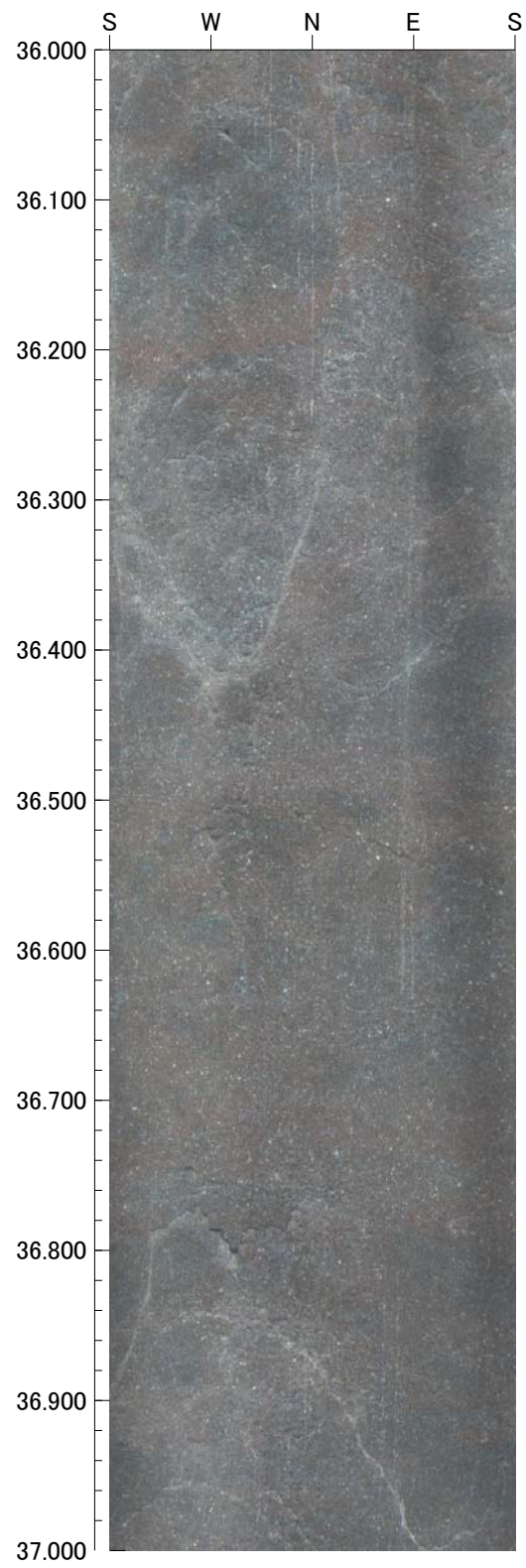




孔番：2024-TJ02

36.000m - 38.000m

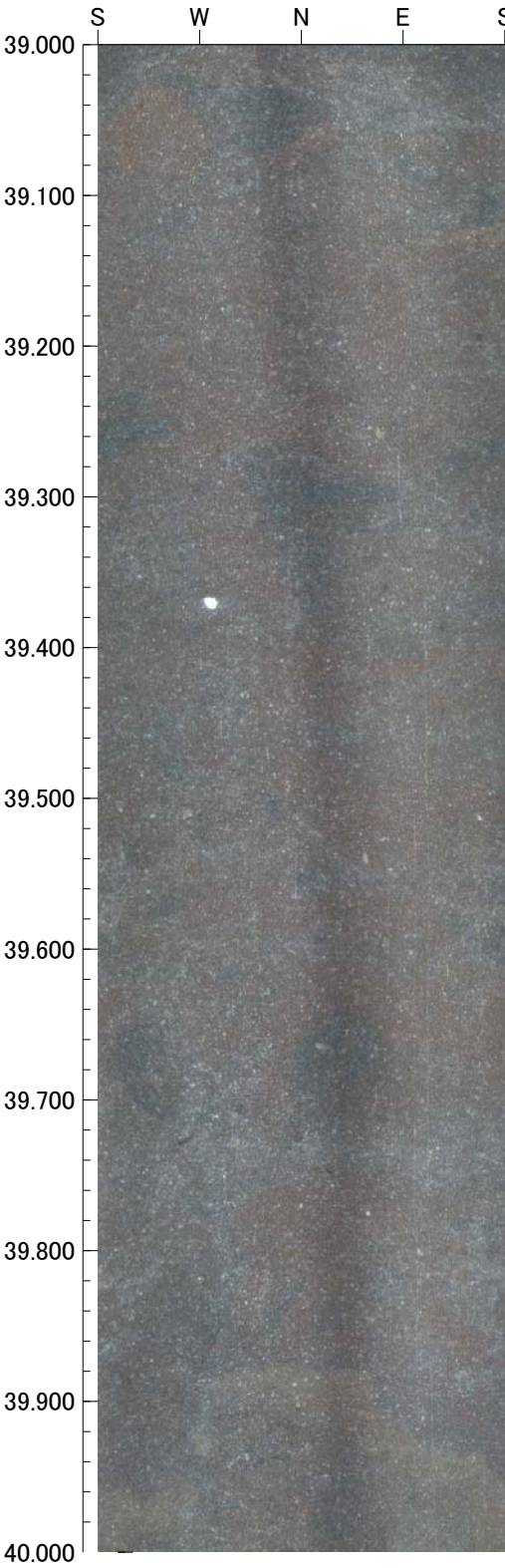
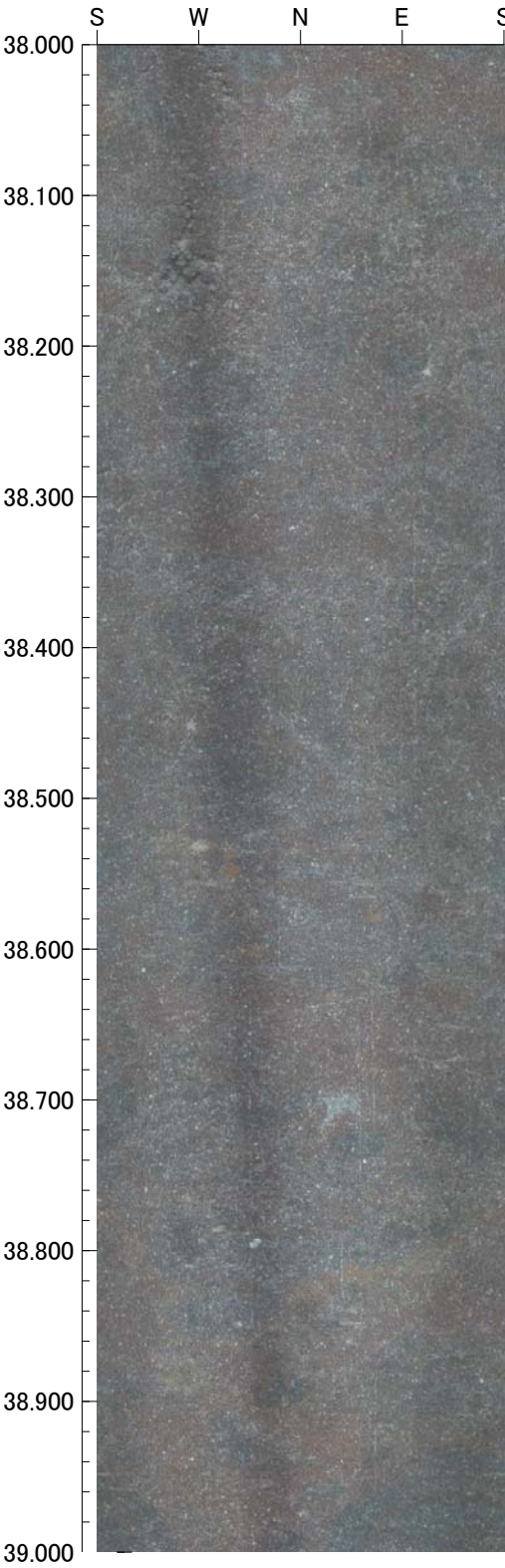
孔方位： 0 孔傾斜：-90



孔番：2024-TJ02

38.000m - 40.000m

孔方位： 0 孔傾斜： -90



$$L = 30.00\text{m}$$

1-2-639

TJ-3孔 (0.00~30.00m)



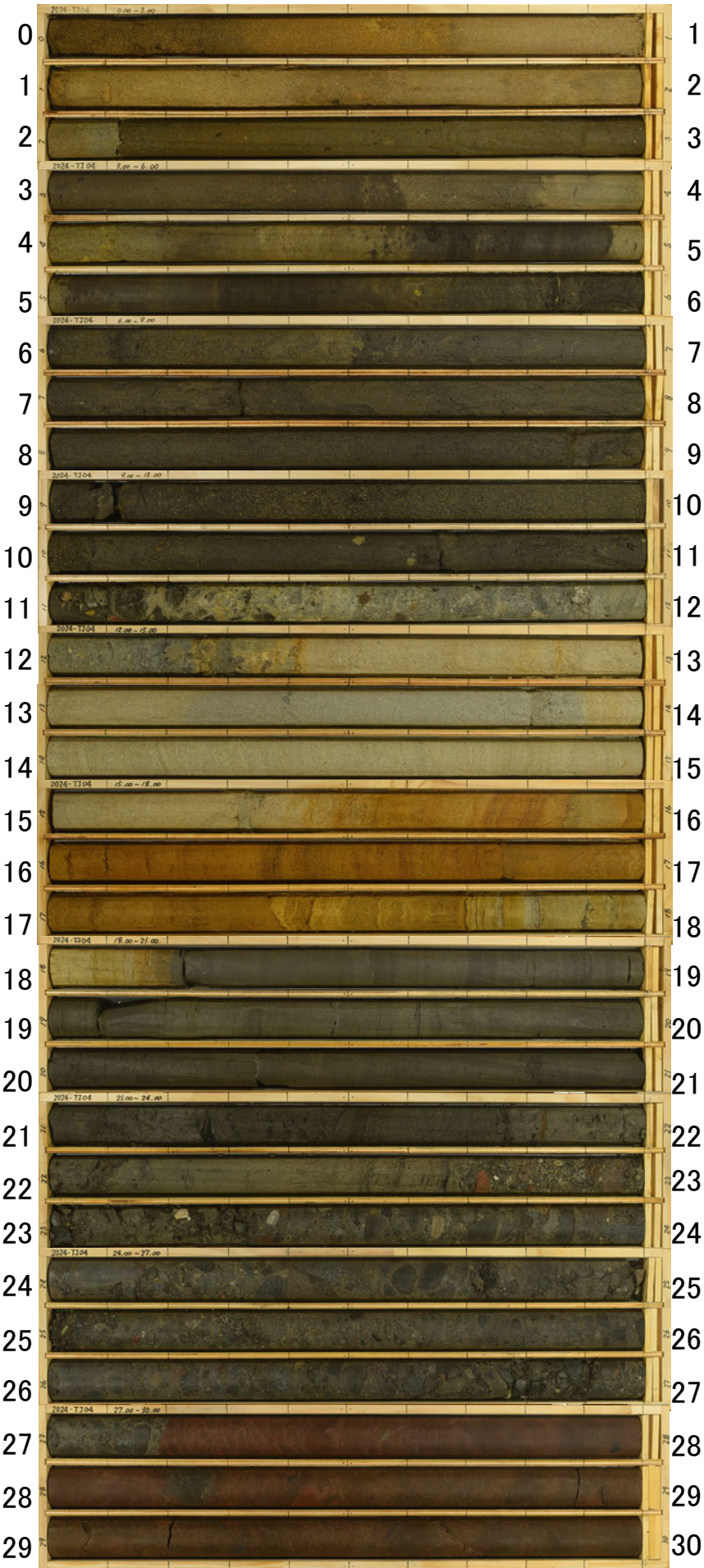
2024-TJ04

G L = 6. 89m

L = 30. 00m

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	コア 採取率 (%)				最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	岩 級 区 分	記 事
						20	40	60	80				
0				盛土	にぶい褐 黄褐					100		D	●0.00～2.13m 盛土
	4.76	2.13			にぶい黄 明黄褐					100		D	0.00～0.67m 細～粗粒砂層。締め悪く指圧で跡が残る。
	2.77	4.12		砂質 シルト層	灰 オリーブ・ 暗 オリーブ					100		D	0.67～2.13m 細～中粒砂層。締め悪く指圧で跡が残る。にぶい褐色のシルト層を含む。
5	1.27	5.62		シルト・ 腐植互層	灰オリーブ・ オリーブ黒					88		D	●2.13～12.42m 沖積層
										100		D	2.13～4.12m 砂質シルト層。締め悪く指圧で跡が残る。下部は細粒で砂分に乏しい。基質は浸食面で厚さ15cmの砂礫層を挟む。
				腐植 シルト 混じり 砂層	オリーブ 黒					68		D	4.12～5.62m シルトと腐植の互層。締め悪く指圧で跡が残る。水平～傾斜10°の層理が認められる。
										85		D	4.61～4.94m 腐植層。
										90		D	5.29～5.54m 腐植層。
10	-3.18	10.07		腐植 シルト 混じり砂層	オリーブ 黒					65		D	5.62～10.07m 腐植、シルト混じり砂層。締め悪く指圧で跡が残る。腐植とシルトが混じる極細～中粒砂層からなる上部では粗～極粗粒砂も混じる。全体に層理に乏しく、生痕化石が認められる。基底は浸食面で中～粗粒砂層を挟み細礫を含む。
	-4.27	11.16		砂礫層	灰オリーブ オリーブ灰					100		D	10.07～11.16m 腐植、シルト、礫混じり砂層。腐植、シルト、細～中礫が混じる極細～中粒砂からなる。層理に乏しい。基底は浸食面で、直上に径1～4cmの亜円～亜角礫を40～60%含む。
	-5.53	12.42								70		D	11.16～12.42m 砂礫層。細～中粒砂の基質に径1～5cmの亜円～亜角礫を10～60%含む。基底は浸食面で、直上の17cmは褐色を帯びる。
15	-8.66	15.55		中～粗粒 砂層	灰 オリーブ・ オリーブ 灰					100		D	●12.42～27.19m 更新統
	-10.81	17.70		細～中粒 砂層	黄褐・ 褐色					75		D	12.42～15.55m 中～粗粒砂層。締め悪く指圧で跡が残る。斜交層理や細礫層を伴う。基底は浸食面である。
										100		D	15.55～17.70m 細～中粒砂層。上位層より締めが良いが、指圧で跡が残る。
20	-14.20	21.09		粘土層	灰オリーブ オリーブ黒					78		D	17.70～21.09m 粘土層。水平で細かい層理が発達し、砂の薄層を挟む。締めまっっており指圧で跡が残らない。
	-15.22	22.11		腐植質 シルト・ 腐植混じり 砂互層	オリーブ黒・ 灰					65		D	21.09～22.11m 腐植質シルトと腐植混じり砂の互層。指圧で跡が残らない。基底は不明瞭である。
	-15.80	22.69		腐植混じり シルト質 砂層	灰 オリーブ					75		D	22.11～22.69m 腐植混じりシルト質砂層。植物根化石が認められる。下部で層理が発達する。
25				砂礫層	オリーブ 灰					100		D	22.69～27.19m 砂礫層。中～極粗粒砂の基質に径0.5～10cmの亜円～亜角礫を30～60%含む。締めまり具合は指圧で跡が残らないから残るまで様々である。腐植片を含む。基底は浸食面で15°傾斜する。
	-20.30	27.19								100		D	●27.19～30.00m 別所岳安山岩類
				安山岩 (角礫質)	暗赤褐・ 暗赤灰					90		Ab	27.19～30.00m 安山岩(角礫質) ハンマーの軽打で金属音を発しナイフで傷が付かない硬さ。径1～8cmの安山岩角礫が認められる。
30	-23.11	30.00								52			
										48	100		
										35	100		
35													
40													

TJ-4孔 (0.00~30.00m)



$$L = 24.00\text{m}$$

1-2-643

TJ-5孔 (0.00~24.00m)



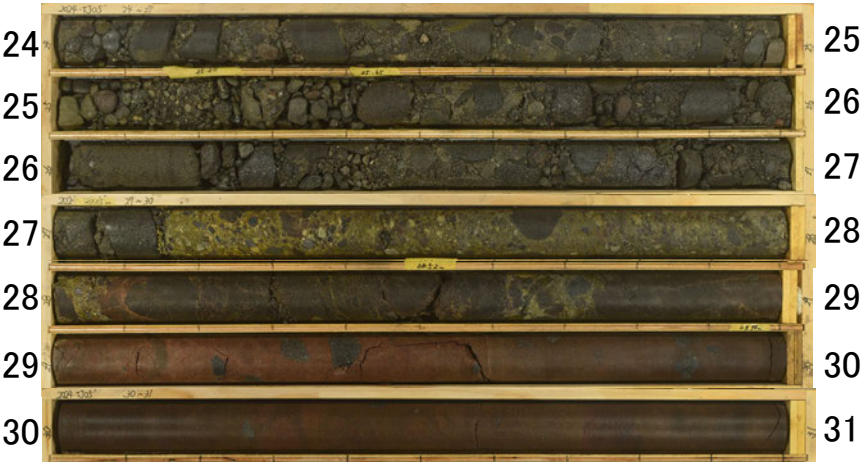
2024-TJ05'

G L = 6. 86m

L = 31. 00m

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	地 質 名	色 調	コア 採取率 (%)				最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	岩 級 区 分	記 事		
						20	40	60	80						
25	-17.14	24.00		砂礫層	オリーブ 灰					50		D	●24.00～27.15m 更新統 24.00～27.15m 砂礫層。中～粗粒砂の基質に径0.5～8cmの亜円～亜角礫を30～60%含む。締め具合は指圧で跡が残らないから残るまで様々である。腐植片を含む。		
	-20.29	27.15												30	
	-21.22	28.08												40	
	-22.09	28.95									火山礫 凝灰岩	暗オリーブ			55
		安山岩 (角礫質)	オリーブ黒			30	77	Bb	28.08～28.95m 安山岩(角礫質)。ハンマーの軽打で金属音を発しナイフで傷が付かない硬さ。角礫状であり、角礫に沿った割目が分布する。火山礫凝灰岩を挟む。下位とは漸移する。						
		安山岩 (角礫質)	暗オリーブ 暗赤褐色			30	54	Ab			28.95～31.00m 安山岩(角礫質)。ハンマーの軽打で金属音を発しナイフで傷が付かない硬さ。径1～7cmの安山岩角礫が認められる。				
30	-24.14	31.00	暗赤褐 暗赤			58	98								

TJ-5' 孔 (24.00~31.00m)



眉丈山第2断層

宿屋No. 1 (3の1)

GL=6.487m

L=70.0m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔内 水位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
1	6.137	0.35	0.35	-2.0m		暗褐色 (10YR 3/4)	シルト	表 土
	5.937	1.05	0.70			オリブ褐 (2.5Y 4/6)	砂混りシルト	花崗岩のくさり礫地の風化礫 φ20mm程度を含む。白色軟質物 (長石の風化したもの)が目立つ。
2						浅黄 (5Y 7/4)	砂混り粘土	崩壊土
3	3.637	2.85	1.80					
4						浅黄 (5Y 7/3)	礫混りシルト混り 中～粗砂	花崗岩および半花崗岩のくさり 礫(最大φ100mm)を含む。 ところどころ褐色を呈す。
5	1.957	5.03	2.18			浅黄(5Y 7/5)		下部に礫やや多い。4.8m付近 著しく酸化鉄で汚染される。
6	0.687	5.80	0.77			明褐色 (7.5YR 5/8)	砂 礫	
7	-0.563	7.05	1.25				中～粗砂	風化礫の痕跡がすかに見られる。 長石片 雲母片多量に含む。 6.5m付近に細砂10mmを挟む。L30°
8	-1.813	8.30	1.25			暗青 (10BG 4/1)	砂質シルト	砂の多いところと、シルトの多いところ が不規則に入り混る。砂石英粒多い 一部砂混りシルトのところあり。
9	-2.093	8.58	0.28			暗緑 (10BG 5/1)	砂混りシルト	(2.5GY 4/1) 有機物を含む。
	-2.163	8.65	0.07			暗緑 (10BG 5/1)	花崗岩礫	くさり礫
10	-2.963	9.45	0.80			青灰 (10G 6/1)	中～粗砂	砂は粗砂が目立ち、マシ状を呈す。 下位とは漸移的。L30°
	-3.813	10.30	0.85			青灰 (10G 6/1)	微細砂シルト	上部10cm以下のオースターの互層 10数cmのオースターの互層。層理L25°
11	-4.213	10.70	0.40			明褐色 (7.5YR 5/8)	シルト混り中～粗砂	(7.5YR 5/8) 風化礫混る。下部境界L35°
	-4.563	11.05	0.35				砂 礫	上部に粘土10cmあり。礫径max 5cm (くさり)
12	-5.013	11.50	0.45			にんげん黄 (2.5Y 6/3)	シルト中心細砂互層	シルトはすくし1cm以下の薄層L40°
	-5.493	11.98	0.48				砂質～礫混りシルト	
13	-5.813	12.30	0.32				細 砂	
	-6.213	12.70	0.40			灰白(7.5Y 7/2)	粘土および粗砂	12.55付近粗砂を混る。下位とは漸移
14	-6.863	13.35	0.65			明褐色 (7.5YR 5/8)	シルト混り 中～粗砂	
	-7.013	13.50	0.15			暗緑 (10BG 5/1)	礫	花崗岩のくさり礫(φ40~100mm)
15	-7.313	13.80	0.30			青灰 (10G 6/1)	細 砂	
	-7.663	14.15	0.35			灰(7.5Y 4/1)	粘土	下部境界L55°
16	-8.963	15.45	1.10			緑灰(7.5GY 5/6)	シルト質粘土～	緑灰色部に暗オリブ色の箇所あり
						暗オリブ (7.5Y 4/3)	粘土質シルト	下位との境界漸移的である。L50°
17								上部には青灰(10G 6/1)～明青灰(10BG 5/1) を呈する部分かセシオクマでブロック状で残る。
18	-11.363	17.85	2.40			オリブ灰 (10Y 5/2)	中～粗砂混り シルト質細砂	中粗砂を必ずかに混えるが比較的 均質な砂。下部に中～粗砂多くなる。
19	-12.313	18.80	0.95			暗緑灰 (10G 4/1)	～砂質シルト	灰白色、石英 長石を混える 有機物をのすかに混入
	-13.213	19.70	0.90			暗緑灰 (10G 4/1)	礫混りシルト質 腐植質中～粗砂	上位とは漸移的。小礫φ20mm点在 有機物比較的多く混入。L60°~70°

20						上辺との境界付近(19.70m~19.90m) 花崗岩の風化石礫φ40mmあり。 他は20mm程度のものが多い。 主として風化花崗岩礫よりなるが、 異種岩の礫も含み、崖面堆積物 と考えられる。20.30~20.50m間 礫をふくまず、不均質な細~粗砂 よりなる
21	-15.313	21.80	2.10	黄 礫 (10YR 5/8)	シルト混り 砂 礫	
22				++++		
23				++++		
24				++++		
25	-			++++	明黄礫 (2.5Y 4/6)	マサ くさし 礫状の風化残留礫が見 られる。φ40mm程度
26	-19.513	24.00	4.20	++++	花 崗 岩	
27				++++		
28				++++	オリーフ (5Y 6/4)	かなり大きい風化残留礫が 見られる。石英粒大きい。 マサ
29	-22.113	28.60	2.60	++++	花 崗 岩	
30				++++	明青灰 (5B 7/1)	マサ 色調上位より漸移的 花崗岩の組織はつきりする部分 あり
31	-23.943	30.45	1.85	++++	明青灰 (5PB 7/1)	花崗岩の組織を残す部分多い。 いすいすナイフで削れる。
32	-25.213	31.70	1.25	++++	明青灰 (10B 9/1) 暗青灰(5B 9/1)	断層(角礫を含む粘土) 断層(角礫を含む粘土)
33	-26.063	32.55	0.85	++++	明青灰(5B 7/1) (5PB 7/1)	風化花崗岩 組織のはっきりした 部分多い。いすいすナイフでくすせき 花崗岩としては細~中粒 34.35m~35.45m 灰白色粘土 L50° 35.10付直より破砕質 L50°
34				++++	花 崗 岩	
35	-28.813	35.30	2.75	++++	明青灰(5B 7/1) 暗青灰(5B 9/1)	灰色粘土。テオフィト色粘土数条あり
36	-28.963	36.45	0.15	++++	明緑灰 (5G~10G 7/1)	花崗岩の小礫(くさし礫φ20mm) をとり込むところがあるが、大半は 石英・長石5mm前後を大量に 含む。37.40~37.50m, 38.30~38.50m に黒色破砕物あり。断層破砕帯。 L20°~25°
37				++++	明緑灰 (10G 7/1)	
38	-32.013	38.50	2.05	++++	灰 灰 (7.5R 4/2)	風化花崗岩 41.00m付直以深かなりきたなく なる。礫状に残った風化花崗岩の 周辺が かなり粘土化している。
39				++++		
40				++++		
41				++++		
42				++++		
43				++++		
44	-38.013	44.50	6.00	++++	花 崗 岩	L55°
45	-38.563	45.05	0.55	++++	明緑灰(10G 7/1) 灰 灰(7.5R 4/2)	5~15mmの岩片多量に含む。 断層破砕帯
46	-39.813	46.35	1.30	++++	暗緑灰 (7.5G 4/1)	L50° 破砕帯。礫多量あり。 下部シルトとの境界に細砂に浸み にあり。死か火炎構造に似て見える。
47	-40.163	46.65	0.30	++++	シルト	下部境界漸移 上部境界 L70°
48				++++	青 灰 (5B 9/1~10B 6/1) (5/1)	46.85~47.50m 砂質シルトの ラテライトかなり急傾斜 L75°~85°
49				++++		
50				++++	中~細砂	油質な砂

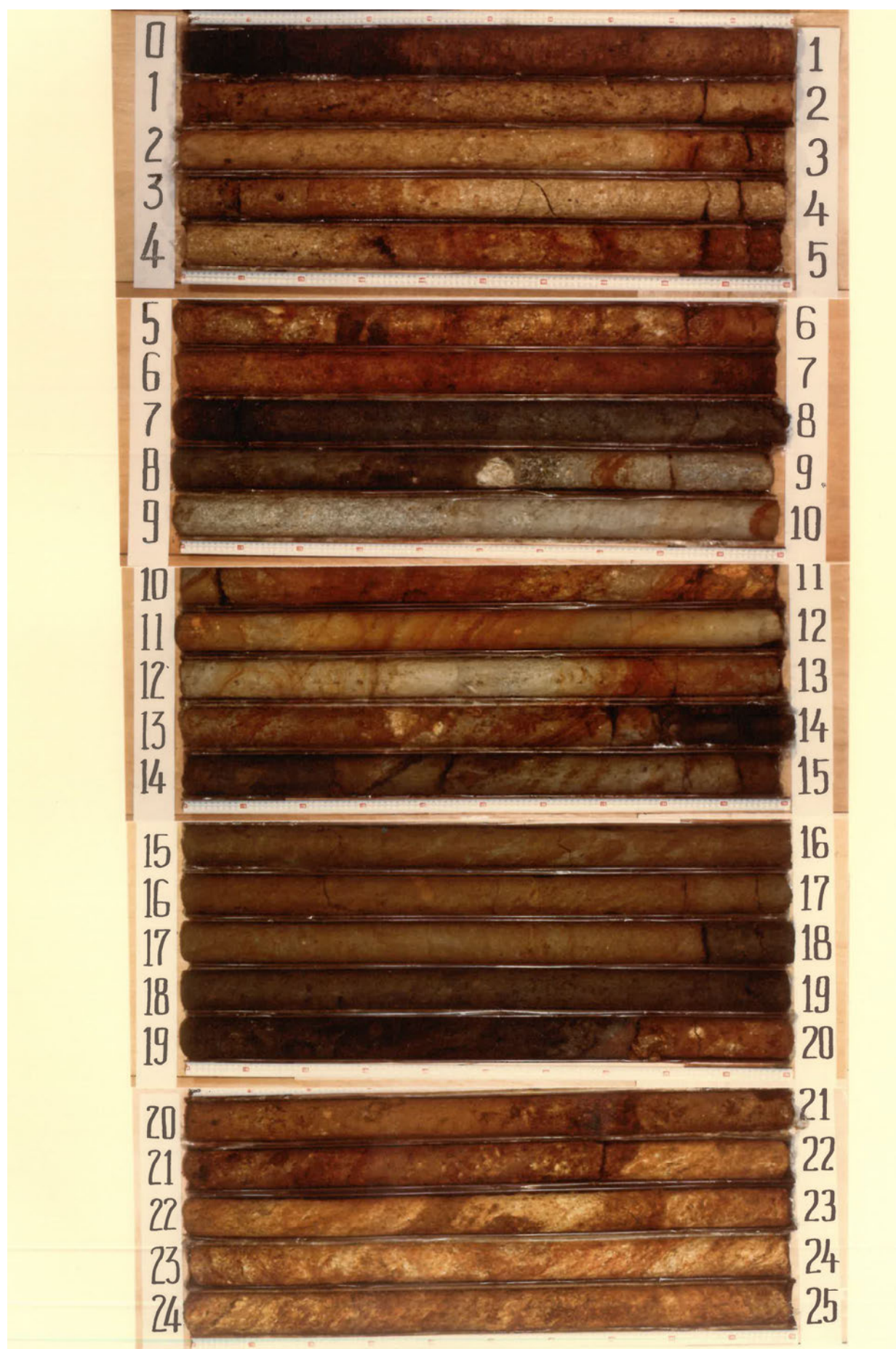
宿屋No. 1 (3の3)

GL=6. 487m

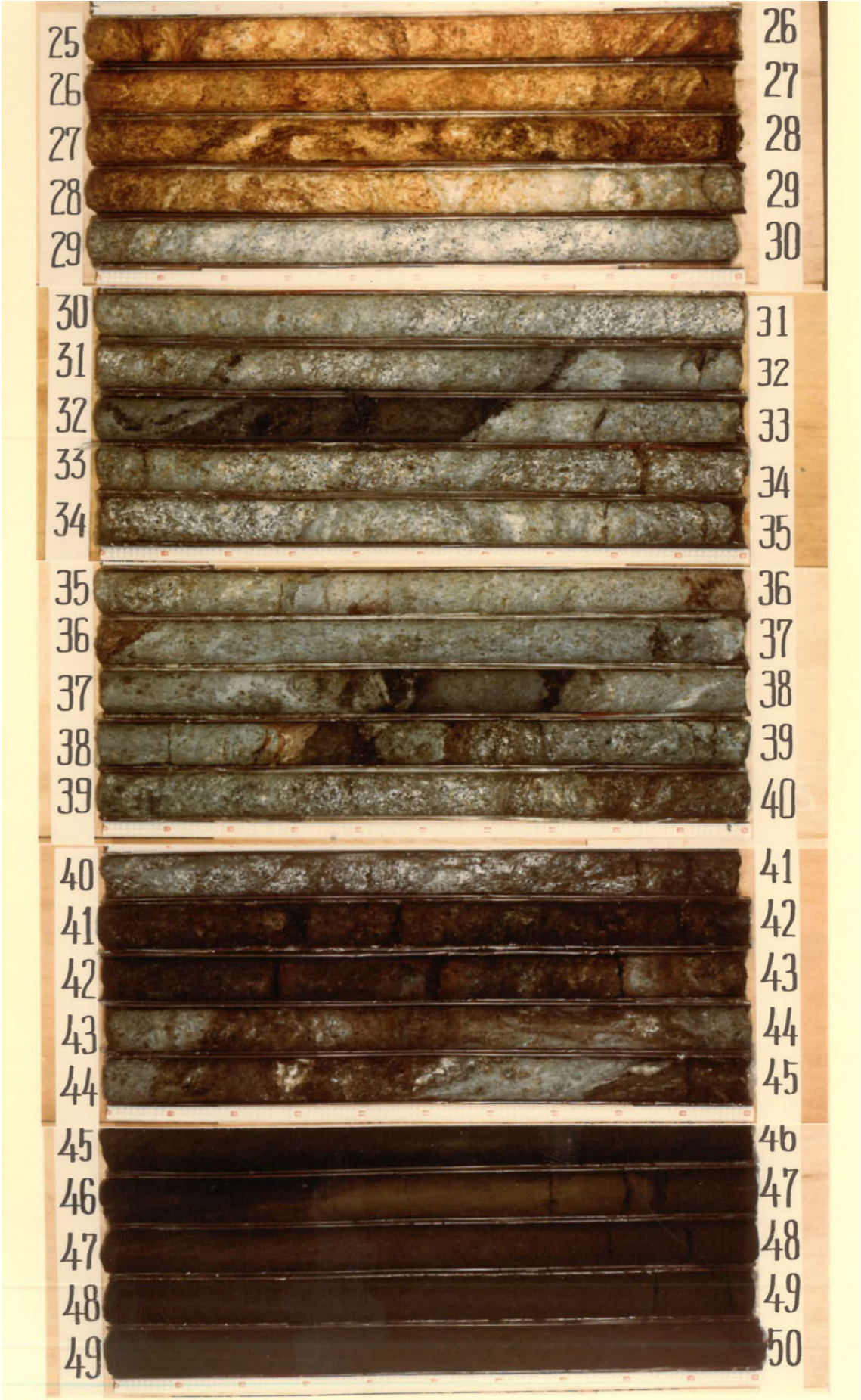
L=70. 0m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
51						青 灰		51.15 ~ 51.30 m シルト~微細砂
52						(5BG~10BG) 5/1		のラミナ 8条ほどみられる。最大2mm 厚を示すが、ほとんどは1mm以下のもの である。 L65°
53								53.10 m 7~8mのシルト質の挟み L50°
54								54.00付近 石や粗になり中砂多い
55						暗青灰 (5BG 3/1)	中 ~ 細砂	54.60付近 粗砂を混える。
56						暗緑灰 (5GY 4/1)		記載したところ以外にラミナ層理共 見られない。硬さ(しまり)の差が あるが、漸移的で境界らしきもの はない。
57								
58								
59								
60							中 ~ 細砂	
61								
62						暗緑灰		
63						(25GY 4/1)		63.05~63.10 m シルト質砂 上下の境界 越くL10°±
64								
65								
66								
67								
68								
69								68.20~69.50 m 間に生痕 3箇所に見られる。
70	-63.513	70.00	23.35				中 ~ 細砂	

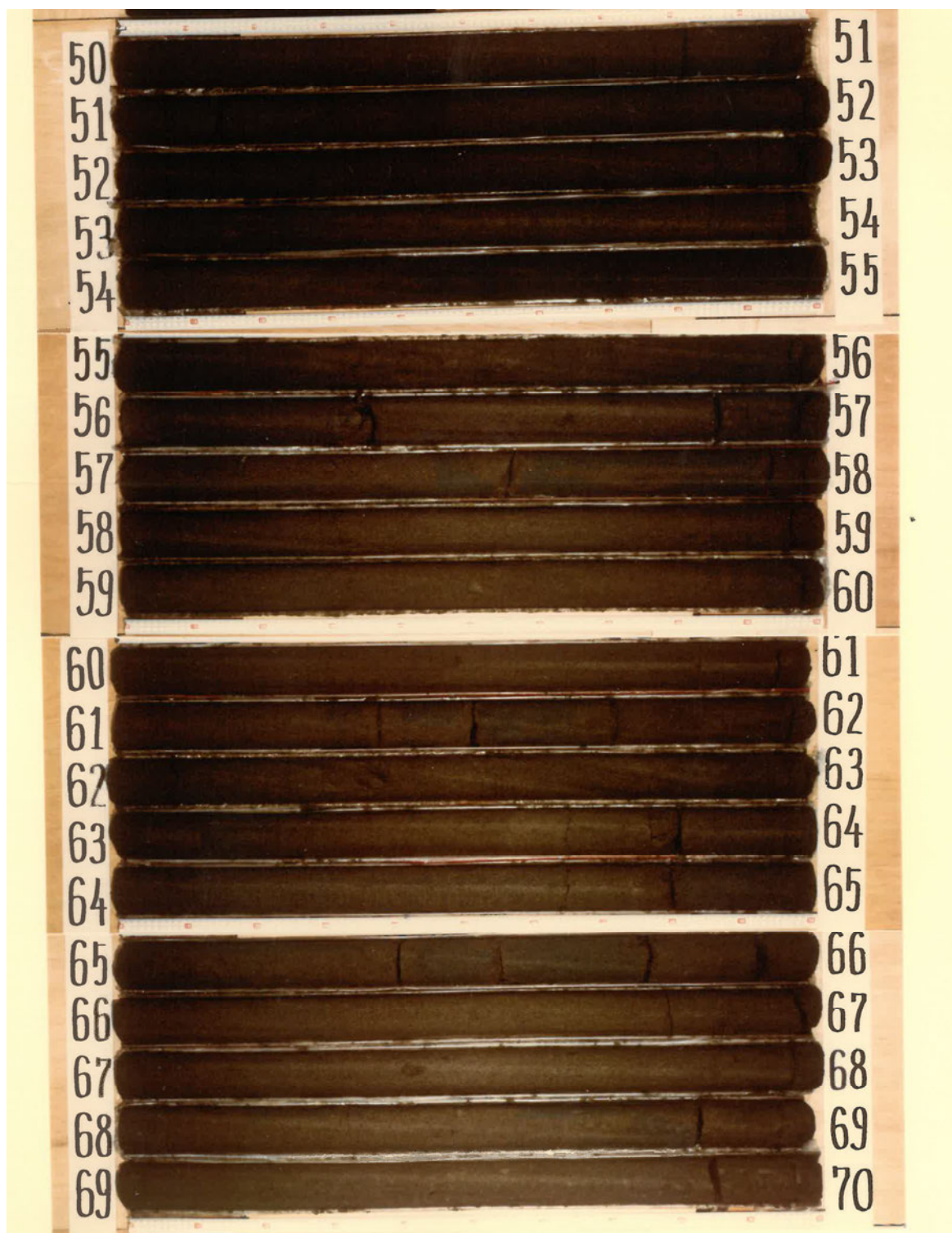
宿屋No.1 (0.00~25.00m)



宿屋No.1 (25.00～50.00m)



宿屋No.1 (50.00～70.00m)



宿屋No. 2(3の1)

GL=6.331m

L=60.0m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔内 水位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事	
								観 察	
1	5.881	0.45	0.45	-20m ▽ =		暗褐 (7.5YR 3/4)	表 土		
	4.631	1.70	1.25			暗 褐 (7.5YR 3/4)	砂混りシルト	1.70m付近φ50mm厚さ30mmの花崗岩礫あり。 崩壊土	
3.331	3.00	1.30			黄 褐 (10YR 9/8)	砂混りシルト	風化長石粒が点在		
2.331	4.00	1.00			にぶい黄 (2.5Y 6/4)	砂混りシルト	含水多く 軟い。砂分多い		
5	1.531	4.80	0.80			シルト・粘土層 (2.5Y 6/4)	砂混りシルト	砂混りシルト。中砂・シルトが10~15cm L10°± オグデ互層	
	0.981	5.35	0.55			細砂混りシルト層 中〜粗砂	中 砂	下部に中粒砂が多くなる	
6	0.481	5.85	0.50			灰 白 (7.5Y 7/2)	シルト質中〜粗砂	ところどころ 細礫を混える 下部 中砂が多くなる。	
7	-0.919	7.25	1.40				灰 白 (7.5Y 7/2)		
8	-1.519	7.85	0.60				明 褐 (7.5YR 5/8)		礫径 max 50mm。20mm 程度の ものが主である。ほとんどが花崗岩の くさか並角礫 石は中〜粗砂が ほとんど。砂質シルト部あり。 雲母片多量に含み
	-2.369	8.70	0.85				灰オリーブ (7.5Y 5/3)	砂混りシルト質砂 砂質シルト	
9	-3.069	9.40	0.70			暗青灰 (10BG 4/1)	腐植物混り シルト質砂	10.25m付近 10.50~10.70m、10.80m 付近小角礫を含む 腐植物点状に在る。砂は中〜細砂	
10	-3.369	9.70	0.30			暗 緑 灰 (5GY 3/1)	腐植物混り 砂質シルト	12.15~12.80m 花崗岩礫(大がくさり)max φ60mmあり。砂中〜粗で砂混りシルト部あり	
11	-3.769	10.10	0.40			黒 (10YR 2/1)	腐植物混り 砂質シルト	上部境界L30°木片、腐植物を多量に含む黒色シルト 13.45m付近白色鉄屑を主とする礫および粗砂 を挟む。12.6m L20°	
12	-4.769	11.10	1.00				オリーブ灰 (10YR 5/2)	シルト混り砂礫	13.60m付近 白色岩片あり ほとんど花崗岩のくさり礫φmax 40mm
	-5.269	11.60	0.50						
13	-5.569	11.90	0.30			灰 (10Y 7/1)	礫混り シルト質砂	上部の礫大きく、100mmに及ぶものあり。 砂は 中〜粗	
14	-6.169	12.50	0.60				灰 (5Y 5/1)	シルト質砂	上部 細礫および粗砂混り 砂は細砂
	-7.219	13.55	1.05		灰 (10Y 7/1)	腐植物混り シルト質砂	1800~2000 間わずかにシルトを混 えところあり		
15	-8.069	14.40	0.85			灰 (5Y 5/1)			
16	-9.219	15.55	1.15		灰 (10Y 7/1)	腐植物混り シルト質砂	20.85m ラミナ (酸化鉄) L20°		
17	-9.719	16.05	0.50						
18					灰 (10Y 7/1)	腐植物混り シルト質砂			
19									
20					灰 (10Y 7/1)	腐植物混り シルト質砂			

21	-14.639	20.97	4.92	(5Y 4/4)	細 砂	下部境界中〜粗砂 1.5cm L20°
	-15.249	21.58	0.61	オリーフ (5Y 4/4)	砂質シルト〜シルト	21.00 L45° 礫石半層 (ホロボロしている) 21.30 m L50°
22						
23						
24				暗オリーフ灰 (5GY 4/1)		22.15 m 付近まで破砕質 22.00〜22.50m ヤ、含水量大きい (22.00〜23.00m 無水塩か) 23.50 m 付近砂を混える。 シルト分の多いところと一部にはほとんど 粘土のところがあ。
25	-18.769	25.10	3.52		粘土質シルト	
26	-19.969	26.90	1.20	オリーフ灰 (5GY 4/1)	砂混り 粘土質シルト	上には漸移的に砂が徐々に 増える。下部で増える。 26.00〜26.10m 腐植物混り
27	-21.089	27.42	1.12	暗オリーフ灰 (5GY 4/1)	細礫腐植物混り 砂質シルト	下部 27.20〜27.42m 腐植物混りシルト
28	-22.069	28.40	0.98	暗オリーフ(5Y 4/4) オリーフ(5Y 4/4) 灰オリーフ(5Y 4/4)	砂混り シルト質細砂 細礫混り	27.62〜27.90m 微細砂上部境界 L45° 上部礫径 max 30mm 下部礫径 max 70mm
29	-22.869	29.20	0.80	礫(10Y 4/6)	シルト質砂〜砂質シルト	砂質細砂
	-23.069	29.40	0.50		砂 礫	花崗岩のくすり礫 (垂直) max φ50mm
	-23.269	29.60	0.20		砂 中砂	酸化鉄の塊状汚染 L25°
30				(10Y 5/8)	砂混り	上部は細礫混り、下部は細礫混り
	-24.569	30.90	1.30	オリーフ灰 (10Y 5/2)	シルト質砂	砂不均質で粗なものが多い
31	-25.219	31.55	0.65		礫混りシルト質砂 砂質シルト細互層	礫径 max 10mm 砂中〜粗不均質 下部境界 L50°
32	-25.919	32.25	0.70	オリーフ灰 (10Y 4/2)	シルト質砂 〜砂質シルト	上部に腐植物を混える。 砂中〜粗不均質、下部境界 L50°
33	-26.649	32.98	0.73	オリーフ黒 (5Y 2/2)	砂混りシルト	32.65 付近まで腐植土質、腐植土質の 下部 L50° 32.50m 付近に φ60mm 角くすり礫?
	-27.019	33.35	0.37	オリーフ灰 (10Y 4/2)	シルト質砂	下部境界 L60°
	-27.319	33.65	0.30		砂混りシルト〜砂質砂	
34	-27.819	34.15	0.50		細中〜粗砂互層	34.85 m 付近にチロソルト色粘土 10mm L70° 上部境界 L70° 34.25〜34.45 m シルト質砂 下部 L75°〜80° 砂粗なものが多い。
	-28.219	34.75	0.60	緑灰 (7.5GY 5/1)	砂混り腐植物シルト	礫径 10mm 程度 砂不均質 粗粒なものが多い
35	-29.569	35.90	1.15	暗緑灰 (10GY 4/1)	砂混り シルト質砂	下部境界不明瞭
36				暗オリーフ灰 (2.5GY 3/1)		リテラ達上部から L50° 60° 50° 破砕質で 礫径多数認められる。面層粘土 状のものは見えない。下部境界 L50° 境界 L45°
37	-30.619	36.95	1.05		泥岩 (粘土)	
38				暗緑灰 (10GY 3/1)		37.20, 37.40 m 付近酸化黒色の塊あり L60°〜80° 37.25〜37.45m } ほとんど垂直な半風結 37.65〜38.00m } シルト厚 21〜3mm あり、それよりほぼ 水平〜L20° 程度の面無し層内断層で 切り出し 1cm 程度の変位が見られる。 39.05〜39.30m 微細砂〜シルト 40.55〜40.65 微細砂、細砂か細 互層となる。L15°、掘削時の回轉に よる。わかりか?
39						
40						
41				(10GY 4/1)	細 砂	
42	-35.419	41.75	4.80	暗緑灰 (10GY 4/1)		43.50〜43.60 m 酸化鉄 L65° 44.00〜44.25 m " L45°
43				暗緑灰 (5GY 4/1)		
44				灰オリーフ (7.5Y 4/2)		
45				黄褐 (10YR 3/4)		
46						49.50 m 以深、中砂を含まないところ あり。40 m 以深ではほとんど含まなくなる。
47	-40.239	46.57	4.82		中〜細砂	
	-41.319	47.65	1.08		砂混り 細中〜細砂	上部境界、小礫がきさいに散在 L60° 礫 max φ30mm くすり礫多いか? 硬いもの もあり、砂不均質 下部境界不明
48						上部細礫散在する。 48.35 m 色調変化 L60° 48.75 m 酸化鉄 L40°
49				黄褐 (2.5Y 5/4)		49.10〜49.40 m 酸化鉄 L30°〜20°〜30°
50				暗オリーフ (5Y 4/4)	中〜細砂	

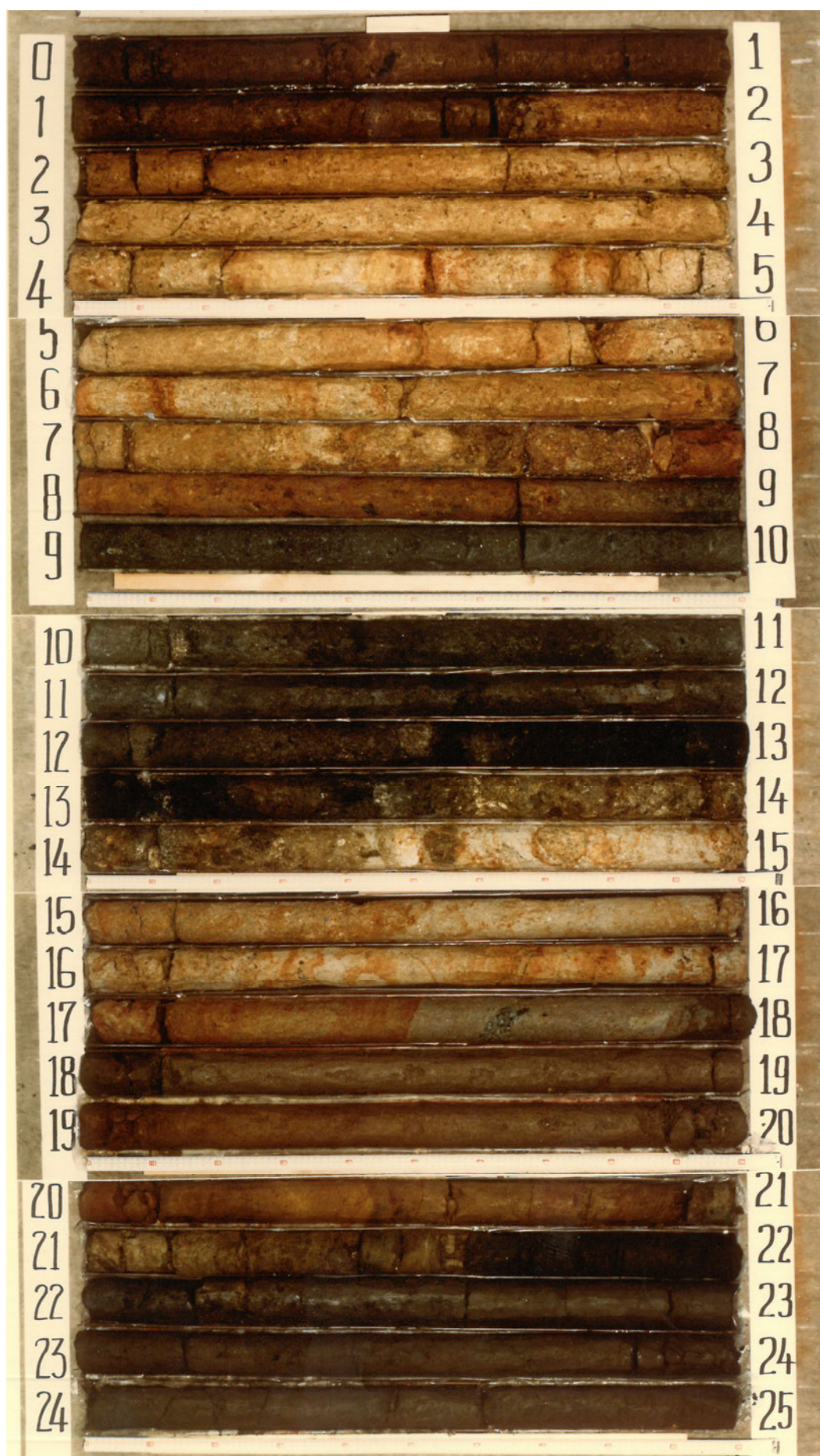
宿屋No. 2 (3の3)

GL=6.331m

L=60.0m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔内 水位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
51						暗赤-7" 灰 (56Y 4/1)		L 60° 51.25 m シルト~微細砂) 3~4 mm
52								
53								53.50 m 粘土から全体に細かくなる。
54	47.669	54.00	6.35				中 ~ 細砂	下部境界漸移的
55						暗赤-7" 灰 (56Y 4/1)		
56								L 80° 56.35 m 細粒部3~4 mm 間隔より かたい。
57								L 78 56.80 m シルトのハッチを小くし L 80° 位で雁行して全体的に L 70° 前後を示す。
58								・ 58.05 m 腐植物よりほとんど L 90° 立っている ・ 58.10 ~ 粘土泥のハッチと共に弱ミラミ状の ものが見られる L 70° 59.25 m にはこれと逆方向 の傾斜 L 40° 間隔より細粒3~4 mm 厚見られる
59						暗赤灰 (10G 5/1)		・ 59.60 m シルト L 70° 下部で不明瞭になる。 ・ 59.65 ~ 59.70 m 細粒 5 mm 程度存在する。 ・ 59.82 付近の白色砂 (硬い) 10 mm
60	53.669	60.00	6.00				細砂	

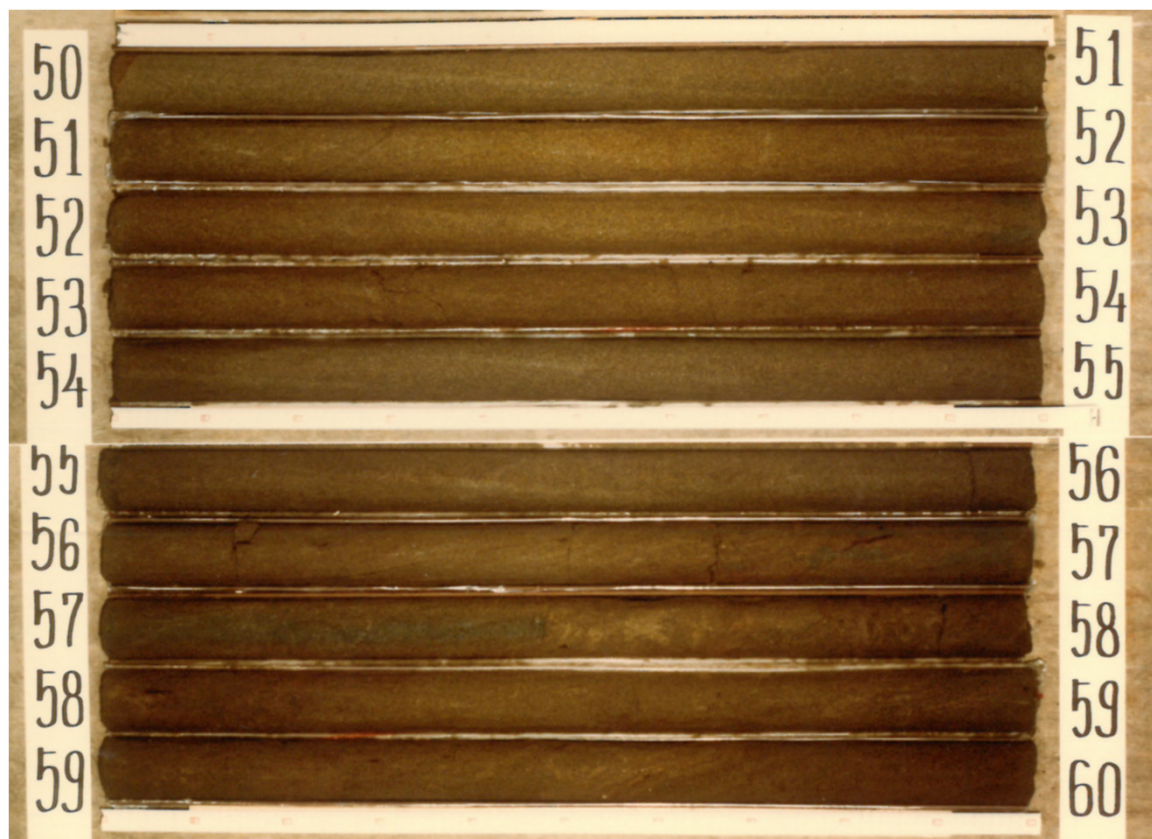
宿屋No.2 (0.00~25.00m)



宿屋No.2 (25.00～50.00m)



宿屋No.2 (50.00～60.00m)



宿屋No. 3 (3の1)

GL=4. 409m

L=70. 0m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
1	3.609	0.80	0.80	-1.6m ▽ =		黄 褐 (10YR 5/6)	シルト混り砂	樹根、草根混り 畑土、かなり軟弱、砂は中る可
2	2.309	2.10	1.30			暗 褐 (10YR 3/4)	シルト質砂	上位の砂にさらにシルトが多く混ったもの、不均質である。
3	1.709	2.70	0.60			オリーフ・褐 (2.5Y 4/3)	砂質シルト	φ15mm以下の砂岩、重晶石、花崗岩角礫混入、礫は硬い
4	0.919	3.49	0.79			黄 褐 (2.5Y 5/6)	砂混り粘土	
5	-0.341	4.75	1.26			オリーフ・黄 (5Y 4/6) 灰 黄 (2.5Y 4/6) 暗 黄 褐 (10YR 4/3)	礫混り シルト混り中粗砂	花崗岩のくさり礫をかなり多く含む φ max 60mm + 4.00~4.15m 砂混りシルト
6	-2.241	6.65	1.90			灰 白 (2.5Y 8/1)	シルト混り 中粗砂	粗砂が多い、石英粒3~4mm 下部細礫を付かに混じり始める
7						緑 灰 (10GY 6/1)	細礫混り	上位より細礫多くなる。
8	-4.041	8.95	1.80			緑 灰 (10GY 5/1)	シルト混り中粗砂	礫径 max 6~7mm 下部より細礫多い。
9	-4.941	9.85	0.90			暗 緑 灰 (5GY 3/1)	礫混り 砂混りシルト	8.70~9.20m 腐植土質 礫径 max 40mm、比重量の異なる塊状の混在
10						灰オリーフ (7.5Y 5/2)		花崗岩風化礫粒々稀に見られる。
11	-6.491	10.90	1.55			青 灰 (5BG 5/1)	砂混りシルト	
12	-7.011	11.42	0.52			暗 褐 (7.5YR 3/2)	シルト質砂~砂質シルト ~砂混りシルト	下部に何れもシルト成分多くなる。 11.30以下腐植土質
13	-8.471	12.88	1.46			灰オリーフ (7.5Y 4/2)	礫混り シルト質砂	シルト質砂礫としてもよい。礫径 max 30mm + 砂不均質粗なもの。腐植物点在、礫硬軟混在、下部細砂シルトを挟み下部境界 L 20°
14	-9.701	14.11	1.23			黒 褐 (5YR 2/1)	腐 植 土	13.70~14.00m 付近腐植物が多い。色黒風礫(10YR 3/1)、13.00~13.50m 間および14.08m 付近より腐植物集中、礫点左し、腐植片多量に混る。腐植層 L 15°
15	-10.121	14.53	0.42			暗 緑 灰 (10GY 3/1) 暗 緑 灰 (2.5Y 3/1)	礫混りシルト質砂 ~礫混り砂混りシルト	粘土のラミナ L 20°
16	-10.941	15.35	0.82			黄 褐 (10YR 5/6)	細礫混りシルト混り 中粗砂	細砂が目立つ 下部境界 L 40° 細礫混入
17						灰 黄 (2.5Y 4/2)		15.60m 付近までシルトのラミナ見られる、L 35°
18						オリーフ・黄 (5Y 6/3)		16.20~16.30m ラミナに沿って礫を L 40° 16.10m 付近φ40mmの片麻岩の重晶石 16.70m φ15mm 花崗岩の重晶石
19	-14.941	19.35	4.00			黄 褐 (2.5Y 5/6)		17.90m 不明瞭なラミナ L 45° 18.20m 付近粘土3~1mm L 40°
20						オリーフ・黄 (5Y 6/3)	細 砂	やや粗な部分層状を呈す L 65°

宿屋No. 3 (3の2)

GL=4. 409m

L=70. 0m

21	-16.141	20.55	0.20			中 ~ 細砂	下部境界 $\angle 55^\circ$ 下部より細砂を混入
	-17.021	21.43	0.88			細砂	酸化鉄 $\angle 50^\circ$
	-17.361	21.77	0.34			細砂混り中 ~ 粗砂	下部中砂細砂の層をなす $\angle 15^\circ$ 上部境界 $\angle 50^\circ$
22					(2.5 Y 4/3)		22.20 m 黒色ラミナ $\angle 70^\circ$
23					黄 褐		23.10 m 微細砂ラミナ $\angle 75^\circ$ 23.25 ~ 23.40 ラミナ $\angle 70^\circ$
24					(2.5 Y 5/6)		24.40 m 付直ラミナ $\angle 70^\circ$ 24.80 m " $\angle 60^\circ$
25					(2.5 Y 6/3)		25.40 m } 中 ~ 中: 粗砂 $\angle 75^\circ$ 25.55 m }
26					灰 白		25.27 m 付直ラミナを切る黄土色シルト 見かけ $\angle 40^\circ$
27					(5 Y 7/1)		26.84 ~ 26.90 m 酸化鉄 $\angle 20^\circ$ 27.63 m シルト ~ 微細砂 2 mm, $\angle 30^\circ$ 全体 傾斜方向を切る
	-23.191	27.60	5.83		(10 YR 6/8)	微 細 砂	
28					明 黄 褐		27.98 m $\angle 45^\circ$ 色調変化 28.19 m シルト 4 mm $\angle 35^\circ$
					(10 YR 6/6)		
29					明 黄 褐		29.00 ~ 29.30 m シルト 1 ~ 3 mm 数条あり $\angle 70^\circ$
					(10 YR 6/8)		
30	-25.491	29.90	2.30		黄 褐	細 砂	下部境界 $\angle 50^\circ$
					(10 YR 5/6)		
31	-26.491	30.90	1.00		黄 褐	シルト混り	30.20 ~ 30.50 m 細砂混り 2 mm 15 mm
					(10 YR 5/8)	中 ~ 粗砂	下部細粒となる。下部境界不明
32					黄 褐		31.33 付直 シルト ~ 2 mm $\angle 40^\circ$ 31.64 m 付直シルト 2 mm $\angle 30^\circ$ 上は逆落ち 32.42 m 付直シルト 2 mm $\angle 40^\circ$
					(2.5 Y 5/4)		
33	-28.451	32.86	1.96			細 砂	下部境界 $\angle 35^\circ$
	-28.671	33.08	0.22			細 ~ 中砂	
34	-29.891	34.30	1.22		黄	シルト混り粗砂	シルトのラミナ ハッチ状に発達 $\angle 50^\circ$ 33.60 m 付直: このラミナを切つてシルト 2 mm $\angle 60^\circ$ 見かけ。下部境界不明瞭
					(2.5 Y 7/8)	~ シルト質細砂	
35	-30.441	34.85	0.55			シルト質微細砂	上位のようハッチ不明瞭でない。下部粗くなる
	-30.991	35.40	0.55			中 ~ 粗砂	上部境界不明瞭であるが $\angle 60^\circ$
36					明 黄 褐		36.55 m 付直酸化鉄 $\angle 55^\circ$ 36.10 m 花崗岩の重層 (φ 60 ~ 80 mm) より硬い。 37.10 ~ 37.20 m 花崗岩くさび状 (φ 30 ~ 40 mm)
37					(2.5 Y 4/8)		
38	-33.461	37.87	2.47		灰 白	礫混り中 ~ 粗砂	37.75 ~ 37.87 m マリ状
	-33.941	38.35	0.48		(10 Y 7/2)	砂 礫	大沖か花崗岩の 酸化層があるが 砂岩と思 い小礫あり。花崗岩 φ 300 mm 以上の大礫 あり 上面 $\angle 70^\circ$ 下面 $\angle 40^\circ$
39	-34.841	39.25	0.90		オリブ黄	微 細 砂	上部 中 ~ 粗砂; 礫 φ 30 mm 点状
	-35.191	39.60	0.35		(5 Y 4/3)	細 ~ 中 ~ 粗砂	(10 YR 4/3 ~ 2/4) 細砂を混入。不均質 酸化鉄に汚染され礫粒の形状を呈す。 上部境界 $\angle 70^\circ$ 、下部境界 $\angle 80^\circ$
40					明 黄 褐		
41					赤 褐		
					(5 YR 7/6)		
42					暗 緑 灰		
43					(10 Y 4/1)		
44							
45							均質な細砂
46	-41.891	46.30	3.30			微 細 砂	微砂かなり少ない $\angle 5^\circ \sim 10^\circ$ コア回転か
	-42.491	46.90	0.60			シルト ~ 微細砂の粗さ 層 シルト質微細砂シルト	
47					緑 灰		上部シルトのラミナ
					(5 G 5/1)		
48							48.20 m $\angle 85^\circ$ シルト質の層を挟む
49					青 灰		48.60 m $\angle 70^\circ$ ここを境界下部
	-45.151	49.56	2.66			微 細 砂	さらに細粒となる。
50					(10 B 4 5/1)	シルト質 微細砂	

宿屋No. 3 (3の3)

GL=4. 409m

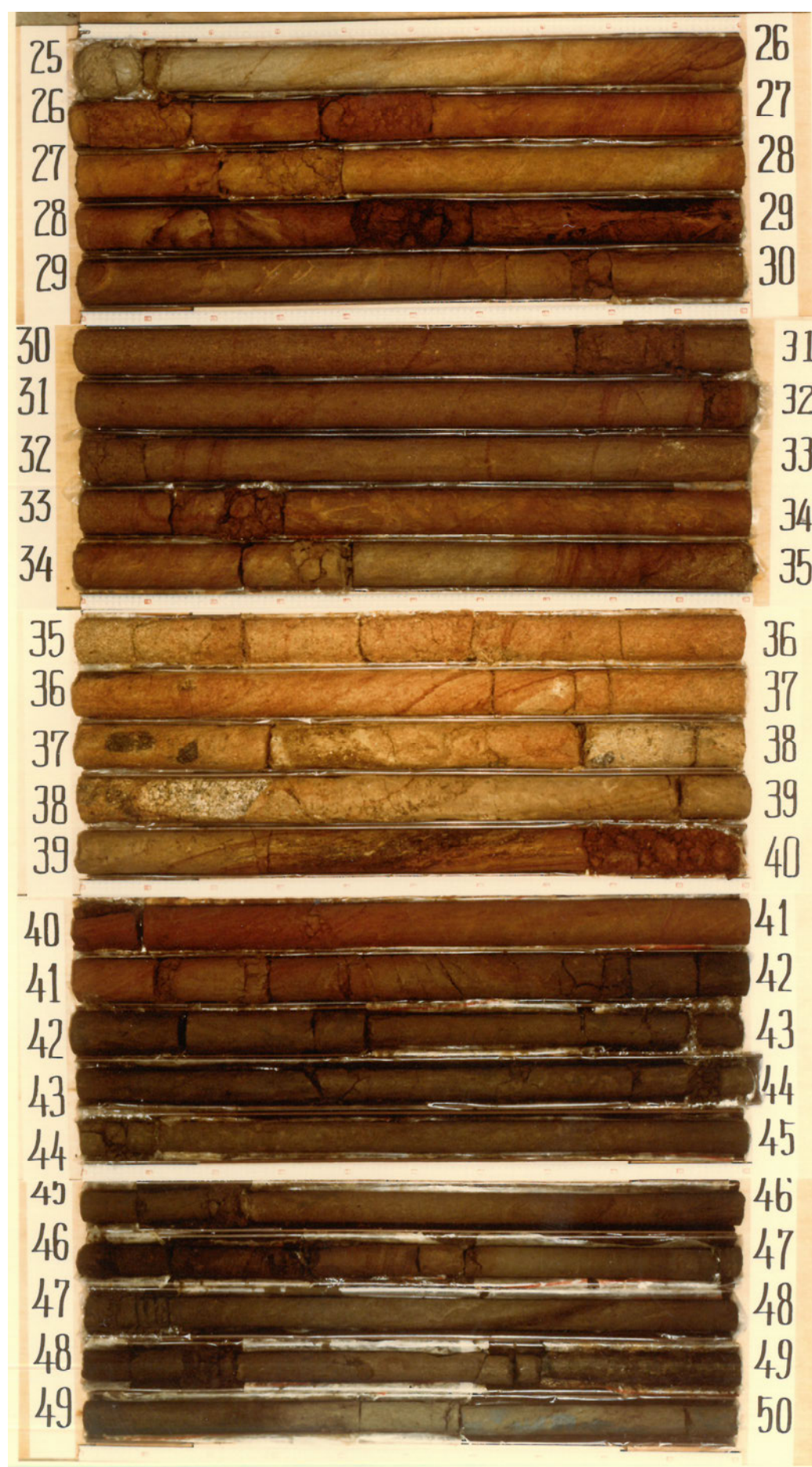
L=70. 0m

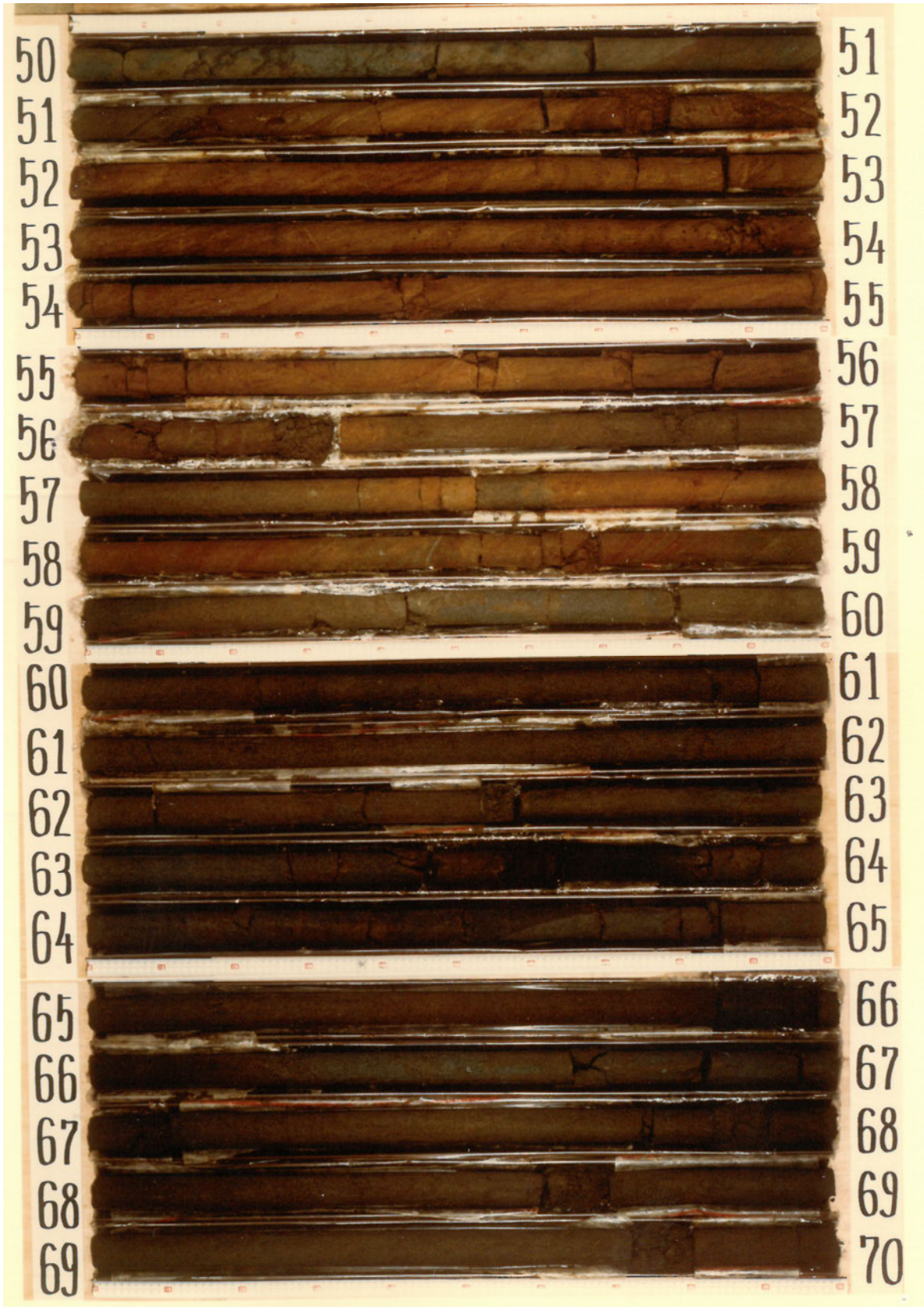
標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
51	46.341	50.75	4.19			青 灰 (10B9 5/1)	シルト質微細砂	下部境界酸化鉄 $\angle 60^\circ$
52								52.00m 付近まで酸化鉄ラミナ $\angle 55^\circ \sim 60^\circ$ を示すか 51.95m にこれを切ってシルト 1.5mm $\angle 70^\circ$ が見られる。
53								52.00 ~ 53.00m 間酸化鉄ラミナが $\angle 65^\circ \sim \angle 95^\circ$ を示す。
54								53.00 ~ 53.30m 間にこれを切るシルト 1mm $\angle 10^\circ \sim 30^\circ$ のものが3条から出る。
55						褐		
56						(10YR 4/6)		下部やや粗なものが混っている。
57	52.041	56.45	5.70			灰オリブ (7.5Y 4/2)	微 細 砂	
58						褐		56.45m 以下境界不明瞭である。 か部分的に微細砂が見られる。 全体的にはかなり均質な砂
59						(10YR 4/6)		58.00 ~ 59.00m 間酸化鉄ラミナ $\angle 35^\circ \sim 55^\circ$ 58.90m に酸化鉄と同方向にシルト1mm $\angle 50^\circ$ が見られる。
60						灰オリブ (7.5Y 4/2)		60.30m 付近 60.75m 付近に局所的に 固結した部分が見られる。前者で $\angle 20^\circ$ 後者で $\angle 30^\circ$ を示すか落ちの 方向は逆である。
61								
62								
63								63.60m 付近 酸化鉄に著しく汚染 63.80m 酸化鉄ラミナ $\angle 35^\circ$
64						緑 灰 (10G 5/1)		64.60m 色調変化の境界 $\angle 70^\circ$
65								
66								
67								
68								
69						暗緑灰 (10G 4/1)		69.20m 周辺よりやや硬い筋 $\angle 45^\circ$
70	65.591	70.00	13.65				細 砂	

宿屋No.3 (0.00~25.00m)



宿屋No.3 (25.00~50.00m)





標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
1	2.992	0.61	0.61	▽ -3.85		黒褐(10YR 3/2) 暗褐(10YR 3/3)	腐植混り 砂混りシルト	耕土、腐植混入、φ10mm以下の砂混り 粘性土
	2.552	1.05	0.44					
2	1.642	1.96	0.91			オリ-フ 灰 (5Y 3/2)	砂混り粘土	含水高くと木ト木状
	1.202	2.40	0.44					
3	0.902	2.70	0.30			オリ-フ 灰 (10Y 4/2)	シルト混り砂	細〜粗粒砂を含み不均質
	-0.098	3.70	1.00					
4	-0.258	3.86	0.16			オリ-フ 灰 (10Y 4/2)	砂質シルト〜腐植混り粘土	下部はシルト質砂、細〜中砂と成る。シルト粘土の境界
	-0.598	4.20	0.34					
5	-0.898	4.50	0.30			オリ-フ 灰 (10Y 4/2)	砂質シルト〜腐植混り粘土	砂質不均質
	-1.248	4.87	0.37					
6	-2.598	6.20	1.33			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
	-2.768	6.37	0.17					
7	-3.768	7.37	1.00			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
8						オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
9						オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
10	-6.898	10.50	3.13			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
11	-7.728	11.33	0.83			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
	-7.998	11.60	0.27					
12	-8.568	12.17	0.57			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
	-8.998	12.60	0.43					
13	-9.868	13.47	0.87			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
14						オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
15						オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
16	-12.728	16.33	2.86			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
	-12.898	16.50	0.17					
17	-13.348	16.95	0.45			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
	-13.708	17.31	0.36					
18						オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
19	-15.978	19.58	2.27			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
20	-17.098	20.70	1.12			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
	-17.498	21.10	0.40					
21						オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
22						オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
23						オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
24	-20.648	24.25	3.15			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
25	-21.518	25.12	0.87			オリ-フ 灰 (10Y 3/2)	シルト混り砂	砂質不均質
	-21.898	25.50	0.18					

26						上部境界 L25° 上部 25.30~25.35m 間 細砂を混える。
27						26.00~27.10m リンク状シルトが所 に見られる。(生痕) 27.85m, 28.35m. サンドハイフ (生痕)
28						
29						29.35m シルト L50° 29.90m 細砂 L55° 30.50m シルト L55° 30.95m 〃 L50° 31.50m 細砂 L45°
30						31.63~31.80m 下部黄化鉄沈澱により著しく固結(鉄澱) 一部に弱い鉄肌が見られる。下部境界 L60° 箇層の可能性あり
31				暗黄灰 ~ 青灰 (5Bq 4.5/1)	細砂 ~ 微細砂	
32	-28.198	31.80	6.50	灰オリ-7° (7.5Y 4/2)	シルト質砂 ~ (微細砂)	32.45~32.65m 礫石を伴下部 L55°
33	-29.198	32.80	1.00	暗黄灰 ~ 青灰 (5Bq 4.5/1)		32.92m まで 腐植物混り砂質シルト 下部境界 L50°
34				青 系 (5Bq 2/1)		33.20m 微細な色鉄の混 L55° 34.55m, 34.70m 細砂混り L45°, L55°
35				黒	泥 岩	下部境界 シェ-7° L60°~L65°
36	-32.198	35.80	3.00		シルト	36.00~36.40m 泥岩状の硬さを示し φ5~10mm 程度のブロックに割れやすい。 ブロックの表面に鉄肌が見られることが あり。時に条線がみられる。 L50° ± (St. 60°)
37	-32.798	36.40	0.60			
38				暗黄灰 (5Bq 4/1)		36.90m 付近まで微細砂とさらに細かい シルト質な部分が交互層状に混在する。 36.90m 付近のシルトで L45°を示す 37.50m 付近ラミナ L65° 38.05m や、シルト質部分 L55° 38.89m 付近黄化鉄 L65° 39.90m 〃 粗な部分 L50° 〃 礫 15mm
39				明黄褐 (10YR 7/6)		36.00~36.90m 間は明らかに擾乱状 (破砕)を呈す。また深さや粗粒 な部分とそうでない部分が見られ、 また粗な部分が含水している。このことから 40.33m 付近まで 弱く擾乱されていると推え られる。
40				黄 褐 (10YR 5/6)		40.20~40.32m 礫混り φ max 20mm 40.55m 付近 L50° 41.15m 付近 L40° } 中砂ラミナ 41.90m 付近 L65°
41				(橙) (7.5YR 7/6)		43.20m~43.35m L60° } 中砂ラミナ 43.75m~44.00m L60° 55° 50° } 礫 44.80m 黄化花崗岩礫 φ 20mm
42				明黄褐 (10YR 6/8)		
43				黄 褐 (2.5Y 5/6)	細 砂	上部境界 L60°, 下部境界 L60°
44	-41.548	45.15	3.75		粗・中砂を混り細砂	45.80~46.00m 粗粒分がわずかに混入する細砂 ラミナ発達 L65° 46.00~46.20m シルト質細砂 ~ 局所微細砂 L65° ± 47.50m ラミナ L65° 48.15m ラミナ L65°
45	-41.848	45.45	0.30	明黄褐 (2.5Y 4/8)		
46				黄 褐 (2.5Y 5/6)	微 細 砂	
47						
48						
49						
50						

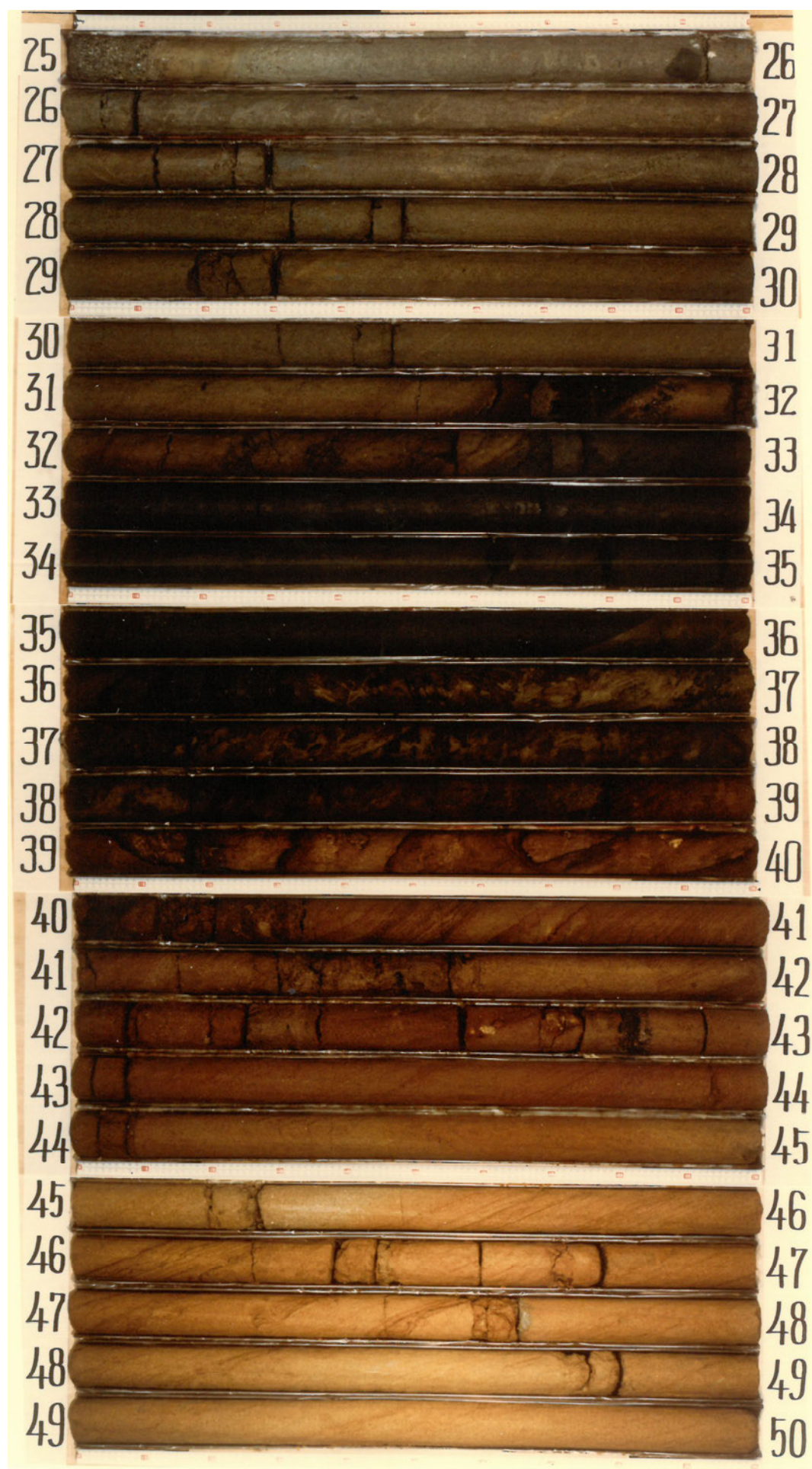
標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
51						明黄褐 (2.5Y 6/8)		・50.39mおよび50.52mにそれぞれシルト質1~2mm L5°あり、この間のラミナL65°を切っている。ラミナはシルト。黒褐色ラミナ(15mm、 カ カ)よりなる。
52	-48.998	52.60	7.15			オリーフ (5Y 5/6)	微細砂	・51.25m付近 51.90m付近φ4~5mm泥岩 ・51.50m 厚さ20mm前後のマンガン濃集部 L65° 黒褐色 (10YR 5/2)
53						オリーフ褐 (2.5Y 4/6)		境界漸移的
54						黄褐 (2.5Y 5/6)		
55	-51.048	54.65	2.05				細砂	下部境界漸移的、中砂徐々に多くなる。
56	-51.708	55.31	0.66			明褐 (7.5YR 5/8)	中～細砂	下部細砂を混ざるようになる。
57							細砂混り	境界漸移的であるが、細砂の極薄層あり L60°を不す。
58	-53.848	57.45	2.14			黄褐 (2.5Y 5/6)	中～細砂	
59	-54.198	57.80	0.35				砂	硬い砂多いφmax 65mm+, 下部境界 L70°
60	-54.598	58.20	0.40				細砂混り中～細砂	下部境界漸移
61						黄褐 (10YR 5/8)		59.40~59.65m不規則に酸化鉄に汚染
62						灰 (10Y 5/1)		59.80~60.20m 酸化鉄ラミナ発達
63	-59.248	62.85	4.65			暗オリーフ (5Y 4/2)	細砂	60.20m 鉄盤 L60°
64	-59.998	63.10	0.25			褐 (7.5YR 4/6)	泥岩	61.20~61.90m シルトのラミナみちみち
65						褐 (10YR 4/6)	微細砂	61.20m L55°, 61.90m L70~80°
66								61.15m 付近酸化鉄色からオリーフ灰へ色調変化 L20°
67						褐 (7.5~10YR 4/4)		下部境界砂質シルト、シルト質砂を挟む L50°
68						橙 (2.5YR 4/6)	細砂	かなり締った(硬い)泥岩
69								下部境界 L60° 酸化鉄(鉄盤)
70							微細砂	63.25m 付近までかなり細粒
71								65.10m 酸化鉄 L60°
72								
73						黄褐 (10YR 5/8)		・67.20~67.65m にかけて硬い砂質のシルト質な部分が見られる。L80° ・67.75mと67.90mに薄いラミナ状のものが見られる。L50°を不す。 ・67.9m 以下深さφ65mmで掘削 ・68.50~69.60m 間シルト質の砂状砂質みちみち ・69.60m 付近ややシルト質、その他にもシルト質あり ・69.55m 酸化鉄 L80° ・69.85m 色調変化 L60° ・70.10m 付近シルト質パッチ状のものか、L70° ・70.30m から70.70m にかけて7つと鉄盤1~3mm ・70.80m 付近にやや粗粒な部分あり L70° ・71.25~71.70m 間シルト質がシルト状に随所にはみちみちる。いずれも水平に近い。 ・72.35~72.40m 73.57m 付近酸化鉄泥岩物か、細砂状に分布する。いずれも水平 ・72.98m 鉄盤φ~4mm L15°

74						
75						
76				褐 (75~10YR 4/6)		・ 75.08 ~ 75.15 m 腐葉・粘土質の細砂層状に入る。
77				オリブ褐 (2.5Y 4/6)		77.50 m 腐化鉄沈着 10mm ± L 70° 下部色調変化 L 50° 下部境界 L 50°
78	-74.098	77.70	14.60	緑灰 (10B 5.5/1) 緑灰 (7.5Y 4/1) 暗緑灰 (5.5Y 4/1)	細砂 シルト質細砂 破砕状泥岩	上部はシルト混り細砂よりなり、シルト質砂との境界 L 55°。下部にシルトより細砂を挟む。 L 60° 断層石灰岩帯 中央粘土部 L 60° 断層の上盤 L 60°、下盤 L 75°を示すが、 落の方向は逆である。中央粘土部が 主方向と考える。
79	-74.948	78.55	0.85			
	-75.198	78.80	0.25			
80						
81						・ 79.80 ~ 80.25 m 間の腐れ目(ほとんどは泥 削時もしくは掘削後のもの)に鏡面みられ すいすいも ST 垂直。 ・ かすかなミナ見られるがかなり急である。 82.00 m L 90°、82.40 m L 80° ・ 82.70 ~ 83.07 m 付近シルト質泥岩 ・ コア表面は掘削時にこねられているた めに若干軟いか、内部はくすくすといふ ようになる泥岩である。
82				暗オリブ灰 (2.5G Y 3/1)		
83						
84				オリブ黒 (10Y 3/2)	泥岩	84.40 ~ 84.90 m 細砂の挟み垂直に近い。 腐植物の挟みも同じ。 下部境界 L 78° シャープな断層。
85	-81.298	84.90	6.10	オリブ黒 (7.5Y 3/1)	シルト質細砂	腐植物わずかに混る。 L 55° 下部細砂となる。細砂との境界付近 L 45°
86	-82.098	85.70	0.80	オリブ黒 (7.5Y 3/1)		上部境界 L 50° ・ 86.30 付近まで砂混りシルトで 86.45 m 付近まで泥岩に漸移する。87.00 m 付近 まで所々に砂のハッチがみられる。 ・ 86.20 m 付近砂のハッチ L 85° ~ 45° ・ 86.00 ~ 86.40 m 腐植物の細片を混える。
87						
88						
89				暗オリブ灰 (2.5G Y 3/1)	泥岩	87.30 ~ 87.45 m この間の泥岩が ボロしている。(オリブ黒 10Y 3/2)
90	-86.398	90.00	4.30			

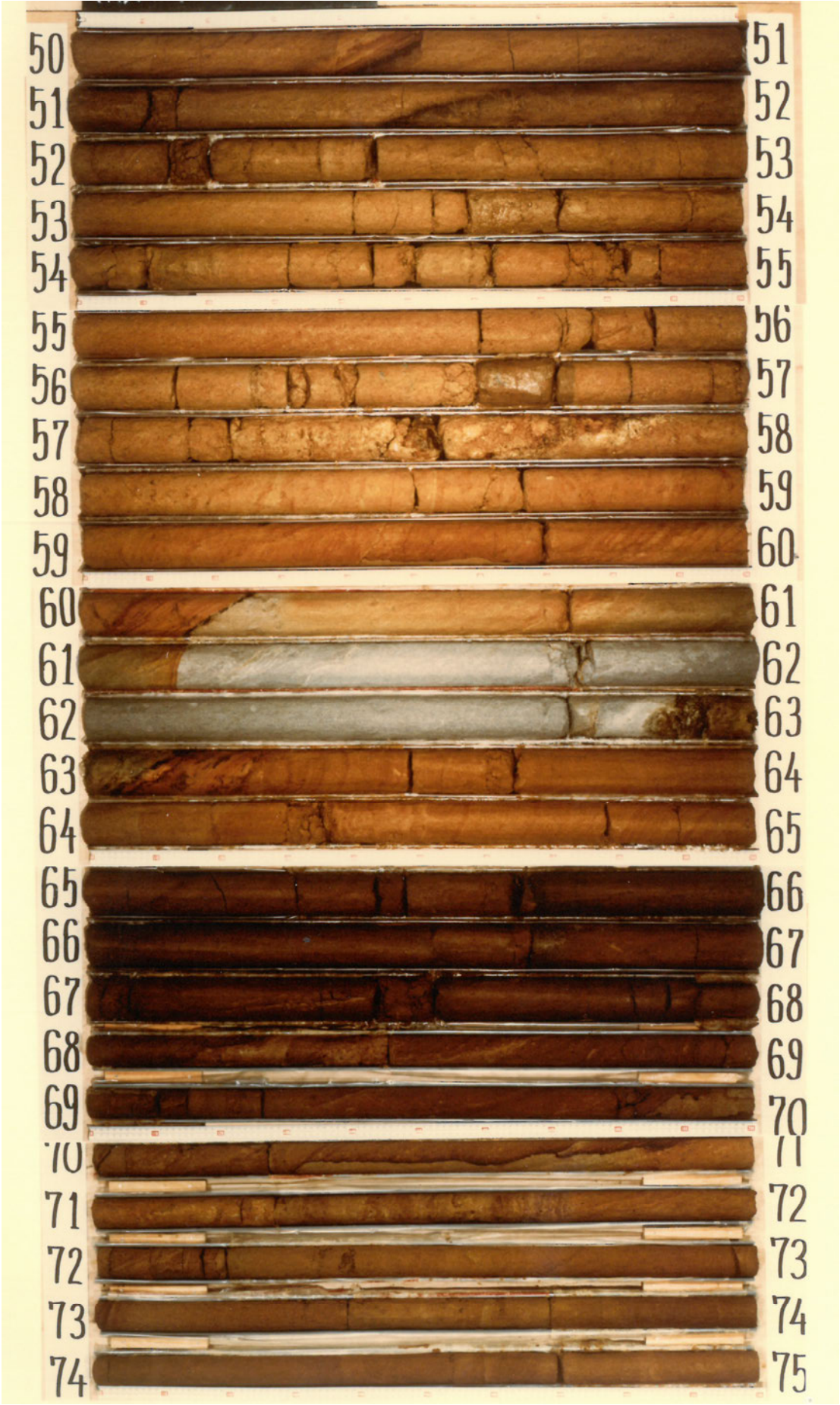
宿屋No.4 (0.00～25.00m)



宿屋No.4 (25.00～50.00m)



宿屋No.4 (50.00～75.00m)





宿屋No. 6(1の1)

GL=6.495m

L=20.00m

※ 標高値の補正なし(掘進角75°)

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
1	6.215	0.28	0.28	-1.8		オリブ褐(25Y 5/6)	砂混りシルト	表 土
	5.545	0.93	0.65			(10YR 5/8)	砂混りシルト、粘土	粘土とシルトが細層状、縞状になっている。L10°
	5.195	1.30	0.37			にぶい黄	砂混り砂質シルト	電母片多く、含水高くてべたべたした感じ
2	4.795	1.70	0.40	-1.8		(2.5Y 6/4)	砂混りシルト、粘土	花崗岩のマサ状小礫を含む 1.30~1.70風化長石粒目立つ
	4.095	2.40	0.70			オリブ黄(5Y 6/4)	砂混り砂質シルト	
3						淡黄(5Y 8/6)		上部境界L5°± 境界は漸移的
4	2.295	4.20	1.80				砂混り中〜粗砂	
5	1.395	5.15	0.95			(砂部分) 暗オリブ(7.5Y 4/3)	砂 礫 層	礫多く、大きい。φ80mm以上のものも見られる。花崗岩を主とする。 4.45~4.60m付近に細砂あり。 No.1, No.2孔の深部に見られる細砂と似ている。砂礫層の基盤の中〜粗砂とはちがって、とり込まれた感じがする。
6						黄褐(10YR 5/6)		
7						黄(5Y 7/6)		
						にぶい黄(2.5Y 6/8)	中〜粗砂	小礫点状、色調は漸移 下部境界L25°~20°
8	-1.055	7.35	2.40			オリブ黄(5Y 6/4)	細砂シルト互層	砂 礫 層
	-1.605	8.10	0.55			暗オリブ(5Y 4/3)		
	-1.805	8.30	0.20			灰白(10Y 7/2)	中〜粗砂	
	-2.105	8.60	0.30			暗オリブ灰(5Y 4/3)	礫(中〜粗砂)	最大φ100mm花崗岩の塊状、小礫集中
9	-2.605	9.10	0.50			オリブ(5Y 5/4)	細 砂	均質な砂
	-3.205	9.70	0.60			オリブ(5Y 5/4)	礫(中〜粗砂)	最大φ60mm花崗岩、流紋岩等あり。
10						明黄褐(2.5Y 6/6)		10.00m付近L20°上部が酸化鉄で汚染されている。境界は層理と見た
11						緑 灰(7.5GY 6/1)	中〜粗砂	11.00m色調境界L20° 11.50m付近φ40mm±の礫あり 下部境界は漸移的、下部に行くにしたがって礫多くなる。
12	-5.605	12.10	2.40			暗緑灰(5G 4/1)	砂混り中〜粗砂	最大φ30mm、10~20mm程度のもの多い 黒色小角礫状、軟質物を含む(5mm)
13	-6.555	13.05	0.95			暗オリブ(5Y 4/4)	砂混り、砂混りシルト	やましまつというが、不均質であり、水中堆積物の感じがしない。
14	-7.655	14.15	1.10			オリブ(2.5Y 5/6)	礫	花崗岩の大礫
	-7.855	14.35	0.20			オリブ灰(10Y 5/2)	中〜粗砂	長石粒小さい
15	-8.755	15.25	0.90			黄(2.5Y 7/8)	砂混り中〜粗砂	マサ状であるが、実質礫が混っていることからマサとは区別される。 15.80m片麻岩状、扁平礫150×40mm
16	-10.005	16.50	1.25			黄〜明黄褐(2.5Y 7/8 ~ 6/8)	粗 砂	中砂混り、色調が上位と同じでマサと区別した。
17	-11.005	17.50	1.00					
18						黄 褐(2.5Y 5/6)	花 崗 岩	かなりきたない風化花崗岩、石英粒は目立つが、雲母はほとんどない。
19								
20	-13.505	20.00	2.50					

宿屋No. 6(1の1)

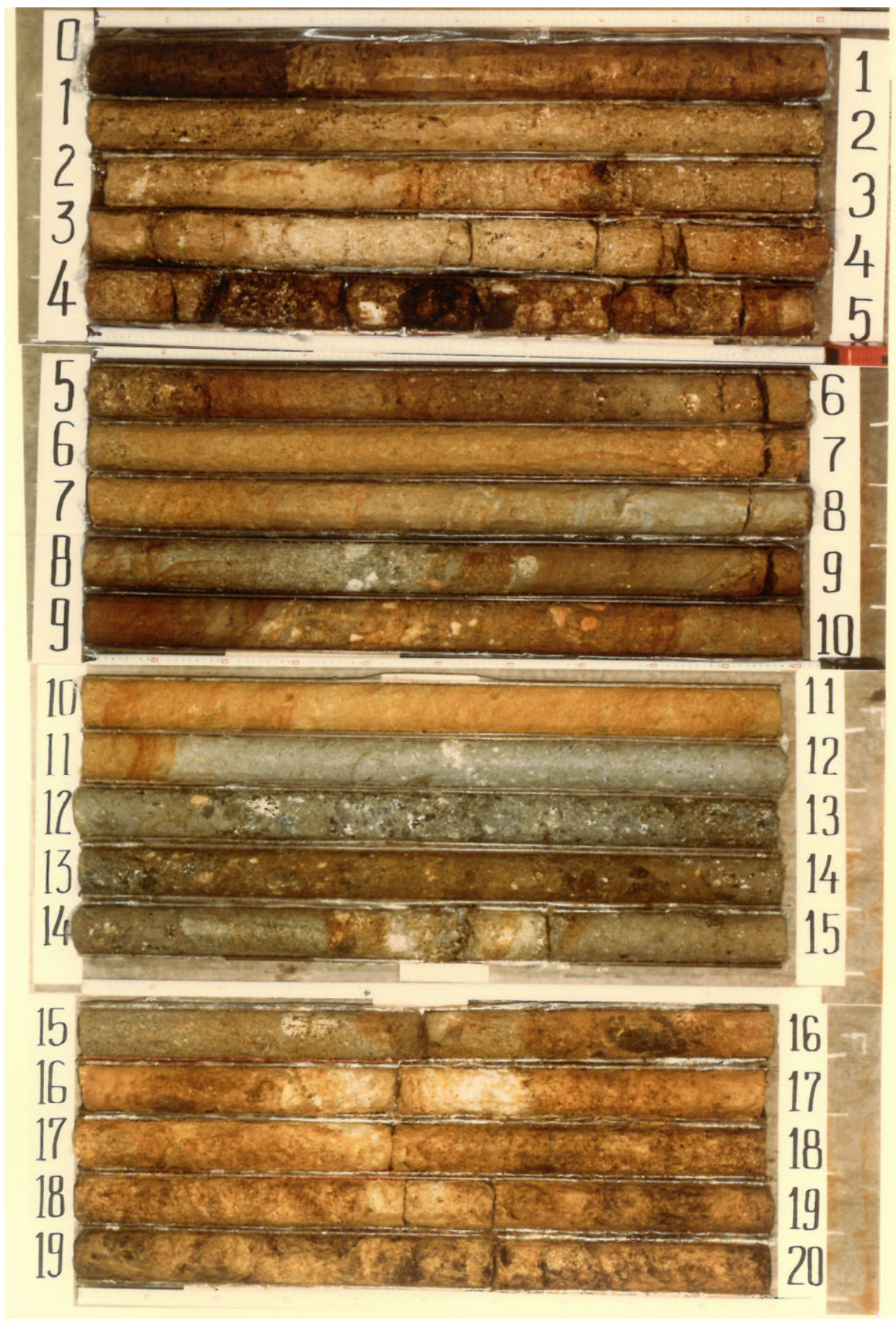
GL=6.495m

L=20.00m

※ 標高値を補正した値を記入 (掘進角75°)

標 尺 m	※ 標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
1	6.225	0.28	0.28	-1.8m		オリブ褐(25Y 5/8)	砂混りシルト	表 土
	5.597	0.93	0.65			黄 褐 (10YR 5/8)	砂混りシルト、粘土	粘土とシルトが細互層状、端状に なっている。L10°
	5.239	1.30	0.37			にぶい黄 (2.5Y 6/4)	砂混り砂質シルト	雲母片多く、含水高くべたべたした感じ
2	4.853	1.70	0.40	▽		砂混りシルト、粘土	砂混りシルト、粘土	花崗岩のマサ状小石を多く含む 1.30~1.70 風化長石粒目立つ
	4.177	2.40	0.70			砂混り砂質シルト	砂混り砂質シルト	
3						オリブ黄(5Y 6/4)	砂混り中〜粗砂	上部境界 L5°± 境界は漸移的
						淡 黄 (5Y 8/6)		
4	2.438	4.20	1.80			(砂部分) 暗オリブ (7.5Y 4/3)	砂 礫 層	礫多く、大きい。φ80mm以上の ものも見られる。花崗岩を主とする。
5	1.520	5.15	0.95			黄 褐 (10YR 5/6)	中〜粗砂	4.45~4.60m 付近に細砂あり。 No.1, No.2 孔の深部に見られる細 砂と似ている。砂礫層の基質の 中〜粗砂とはちがって、とり込まれ た感じがする。
6						黄 (5Y 7/6)		
7						にぶい黄 (2.5Y 6/3)	中〜粗砂	小礫点状、色調は漸移 下部境界 L25°~20°
8	-0.798	7.55	2.40			オリブ黄(5Y 6/3)	細砂シルト互層	砂 礫 層
	-1.329	8.10	0.55			明オリブ灰(5B 7/1)		
	-1.522	8.30	0.20			灰白(10Y 7/2)		
9	-1.812	8.60	0.30			明オリブ灰(5B 7/1)	礫 (中〜粗砂)	最大φ100mm花崗岩、石英岩より粗砂集中
	-2.295	9.10	0.50			オリブ (5Y 5/4)	細 砂	均質な砂
	-2.874	9.70	0.60			オリブ(5Y 5/4)	礫 (中〜粗砂)	最大φ60mm花崗岩、流紋岩礫多い。
10						明黄褐 (2.5Y 6/6)	中〜粗砂	1000m付近 L20° 上部が酸化鉄で 汚染されている。境界と層理を見た
11						緑 灰 (7.5GY 6/1)		11.00m 色調境界 L20° 11.50m 付近φ40mm±の礫あり 下部境界は漸移的で下部に行くに したがって礫多くなる。
12	-5.193	12.10	2.40			暗緑灰 (5G 4/1)	砂混り中〜粗砂	最大φ30mm、10~20mm程度のもの多い 黒色小角礫状、軟質物を含む(5mm)
13	-6.110	13.05	0.95			暗オリブ (5Y 4/4)	礫混り、砂混り シルト	ややしまっているが、不均質であり、水中 堆積物の感じがしない。
14	-7.173	14.15	1.10			オリブ灰(2.5GY 5/1)	礫	花崗岩の大礫
15	-7.366	14.35	0.20			オリブ灰 (10Y 5/2)	中〜粗砂	長石粒小さい
	-8.235	15.25	0.90			黄 (2.5Y 7/8)	砂混り中〜粗砂	マサ状であるが、異質礫が混つて いることからマサとは区別される。 15.80m 片麻岩状扁平礫 150×40mm
16	-9.443	16.50	1.25			黄〜明黄褐 (2.5Y 7/8 ~ 6/8)	粗 砂	中砂混り、色調が上位と同じで マサと区別した。
17	-10.409	17.50	1.00			黄 褐 (2.5Y 5/6)	花 崗 岩	かなりきたない風化花崗岩石英粒 は目立つが、雲母ははつきりしない。
18								
19								
20	-12.824	20.00	2.50					

宿屋No.6 (0.00~20.00m)



宿屋No. 7 (2の1)

GL=6.356m

L=32.58m※

※32.00~32.58mは
余掘り区間

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔内 水位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
1	6.156	0.20	0.20	-2.5m ▽		にふい書揚 (40YR 4/3) 褐~黄褐 (10YR 5/8)	シルト	表 土 0.20~0.30mの10mm小角礫を含む 中砂程度わずかに含む
	5.126	1.23	1.03				砂混りシルト	
2						灰 黄 (2.5Y 6/2)	砂質シルト ~シルト質砂	風化した長石を有する 不規則に酸化鉄に汚染されている。 部分的に砂の多いところあり。 細礫点状分布 下部砂混りシルトを挟む
3								
4	2.486 2.324 2.106	3.87 4.08 4.25	2.64 0.16 0.22			浅 黄 (2.5Y 7/4) 明黄褐 (2.5Y 7/6)	シルト混り砂礫 シルト混り砂礫	砂、シルト境界 40° 上部境界 45° 下部境界 30°
5								
6	0.256	3.90	1.65				シルト混り 砂 礫	不均質、下部に粗砂多い
7	-0.374 -1.094	6.73 7.45	0.83 0.72			黄 褐 (10YR 5/8) 褐 (10YR 4/6)	砂混り シルト質砂 砂質シルト、シルト質砂 細砂互層	礫 max φ 45mm 以上 石多いところ 砂 中~粗 不均質 互層境界 10° 最下部 砂混りシルト質砂
8	-1.694 -2.074	8.05 8.43	0.60 0.38			暗緑灰 (5G 4/1)	砂混りシルト	色調変化部 20°
9						暗緑灰 (5G 4/1)	砂混り シルト質砂	くさり礫~弱風化礫 φ max 30mm 多量に混る。 砂は粗から細まで混り不均質 9.80~10.19m スライム状 (粗砂)
10	-3.834	10.19	1.76			オリーフ黒 (5Y 3/1)	腐植土	腐植層、材 (10.60~10.80m間) を含む
11	-4.594	10.95	0.76			浅 黄 (7.5Y 7/3)	シルト混り、シルト質 中~粗砂	上部にわずかに礫φ10mm程度のものが 見られる (11.25m付近に幾粒の礫) 下部に砂質シルトあり 30° 上部互層状 25~30°
12	-5.464 -5.854	11.82 12.21	0.87 0.39			明黄褐 (2.5Y 6/2)	粗砂~細砂	上半 粗砂 (上下に粘土と伴う) 片礫混り粗砂 境界 30°
13	-6.764	13.12	0.91			にふい黄 (2.5Y 6/4)	シルト混り中~粗砂	砂不均質 下部砂礫状
14							粗~中~細砂 細砂	13.60m 酸化鉄 30° 13.90m " 45°
15						明黄褐 (10YR 4/6)	粗~中~細砂	15.32~15.42mに大礫φmax 65mm + x 35°
16						緑 灰 (10GY 4/1)	中~細砂 細砂	16.30m 酸化鉄 45° 下部境界 50°
17	-10.394 -10.494	16.75 16.85	2.63 0.10			暗オリーフ オリーフ灰 (5GY 5/1) 暗オリーフ灰 (5GY 4/1)	シルト 微細砂	(2.5Y 4/3) 小さなブロック状にまみれる。断面 の可能性ある主傾斜特定出来る 上部境界 20° 17.30mシルト 1mm 65° 17.80m かすかなミナ 35°
18	-11.964	18.32	1.47			暗緑灰 (7.5GY 4/1)	泥 岩 粘土質シルト	上部境界 45° 上部より泥岩~粘土シルト~シルト質粘土 ~粘土質シルトになる。19.15m 40° 19.80m 付近粗粒部ミナ 55°
19								
20	-13.594	19.95	1.63					

宿屋No. 7 (2の2)

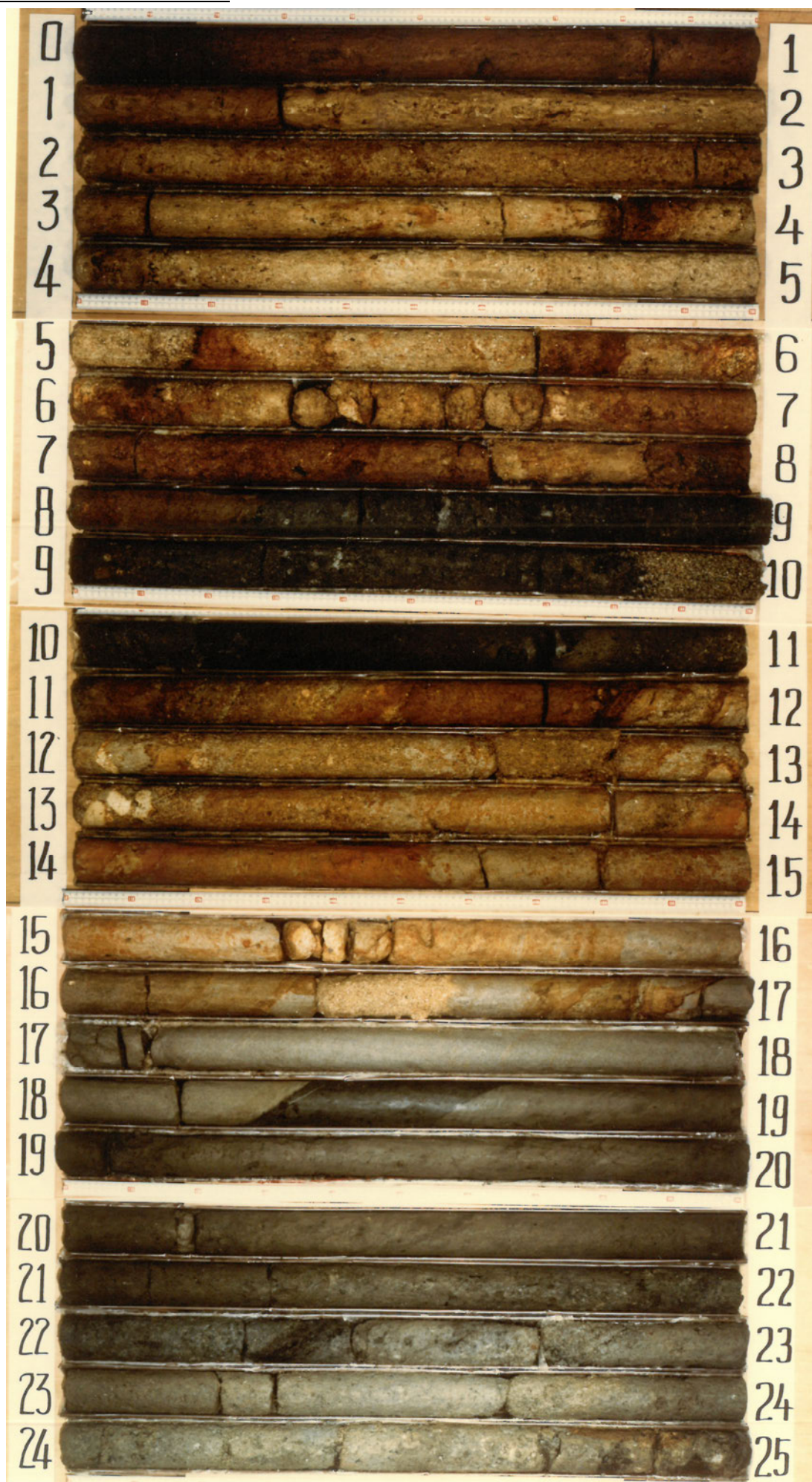
GL=6. 356m

L=32. 58m※

※32. 00~32. 58mは
余掘り区間

20							20.55m 付近色調変化部 L 65°
21					暗オリ-フ灰 (2.5GY 4/1)	粗砂混り シルト質 細砂	全体に腐植物片を少量混える。下部で やっかい。粗砂・細砂下部に少しづつ 多くなる。下部境界漸移で不明瞭であ る L 60°
22	-15.444	21.80	1.85		暗緑灰 (5GY 4/1)	粗砂混りシルト質砂 砂混りシルト	細砂 5~3mm。下部境界 L 60° 上部腐植土質(22.38mまで)下部細砂混り
23	-15.974	22.33	0.53		オリ-フ灰 (2.5Y 5/1)		
24	-16.244	22.60	0.27		暗オリ-フ灰 (2.5Y 4/1)	砂混りシルト質 粗~中~細砂	全体に不均質な砂よりなる。 22.60~22.85m 砂 20mm 22.85~23.85m 10mm以下 23.85~24.75m 20mm 下部境界漸移
25	-18.394	24.75	2.15		灰 (7.5Y 5/1)	シルト質 砂 砂 ~砂混りシルト質砂	24.75~25.20m。25.56~25.90mは 砂層(φ50~10mm)その他の部分から 砂混りシルト質 粗~中砂 下部境界 L 45°
26	-19.544	25.90	1.15		灰~灰オリ-フ 黒(10YR 2/1)	シルト質 砂 砂混り砂質シルト	(7.5Y 5/1 ~ 5/2)下部細砂混り。境界 L 65°
27	-19.894	26.25	0.35		灰 (7.5Y 5/1)	シルト混り砂 砂 砂	26.38まで砂混りシルト(腐植土) 26.78以降シルト混り砂 砂。L 60° 下部境界 L 70°
28	-20.794	27.15	0.90		黒(10YR 2/1)	腐植土	木片見られる。大半がシルト。下部境界 L 50°
29	-21.204	27.56	0.41		灰オリ-フ (5Y 4/2)	砂質シルト 細砂混り砂質シルト ~同シルト質砂	腐植物混り。腐植土質。細砂を混える。 腐植土質。腐植物。粗砂ラミナ状を呈す L 65°
30	-21.644	28.00	0.84		黒褐(10YR 2/2)	腐植土	L 55°~60°
31	-22.644	28.62	0.62		オリ-フ黒 (5Y 3/1)	腐植物混り粗~細砂	シルト質 小砂をまきむ
32	-22.944	29.00	0.45		黒(2.5Y 2/1)	砂 砂 砂	29.90m 腐植物状の砂。腐植土質 L 50°
33	-23.494	29.85	0.50		緑 灰 (5GY 4/1)		風化し軟質である。 30.00 付近に組織をきさいに残した ところがあるが、他はかなりもやけている。 その方向は はっきりしないが、かなり乱 のようである。しまいた中に斑晶の大きい 風化花崗岩も見られる。
34	-26.224	32.58	2.73		青 灰 (10G 6/1)	風化花崗岩	

宿屋No.7 (0.00~25.00m)



宿屋No.7 (25.00～32.00m)



※32.00～32.58mは余掘り区間のためコア写真なし

宿屋No. 8(1の1)

GL=12.187m

L=14.35m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔 内 水 位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
1	10.837	1.25	1.35			暗 褐 (10YR 3/4)	砂混リシルト	表土、崩積土
2						黄 褐 (10YR 5/8)		風化した長石多い。
3	8.787	2.40	2.05	-3.6m ▽		にぶい黄 (2.5Y 4/4)	砂混リシルト	細礫点状する。 2.5m以下管母の微細片多い。
4						緑 灰 (5G 5/1)		
5						暗 緑 灰 (10GY 4/1)		4.87~4.90m、5.77~5.79mおよび 5.90m付近の腐植物あり。
6						暗 緑 灰 (5G 4/1)	細砂~シルト	細礫点状する。
7	5.437	4.75	3.95			緑 (15YR 9/4)		
8	4.387	7.80	1.05			黄褐 (10YR 5/2)	礫混リシルト	6.95m 付近 最大φ40mm程度の 礫数個あり。
9	2.837	9.35	1.55			黄褐 (10YR 5/2)		
10						黄 (10YR 9/4)	砂 質 シルト	無水湿部分で2cm程度のオーガー で砂部とシルト部がくっきりしている
11						明黄褐 (2.5Y 4/8)		
12	0.237	11.95	2.60			黄 褐 (10YR 5/8)	礫 混 リ シルト質砂	最大 60mm 程度のくさり 礫の 他に比較的小さい小角礫を含む 11.50m以下は腐植物混リで 思われる。
13						褐 灰 (10YR 4/1)		
14	-2.167	14.35	2.40				花 崗 岩	斑晶 中~粗程度の風化花 崗岩、もましくおらす 比較 的きつい。

宿屋No.8 (0.00～15.00m)



※ コアが短柱状の区間は標準貫入試験実施による

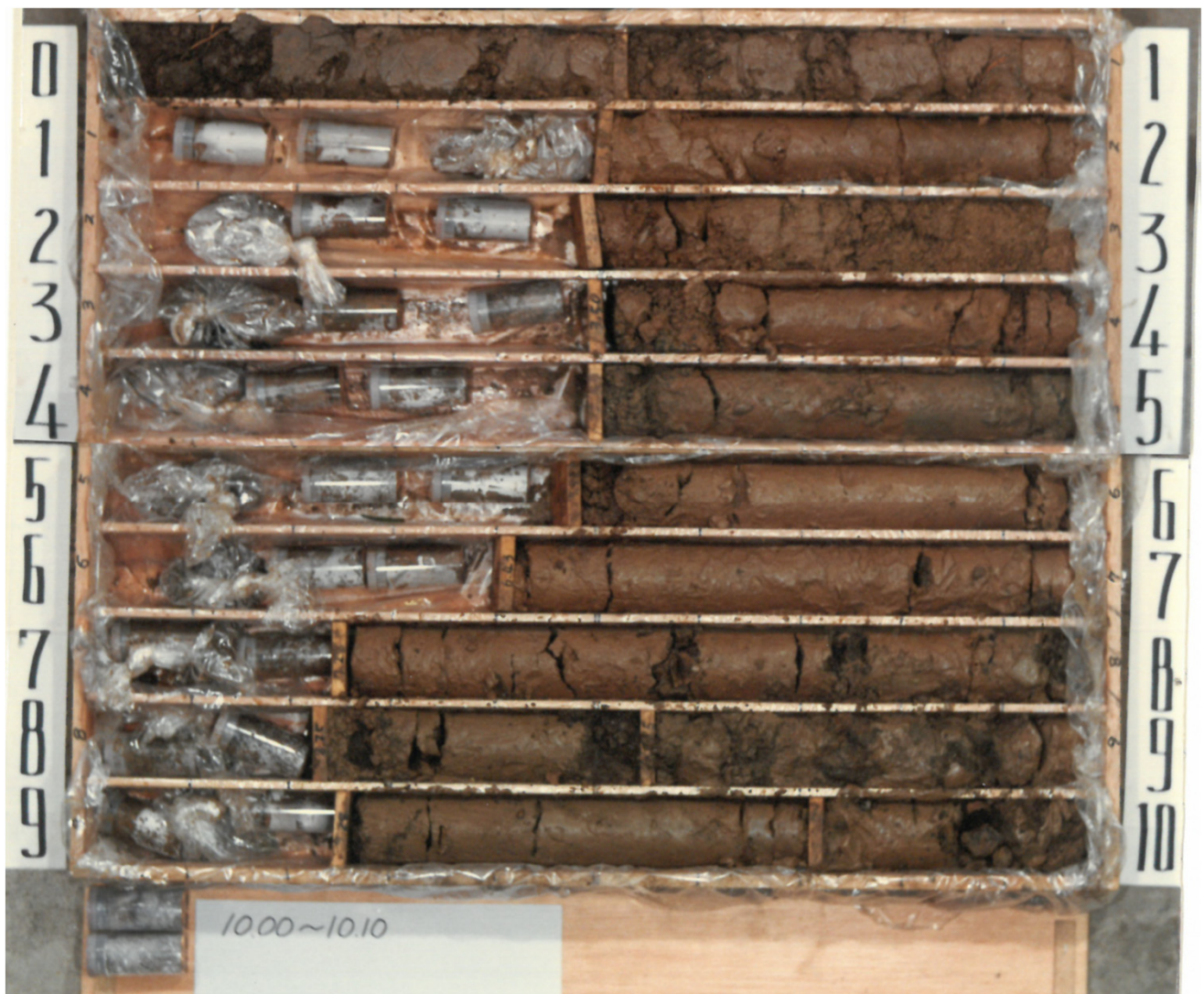
宿屋No. 9(1の1)

GL=17.377m

L=10.10m

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	孔内水位 m	柱 状 図	色 調	地 質	記 事
								観 察
	17.177	0.20	0.20			暗褐 (10YR 3/6)	シルト	植物根混り 蒸土
1						暗褐 (10YR 3/6)		
2				-2.9m		褐 (7.5YR 4/6)	砂混りシルト	植物根少量混入。
3	14.677	2.75	2.55			オリブ褐 (2.5Y 4/6)		No.8孔と比べ微晶細かく 細粒花崗岩といえよう。
4						オリブ褐 (2.5Y 4/6)		風化著しいが、無水極部には 比較的硬い部分が硬状に 残っている。
5						オリブ褐 (2.5Y 4/6)		
6						オリブ褐 (2.5Y 4/6)		
7						オリブ褐 (2.5Y 4/6)		
8						オリブ黒 (5Y 3/2)		7.5m 付近から下部はさらに細粒 となり、有色鉄物が多いように見ら れるがルーペで見ると石英粒も かなりあることがわかる。
9						オリブ黒 (5Y 3/2)		
10	7.277	10.10	2.55				花崗岩	

宿屋No.9 (0.00～10.00m)



※ コアが短柱状の区間は標準貫入試験実施による

宿屋No. 10(6の1)

GL=12.187m

L=90.0m

地層名	色 調	硬 さ	風 化	変 質	RQD	最大 コア長	破 碎 度	記 載
砂質 シルト	10YR 3/3							0.00~1.62m 砂質シルト 褐色を呈する砂質シルト 全体に石英粒子、風化した長石粒子や雲母粒子を中粒砂状に含むシルト
	10YR 4/3							
	10YR 3/2							
	10YR 4/3							
	10YR 3/3							
砂質 シルト	2.5Y 6/6							1.62~2.65m 砂質シルト 黄灰色を呈する砂質シルト 粗粒砂〜細粒状の石英、長石の粒子が2~3%点在する。 まれにφ15mmの風化変質した花崗閃緑岩礫を含む。
	2.5Y 6/3							
	2.5Y 6/4							
シルト	2.5Y 6/3							2.65~3.05m シルト 黄灰色を呈するシルト 少量の長石を斑点状に含む。 3.05~3.15m 砂質シルト 黄灰色を呈する砂質シルト 上位層と下位層の漸移部 3.15~3.40m 中粒砂 黄灰色を呈するアルコース質の中粒砂 3.30~3.40m、酸化し黄褐色を呈する。 3.40~4.05m 砂質シルト 黄灰色〜青緑灰色〜緑灰色を呈する砂質シルト 長石が斑点状に点在する。 3.83m ∠65°の割れ目に沿って酸化褐色化する。厚さ2mm 4.05~5.25m 礫混じり砂質シルト 緑灰色を呈する砂質シルト φ2~10mmの風化した花崗閃緑岩の角〜亜角礫を2~3%含む。 全体に長石が斑点状に点在する。
	2.5Y 6/4							
	10YR 6/4							
礫混じり 砂質 シルト	2.5Y 6/6							5.25~6.05m 中粒砂 オリーブ灰色を呈する中粒砂 φ1~2mmの風化変質した長石が斑点状に点在する。 6.05~8.25m 礫混じり粗粒砂 黄灰色〜灰色を呈する礫混じり粗粒砂 φ2~40mmの花崗閃緑岩の亜角〜亜円礫を3~4%含む。 6.05~6.34m 酸化し黄灰色を呈する。 6.34~7.25m 腐植物多く灰色を呈する。 6.60~6.70m 特に腐植物が密集する。 7.25~8.25m 緑灰色を呈する。 全体にφ1~2mmの風化変質した長石が斑点状に点在する。 8.25~8.60m 粗粒砂 黄灰色〜灰白色を呈するアルコース質の粗粒砂 長石・石英粒子主体 8.60~8.75m 中粒〜細粒砂 黄灰色を呈する中粒〜細粒砂 ラミナ∠20° 8.75~8.95m 礫混じり中粒〜(細粒)砂 φ2~10mm花崗岩礫を2~3%含む。 正級化 8.95~9.25m 極粗粒砂 アルコース質の極粗粒砂 淘汰悪い 9.25~9.38m シルト質細粒砂 浅黄灰色〜灰色を呈し、細粒砂とシルトの互層 平行ラミナ明瞭 ∠30° 9.38~9.60m 粗粒砂 灰色〜灰白色を呈するアルコース質粗粒砂 淘汰悪い 9.60~9.75m シルト オリーブ黄色を呈するシルト 平行ラミナ明瞭 ∠30° 9.75~9.97m 中粒〜粗粒砂 オリーブ黄色を呈するアルコース質中粒〜粗粒砂 φ30mmの風化花崗岩礫を含む。 9.97~10.03m シルト やや砂質なシルト 下位層を削りこむ。∠20°
	10GY 6/1							
	10Y 6/2							
礫混じり 粗粒砂	2.5Y 6/4							10.03~11.35m 強風化花崗閃緑岩 (弱破砕部) 明黄褐色を呈する強風化花崗閃緑岩 原岩組織は残在するが、全体が褐色化し極めて軟質 石英と正長石の一部は若干新鮮 11.35~13.65m 風化花崗閃緑岩 (弱破砕部) 明灰色〜オリーブ黄色〜淡緑灰色呈する風化花崗閃緑岩、有色鉱物はすべて緑泥石化し、長石は白濁、軟質化する。上部ほど風化度大きい。 全体に10cm以下の間隔で微小断層が発達する。 ∠20~60° 11.78m ∠40° f 厚さ2mm 緑灰色粘土 幅20~30mm 砂状の破砕部 11.88m ∠30° f 幅10~15mm 砂まじり粘土状の破砕部 12.60m ∠80° f 幅5~13mm 粘土まじり砂状の破砕部 幅2mmの緑灰色粘土を伴う 13.12m ∠60° f 幅3~5mm 緑色粘土 13.18m ∠60° f 幅5mm 緑灰色粘土 13.62mと13.64m ∠50° f 幅5mm 緑灰色粘土 (2条) 極軟 13.65~14.97m 花崗岩 (一部弱破砕部) 灰色〜淡緑灰色を呈する花崗岩 カリ長石 (ピンク) がやや多い。有色鉱物は黒雲母主体 (色指数10%程度) 13.70m~14.10m ∠15~30° 幅2~5mmの緑灰色粘土を多数伴う。 14.21m ∠45° f 幅2~5mmの緑灰色粘土 極軟 14.59m ∠30° f 幅3~5mmの緑灰色粘土 極軟 14.97~15.01m 断層破砕部 オリーブ灰色〜灰色を呈する粘土 (極軟) φ0.5mmの石英粒子を1~2%程度含む。 14.97m ∠40°
	10YR 6/4							
	2.5Y 6/6							
	10YR 6/6							
	2.5Y 6/4							
	2.5Y 7/2							
	2.5Y 7/4							
	5Y 6/3							
	5Y 6/2							
	5Y 6/3							
強風化 花崗閃緑岩 (弱破砕部)	2.5Y 6/6	D	ε	3	0	0	III	
	5GY 7/1			3	15	15		
	5Y 6/3	C~(D)	δ	2	30	15	III	
風化 花崗閃緑岩 (弱破砕部)	2.5Y 6/4							
	7.5Y 6/3							
	5GY 6/1							
花崗岩 (一部 弱破砕部)	10YR 7/2	C	γ	1	90	37	II~III	
	2.5Y 7/3							

柱状図の凡例

- * 色調は「標準土色帖」に元づいて記載した。
- * 硬さ、風化、変質の区分はJACICに従った。(岩盤にのみ適用した)
- * 破砕度の区分は松田・岡田(1977)による。

硬さ

硬さ	ハンマーで叩くと金属音
A 極硬	ハンマーで叩くと軽い金属音
B 硬	ハンマーで叩くと濁音、容易に割れる。
C 中硬	脆弱で指で割れ崩れる。
D 軟	粉体になりやすい。
E 極軟	

注、C~(D)は、Cを主体とするが、部分的にDを含む場合を示す。

風化区分

記号	風化の程度
α	非常に新鮮である。造岩鉱物の変質はまったくない。
β	新鮮である。有色鉱物の周辺には赤褐色化がある。長石の変質はない。
γ	弱風化している。有色鉱物の酸化汚染がある。長石の部分的な変質 (白色化) がある。
δ	風化している。有色鉱物が黄褐色あるいは周辺が褐色粘土化している。長石の大部分が変質している。
ε	強風化している。石英および一部の長石を除きほとんど変質し原岩組織が失われている。

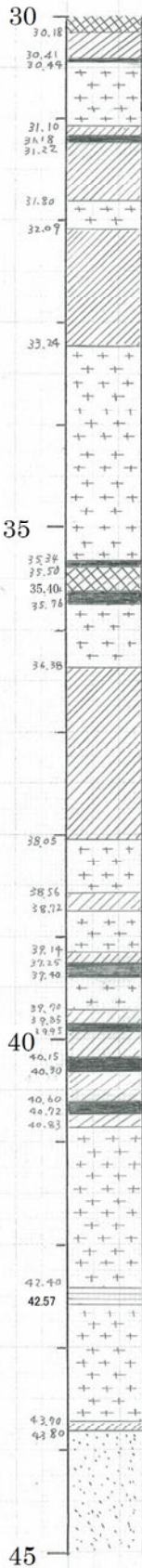
$L=90.0\text{m}$



地層名	色 調	硬さ	風化	変質	RQD	最大コブ長	破 碎 度	記 載
断層破砕部	7.5Y 7/3	E	α	4			V	(15.00)～15.01m 断層破砕部
花崗岩 (弱破砕部) ～ 断層破砕部	10YR 6/3 (5Y 6/3 まじる)	C～(D)	γ	2	10	10	Ⅲ～Ⅳ	15.01～15.90m 花崗岩(弱破砕部～断層破砕部) 淡橙灰色～灰色を呈する花崗岩 10cm 以下の間隔で $\angle 10\sim 30^\circ$ 幅 50～70mm の断層粘土(淡黄灰色, 軟質)を多数伴う。
断層破砕部	5Y 7/3	E	γ	4			V	15.90～19.53m 断層破砕部
断層破砕部	10Y 7/2	D	β	3	0	0	V	15.90m $\angle 40^\circ$ 幅 100mm 極軟質な黄灰色細礫混じり粘土 16.10m $\angle 60^\circ$ 幅 20～30mm 極軟質な淡緑灰色粘土 16.10～16.48m 軟質な角礫混じり粘土 下端 $\angle 50^\circ$ 16.48～18.83m 粘土混じり角礫状を呈する花崗岩の断層破砕部 全体に緑灰色を呈する
花崗岩 (断層破砕部)	10GY 7/1	C～(D)	β	3	0	0	Ⅳ	18.83m $\angle 30^\circ$ 幅 2～3mm 緑灰色粘土 18.83～19.40m 細礫混じり粘土状を呈する花崗岩の断層破砕部(粘土分 60～80%)
花崗岩 (断層破砕部)	7.5GY 7/1	D	β	3			Ⅳ	19.40～19.53m 全体に灰色呈する葉片状粘土 $\angle 20\sim 25^\circ$
断層破砕部	N 5/	E	β	3	0	0	V	19.53～21.18m 塩基性捕獲岩(弱破砕部)
塩基性捕獲岩 (弱破砕部)	N 3/	C～(D)	β	1	0	0	Ⅲ	暗灰色を呈する細片状の塩基性捕獲岩 19.88m $\angle 10^\circ$ 幅 60mm 岩片混じり粘土状 19.88～20.30m 細片状破砕 21.10～21.18m $\angle 30\sim 40^\circ$ 砂状～細片状破砕
花崗岩 (弱破砕部)	5GY 7/1	D	β	1			Ⅲ	21.18～21.63m 花崗岩(弱破砕部)
断層破砕部	5GY 4/1	C	β	4	24	24	Ⅲ	花崗岩(色指数 10%) 但し, 21.45～21.60m は有色鉱物密集し緑色化 21.63～21.80m 断層破砕部
断層破砕部	7.5GY 8/1	E	β	4			V	灰白色を呈する極軟質な粘土 上端 $\angle 30^\circ$ 下端 $\angle 20^\circ$ 砂状物を 2～3%含む 21.80～23.30m 断層破砕部
断層破砕部	2.5GY 8/1	D～(E)	β	4	0	0	V	明緑灰色～灰白色を呈し, 著しく粘土化する花崗岩(ほとんど原石組織は失われている 石英, 長石の粒子が 15%程度残る。 23.30～23.58m 断層破砕部
断層破砕部	5GY 7/1	D～(E)	β	4			V	上, 下の断層破砕部とほぼ同質であるが, より粘土分多く極軟質 上, 下位層へ漸移し, 明瞭な断層面が判別できない。 23.58～24.08m 断層破砕部 21.80～23.30m と同質 24.08～24.25m 断層破砕部 23.30～23.58m と同質 24.25～24.33m 断層破砕部
断層破砕部	7.5GY 7/1	E	β	4	0	0	V	緑灰色を呈する細粒砂混じり粘土 24.33m 下位層との境界明瞭 $\angle 50^\circ$ 24.33～24.88m 花崗岩(一部弱破砕部)
断層破砕部	7.5GY 7/1	E	β	4			V	ピンク色のカリ長石が特長的な花崗岩(色指数 10%程度)
断層破砕部	10GY 7/1	E	β	4			V	24.63～24.66m 幅 30mm 粘土分が混じり軟質化した花崗岩 破砕度Ⅲ 24.66～24.68m $\angle 30^\circ$ 幅 20mm 角礫混じり粘土状
花崗岩 (一部弱破砕部)	5GY 8/1	C	β	1	23	13	Ⅱ～Ⅲ	24.88～25.00m 断層破砕部
断層破砕部	10Y 6/1	E	α	3			V	24.88m $\angle 40^\circ$ 角礫を 15～20%含む礫混じり粘土 角礫も軟質化 25.00～26.62m 花崗岩(弱破砕部～断層破砕部)
花崗岩 (弱破砕部) ～ 断層破砕部	5GY 7/1	C	β	1	47	20	Ⅱ～Ⅲ	ピンク色のカリ長石が特長である。(色指数 15～20%程度) 所々 $\angle 10\sim 30^\circ$ の小断層を伴う。(幅 20～70mm 程度, 緑灰色粘土) 26.20～26.62m やや小断層多い。 26.62～27.02m 花崗岩(断層破砕部)
断層破砕部	7.5Y 7/2	D～(E)	β	3			Ⅳ	粘土混じり角礫状 角礫も軟質化 27.02～28.65m 花崗岩(断層破砕部)
断層破砕部	7.5Y 7/3	E	β	3			Ⅳ	粘土分を 50%以上含む断層破砕部 27.22m $\angle 10^\circ$ 幅 10mm 緑灰色粘土 27.34～27.45m 破砕状花崗岩 $\angle 5\sim 10^\circ$ 破砕度Ⅲ 27.80～27.88m $\angle 10^\circ$ 幅 40mm の極軟質な緑灰色粘土 27.88～28.15m 破砕状花崗岩 岩片主体 粘土混じり
断層破砕部	10Y 6/1	D～(E)	β	3	0	0	Ⅲ	28.65～29.40m スライム
断層破砕部	7.5Y 7/2	E	β	3			Ⅳ	上, 下位の断層破砕部と同質と推定される。 29.40～(30.00)m 断層破砕部
断層破砕部	10Y 7/2	D～(E)	β	3			Ⅳ	29.59～29.80m 断層破砕部
断層破砕部	5GY 7/1	E	β	4	0	0	Ⅳ	・29.59m $\angle 10^\circ$ 幅 4～6mm 暗褐色粘土(泥岩起源?) ・29.60～29.67m 暗褐色粘土(泥岩起源?) ・29.67～29.69m 灰色～灰白色粘土 ・29.69～29.73m 暗褐色粘土(泥岩起源?) ・29.73～29.80m 灰色粘土 $\angle 50^\circ$
断層破砕部	2.5GY 6/1 (スライム) [花崗岩]	—	—	—			Ⅳ～Ⅴ (推定)	29.80～29.89m 破砕した軟質な花崗岩 下端 $\angle 40^\circ$ 幅 4mm の灰色粘土 29.89～29.94m $\angle 30^\circ$ 暗緑灰色～灰白色を呈する粘土 29.94～(30.00m) 青灰色を呈する断層破砕部 原岩判別は困難
断層破砕部	5GY 6/1	E	β	3～(4)			Ⅳ～Ⅴ	

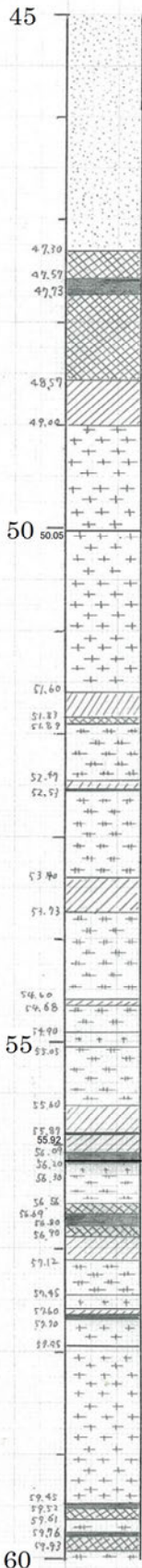
記号	変質区分	変質状況
1	非変質	肉眼的に変質鉱物の存在が認められない。
2	弱変質	原岩組織を完全に残し、変質程度（脱色）が低いもの。あるいは非変質部の割合が高いもの（肉眼で50%以上）。
3	中変質	肉眼で変質が進んでいると判定できるが、原岩組織を明らかに残し、原岩判定が容易なもの。または非変質部を残すものおよび網状変質部。
4	強変質	構成鉱物、岩片等が変質鉱物で完全に置換され、原岩組織を全く～殆ど残さないもの。

断層破砕帯の破砕岩分類（松山・高田，1977）	
破砕度	分類の基準
V	主として（90%以上）細粒物質（断層作用によって生じた粒子が0.2mm以下の物質、細粒砂以下）よりなる。
IV	細粒物質が面積比で粗粒物質より多量（50～90%）である。
III	細粒物質が粗粒物質より少量である。
II	細粒物質が一般に認められない（あっても10%以下）が、小断層、節理などの割れ目が概して10cm以下の間隔で生じている。
I	細粒物質がなく、割れ目が概して10cm以上の間隔で生じている。



地層名	色 調	硬 さ	風 化	変 質	RQD	最大 コア長	破 碎 度	記 載
断層破砕部	5PB 6/1	E	β	3~(4)	32	32	V	(30.00) ~ 30.18m 断層破砕部
塩基性捕獲岩 (弱破砕部)	5GY 3/1	D~(E)	β	1			III	青灰色呈し、源岩判別しにくい。礫は引き延ばされている。 30.18m $\angle 30^\circ$ 幅 40mm 縞状を呈する灰色粘土
断層破砕部	5GY 3/1	D~(E)	β	1			III	30.18~30.41m 塩基性捕獲岩 (弱破砕部)
花崗閃緑岩 ~花崗岩 (弱破砕部)	5G 7/1~8/1	C	β	2	0	8	III	黒色を呈する粘土まじり礫 上端 $\angle 30^\circ$ 下端 $\angle 20^\circ$
花崗岩(弱破砕部)	7.5GY 7/1	D~(E)	β	3			III	30.41~30.44m 断層破砕部 淡緑灰色の極軟質な粘土 幅 3~5mm で黒色の砂混じり粘土伴う
花崗岩 (弱破砕部)	5GY 6/1	C	β	2			III	30.44~31.10m 花崗閃緑岩~花崗岩 (弱破砕部)
花崗岩 (弱破砕部)	5GY 7/1	D~(E)	β	3	0	7	III~IV	緑灰色~淡緑灰色を呈するやや変質した花崗閃緑岩~花崗岩 30.44~30.60m 緑灰色細粒花崗閃緑岩 30.60~31.10m やや破砕された花崗岩~花崗閃緑岩
花崗岩 (弱破砕部)	5GY 7/1	D~(E)	β	3			III~IV	31.10~31.18m 花崗岩 (弱破砕部) 灰白色を呈する花崗岩の弱破砕部 31.18~31.22m 断層破砕部 $\angle 70^\circ$ 極軟質な赤褐色粘土 幅 10mm
断層破砕部	5GY 7/1	D~(E)	β	3			III~IV	31.22~31.80m 花崗岩 (弱破砕部) 淡緑灰色を呈する礫混じり粘土 角礫を 60~70%含む 31.80~32.09m 花崗岩 (弱破砕部)
花崗岩~ (花崗閃緑岩) (弱破砕部)	5GY 6/1	C~(D) (一部 E含む)	β	2	0	9	III	淡緑灰色を呈する花崗岩 (色指数 10%以下) 32.09~33.24m 花崗岩 (弱破砕部~断層破砕部) 灰白色花崗岩の弱破砕部~断層破砕部 角礫を 40~50%含む礫混じり粘土状 32.09m $\angle 50\sim 60^\circ$ 幅 20mm の灰色粘土を伴う 全体に $\angle 10\sim 50^\circ$ の粘土を挟む断層面を多数伴う。
断層破砕部	5GY 8/1	E	β	4			V	33.24~35.34m 花崗岩 (~花崗閃緑岩) (弱破砕部) ピンクのカリ長石を特長的に含む。色指数 (10%以下) 有色鉱物はほとんど緑泥石化 カリ長石は $\phi 2\sim 8$ mm, 所々 $\phi 10$ mm 以上 他の造岩鉱物は $\phi 2\sim 5$ mm 10cm 間隔以下で $\angle 10\sim 30^\circ$ の小断層を伴う。
断層破砕部	N 4/	D	β	2			IV	35.17m $\angle 30^\circ$ 幅 30mm 角礫を含む礫混じり粘土
断層破砕部	5GY 7/1	E	β	4	12	12	V	35.34~35.76m 断層破砕部
断層破砕部	5GY 7/1	E	β	4			V	35.34~35.40m 緑灰色~灰白色を呈する極軟質な粘土 $\angle 10\sim 15^\circ$
花崗岩	2.5GY 8/1	C	β	2			II	35.40~35.64m 暗灰色を呈する粘土混じり礫 下部 30mm は粘土主体 下端 $\angle 45^\circ$ 35.64~35.76m $\angle 45^\circ$ 淡緑灰色 (~灰白色) を呈する極軟質な粘土
花崗岩 (弱破砕部)	7.5GY 7/1	(C)~ D ~(E)	β	2~(3)	0	10	III~IV	35.76~36.38m 花崗岩 優白色の花崗岩 (色指数 5~6%) 全体に弱変質し長石は白濁化 カリ長石多い。 36.38~38.05m 花崗岩 (弱破砕部~断層破砕部) 全体的に灰白色~淡緑灰色を呈する 角礫混じり粘土~粘土 所々に礫状の花崗岩を含む $\angle 10\sim 20^\circ$ の剪断面を伴う
断層破砕部	5GY 8/1	E	β	4			III	38.05~38.56m 花崗岩 (弱破砕部) 優白色の花崗岩 (色指数 7~8%) 38.16~38.30m 暗灰色を呈する 38.56~38.72m 花崗岩 (弱破砕部~断層破砕部) 38.56~38.68m 角礫混じり粘土 38.68~38.72m 幅 30~40mm の灰白色~緑灰色を呈する軟質な粘土 上端 $\angle 45^\circ$ 下端 $\angle 30^\circ$
断層破砕部	5GY 8/1	E	β	4			III~IV	38.72~39.14m 細粒閃緑岩 (弱破砕部) 青緑灰色を呈する細粒閃緑岩主体 39.14~39.25m 花崗岩 (弱破砕部) 軟質な角礫混じり粘土
断層破砕部	10GY 6/1	C	β	2	0	7	III	39.25~39.40m 断層破砕部
断層破砕部	5GY 8/1	D~(E)	β	2~(3)			III~IV	39.25m $\angle 10^\circ$ 幅 20~15mm の灰色を呈する極軟質な粘土 39.27~39.30m $\angle 25\sim 30^\circ$ 幅 30~35mm の赤褐色を呈する極軟質な粘土 39.30~39.40m $\angle 30^\circ$ 幅 100mm の淡緑灰色~灰白色を呈する極軟質な粘土
断層破砕部	5GY 7/1	C	β	2			III	39.40~39.70m 花崗岩 (弱破砕部)
断層破砕部	5GY 7/1	D	β	3	0	0	V	優白色の花崗岩 (色指数 12~13%) 全体に弱変質し長石は白濁化 39.70~39.85m 花崗岩 (弱破砕部) 淡緑灰色を呈する軟質な粘土混じり礫
断層破砕部	5G 6/1	D	β	3			V	39.85~39.95m 断層破砕部 極軟質
断層破砕部	10G 7/1	D	β	3			IV	39.95~40.15m 断層破砕部
断層破砕部	5P 6/1	E	β	3	25	14	IV	40.15~40.30m 断層破砕部
断層破砕部	5GY 8/1	D	β	3			IV	$\angle 10\sim 20^\circ$ 灰色~灰白色~緑灰色を呈する極軟質な粘土が縞状を呈する 40.30~40.60m 花崗岩 (断層破砕部) 緑灰色を呈する花崗岩の破砕部 粘土混じり礫~粗粒砂状で固結する
花崗岩 (一部 弱破砕部)	5GY 7/1	C	β	2			II~III	40.60~40.72m 断層破砕部 $\angle 30\sim 25^\circ$ 幅 120mm 灰色~赤灰色を呈する極軟質な粘土 40.72~40.83m 花崗岩 (断層破砕部) $\angle 10^\circ$ 角礫~岩塊混じり粘土 軟質
断層破砕部	7.5GY 6/1	C	β	1	40	16	II	40.83~42.40m 花崗岩 (一部弱破砕部) 優白色の花崗岩 (色指数 10~12%) 所々に幅 10mm 以下, $\angle 10\sim 40^\circ$ の小断層を伴う
断層破砕部	N 2/	D	β	1			II	42.40~42.57m 塩基性捕獲岩 黒色を呈する 岩片状の塩基性捕獲岩 上下位層との境界は $\angle 20^\circ$
断層破砕部	5GY 6/1	C	β	1			II~III	42.57m $\angle 20^\circ$ 幅 4~6mm 灰色粘土を伴う
断層破砕部	7.5GY 4/1	C	β	1	14	14	II~III	42.57~43.70m 花崗閃緑岩 (一部弱破砕部) 優白色の花崗閃緑岩 (色指数 15~20%) 43.70~43.80m 花崗岩 (弱破砕部)
断層破砕部	7.5GY 5/1	D	β	2			III	緑灰色を呈する粘土混じり礫状の弱破砕部 $\angle 40^\circ$ 43.80~(45.00) m 塩基性捕獲岩
断層破砕部	5PB 4/1	B	β	1			I~II	緑灰色~灰色を呈する塩基性捕獲岩 全体に網状の亀裂が多数発達する 44.70~44.85m 亀裂密集し破砕度 II となる
断層破砕部	5B 5/1	B	β	1	45	33	I~II	

D~(E)は、Dを主体とし一部Eを含む場合を示す。
III~(IV)は、IIIを主体とし一部IVを含む場合を示す。



地層名	色 調	硬さ	風化	変質	RQD	最大 コア長	破碎 度	記 載
塩基性 捕獲岩	10GY 5/1	C	β	1	90	58	I	(45.00) ~ 47.30m 塩基性捕獲岩 緑灰色を呈する砂岩 全体に網状割れ目が多く発達する。 45.90m ~ 45.95m $\angle 30^\circ$ 細片状の固結破砕部 47.05 ~ 47.30m 暗紫灰色を呈する 一部細片状 破砕度 II
	5GY 4/1				100	100	I	47.30 ~ 49.00m 花崗閃緑岩 (断層破砕部) 47.30 ~ 47.57m 粘土混じり礫 下端は $\angle 30^\circ$ 47.36m 付近 $\phi 50\text{mm}$ の砂岩の垂角礫を含む 47.45m 付近 $\angle 50 \sim 60^\circ$ 暗褐色礫を含む 47.57 ~ 47.73m 淡緑灰色を呈する極軟質な礫混じり粘土 47.73m 幅 3mm 灰色粘土 $\angle 30^\circ$ 47.73 ~ 48.57m 礫混じり粘土 ~ 粘土混じり礫 上端 $\angle 30^\circ$ 下端 $\angle 35^\circ$ 48.57 ~ 49.00m 固結破砕部 粘土混じり角礫からなる
	5PB 3/1	C		2			II	
	7.5GY 6/1 5GY 4/1	E		4	0	8	IV	
花崗閃緑岩 (断層破砕部)	5GY 4/1	E		4			V	
	10GY 7/1	E	β	4	0	7	IV ~ (V)	49.00 ~ 50.05m 花崗閃緑岩 有色鉱物多く色指数 40%程度となる 比較的新鮮で堅固な花崗閃緑岩 49.50 ~ 49.75m $\angle 20 \sim 45^\circ$ の割れ目に幅 1 ~ 2.5mm の酸化鉄充填する
	10GY 7/1	D		4			IV	50.05 ~ 51.60m 花崗閃緑岩 有色鉱物はすべて緑泥石化する 色指数 40 ~ 45% 50.80 ~ 51.60m 10cm 間隔程度で $\angle 20 \sim 45^\circ$ の小断層 (幅 1cm 以下) が発達
								51.60 ~ 51.89m 花崗閃緑岩 (断層破砕部) 51.60m $\angle 20^\circ$ 幅 25mm 緑灰色 ~ 灰白色の砂状物が混じる粘土を伴う 51.62 ~ 51.63m $\angle 10^\circ$ 石英脈を伴う 51.63 ~ 51.83m 粘土混じり角礫状 51.83 ~ 51.89m $\angle 40^\circ$ 灰白色 極軟質な角礫混じり粘土 51.89 ~ 55.05m 花崗閃緑岩 (弱破砕部 ~ 断層破砕部) 淡緑灰色を呈する花崗閃緑岩の弱破砕部 ~ 断層破砕部 全体に破砕され、間隔 10cm 以下で小断層を多数伴う。
花崗閃緑岩	5G 7/1	C	α	1	81	81	I	52.47 ~ 52.53m 緑灰色を呈する極軟質な砂混じり粘土 ~ 粘土 上端 $\angle 30^\circ$ 下端 $\angle 45^\circ$
		B	γ		61	36	II	53.40 ~ 53.73m 破砕度 IV 53.73m $\angle 20^\circ$ 幅 8mm 緑灰色を呈する極軟質な粘土 54.60 ~ 54.68m 紫灰色 軟質な礫混じり粘土 ~ 粘土混じり砂 上端 $\angle 30^\circ$ 下端 $\angle 30^\circ$
		C	α		62	62	IV	
	5G 6/1	D		3			V	
花崗閃緑岩 (断層破砕部)	5GY 7/1	C	β	2			III	
花崗閃緑岩 (断層破砕部)	5GY 7/1	E		3	26	13	V	55.05 ~ 55.60m 花崗閃緑岩 (弱破砕部) 全体に著しく破砕され、長石は粘土化、有色鉱物は緑泥石化する $\angle 20 \sim 45^\circ$ の剪断面を多く伴う
断層破砕部	5GY 7/1	E		3				55.60 ~ 56.20m 断層破砕部 55.60m $\angle 30^\circ$ 55.60 ~ 55.87m 岩片や粗粒物を多く含み、礫混じり砂 ~ 礫混じり粘土状となる 55.87 ~ 55.92m $\angle 20^\circ$ 幅 20 ~ 40mm 淡緑灰色 ~ 灰白色を呈する極軟質な粘土 55.92 ~ 56.09m 固結破砕部 56.09 ~ 56.20m 緑灰色粘土 上端 $\angle 10^\circ$ 下端 $\angle 20 \sim 25^\circ$
花崗閃緑岩 (弱破砕部)	2.5GY 7/1	D		3	10	10	IV	56.20 ~ 56.56m 花崗閃緑岩 (一部断層破砕部) 56.20 ~ 56.30m 破砕されていない花崗閃緑岩 56.30 ~ 56.56m せん断面を多く伴う
断層破砕部		C ~ (D)		2 ~ (3)			III ~ IV	56.56 ~ 57.12m 花崗閃緑岩 (断層破砕部) 56.56m $\angle 10^\circ$ 56.56 ~ 56.69m 断層破砕部 緑灰色の粘土を 60 ~ 70% 含む 56.69 ~ 56.80m 上端 $\angle 45^\circ$ 下端 $\angle 10^\circ$ 明緑灰色 ~ 灰白色を呈する極軟質な粘土 56.80 ~ 56.90m 軟質な礫混じり粘土 ~ 粘土混じり礫 56.90 ~ 57.12m $\angle 20 \sim 10^\circ$ 粘土化した軟質な花崗閃緑岩
断層破砕部	2.5GY 7/1	C		2	10	10	IV	57.12 ~ 57.45m 花崗閃緑岩 (弱破砕部 ~ 断層破砕部) 全体に著しく破砕された花崗閃緑岩 $\angle 45^\circ$ の剪断面多く伴う 一部粘土化進む
断層破砕部	7.5GY 7/1	D		3			III	57.45 ~ 57.60m 花崗閃緑岩 (弱破砕部) 57.60 ~ 57.70m 断層破砕部 上端 $\angle 50^\circ$ 下端 $\angle 10^\circ$
断層破砕部	7.5GY 7/1	D ~ (E)		4			IV	57.60 ~ 57.65m 粒子再配列部 57.65 ~ 57.70m 緑灰白粘土
断層破砕部	7.5GY 7/1	E		4			V	57.70 ~ 59.45m 花崗閃緑岩 (一部弱破砕部) 幅 10cm 以下の間隔で小断層が発達 破砕度 II ~ III 57.95 ~ 57.97m $\angle 20^\circ$ 灰色を呈する極軟質な粘土 58.05m $\angle 80^\circ$ 幅 1 ~ 2cm で灰色を呈する軟質な粘土 58.56 ~ 58.85m $\angle 20 \sim 60^\circ$ 幅 10mm 以下の小断層多い
断層破砕部	7.5GY 7/1	D	β	3	23	23	III ~ IV	59.45 ~ 59.61m 花崗閃緑岩 (断層破砕部 ~ 弱破砕部) 緑灰色 ~ 灰色を呈する粘土 ~ 粘土混じり礫 上端 $\angle 30^\circ$ 下端 $\angle 30^\circ$
断層破砕部	7.5GY 7/1	C ~ (D)		2	44	30	II ~ III	59.61 ~ 59.76m 花崗閃緑岩 (弱破砕部) 59.76 ~ 59.93m 断層破砕部 59.76 ~ 59.79m $\angle 25^\circ$ 幅 30 ~ 40mm 緑灰色を呈する極軟質な粘土 59.79 ~ 59.90m 粘土混じり礫 59.90 ~ 59.93m $\angle 30^\circ$ 幅 20 ~ 30mm 緑灰色を呈する極軟質な粘土 59.93 ~ (60.00) m 花崗閃緑岩
断層破砕部	10G 6/1	C		4	12	12	V	
断層破砕部	10GY 7/1	E		4			IV	
断層破砕部	5G 7/1	E		4			III	
断層破砕部		C		2			IV	
断層破砕部		E		2			II	

D ~ (E)は、D を主体とし部分的に E を含む場合を示す。

宿屋No. 10(6の5)

GL=12.187m

L=90.0m

60	地層名	色 調	硬さ	風化	変質	RQD	最大 コア長	破碎 度	記 載
60.40	花崗閃緑岩	5BG 5/1	C		3			II	
61.77	断層破砕部	5GY 7/1	E		4	10	10	V	(60.00) ~ 60.20m 花崗閃緑岩 60.20 ~ 61.77m 断層破砕部 有色鉱物は緑泥石化、長石はすべて粘土(白色)化し、石英粒子のみ残る。全体に軟質 岩組織が残らず原岩判別つかない
62.00	断層破砕部					14	14		61.77 ~ 62.00m 花崗閃緑岩 (断層破砕部) 有色鉱物は緑泥石化しているが、わずかに花崗岩組織が残る。
62.25	断層破砕部		D		3			IV	61.70m 30°
	断層破砕部		E		4			V	61.93m 50° 幅 5~6mm 灰白色を呈する細礫混じり粘土 62.00 ~ 62.25m 断層破砕部 著しく破碎され粘土化する 灰色~緑灰色
	花崗閃緑岩 (断層破砕部)	5BG 5/1	D~E		2	0	2	IV	62.25 ~ 64.73m 花崗閃緑岩 (断層破砕部) 62.35 ~ 62.40m 幅 30mm の淡緑白色を呈する角礫混じり粘土 上端 45° 下端 30° 62.55 ~ 62.58m 30° 幅 10~15mm 灰色粘土 62.80 ~ 62.85m 45° 砂混じり粘土 幅 20~30mm 境界やや不明瞭 63.61 ~ 63.66m 50° 幅 20mm 淡緑灰色を呈する粗粒砂混じり粘土 63.88m 50° 幅 30~40mm 緑灰色~灰白色を呈する細礫混じり粘土
64.73	断層破砕部	5GY 7/1	C		2			IV	64.73 ~ 64.85m 花崗閃緑岩 (断層破砕部) 64.85 ~ 65.90m 花崗閃緑岩 (断層破砕部) 64.95m 断層 70° 完全に固結し断層面密着 65.25 ~ 65.43m 20~45° の固結した断層 3 条あり 幅 3~4mm 緑灰色粘土伴う 65.57 ~ 65.72m 上端 50° 下端 40° 緑灰色を呈するやや軟質な細礫混じり粘土 幅 100mm 程度
65.90	断層破砕部	2.5GR 8/1 10GY 6/1 7.5GY 7/1	E		4	0	0	V	65.90 ~ 69.00m 断層破砕部 65.90m 境界 5~10° 灰白色~淡緑灰色を呈する粘土化した変質花崗岩 原岩組織が判別できないほど粘土化著しい 66.06m 25° 幅 5~20mm 白色を呈する軟質な粗粒砂混じり粘土 66.83m 40° 幅 10mm 石英脈 67.29m, 67.36m, 67.49m, 67.51m, 67.62m 幅 1~3mm 20~40° の緑泥石脈を伴う
69.00	断層破砕部				0	0			69.00 ~ 69.30m 断層破砕部 60° 固結した断層破砕部 69.00m 幅 20mm 灰色粘土 69.02 ~ 69.30m 礫混じりシルト状 φ2~3.5mm の礫を 25% 含む
69.30	断層破砕部	5R 6/1	D		4	0	0	IV	69.30 ~ 69.36m 断層破砕部 暗褐色~灰色を呈する極軟質な粘土 上端 60°
69.36	断層破砕部	2.5GY 7/1			0	0		V	69.36 ~ 69.70m 花崗岩 (断層破砕部) 粗粒砂状の石英を 3~5% 含む軟質な灰白色粘土 60°
69.70	断層破砕部	5R 6/1	D					V	69.70 ~ 70.58m 断層破砕部 69.70 ~ 70.58m 灰色を呈する 花崗岩起源の固結した角礫混じり粘土 70.58 ~ 70.85m 泥岩 (断層破砕部) (断層部に取り込まれた泥岩)
70.58	断層破砕部	7.5GY 6/1	C		80	80		V	70.85 ~ 72.30m 断層破砕部 70.85 ~ 71.00m 幅 60mm やや軟質な灰色粘土 71.00m 60° 幅 20mm やや軟質な灰色粘土 上端に幅 2mm の石英脈伴う 71.00 ~ 71.12m 泥岩 71.25 ~ 71.70m 泥岩を伴う (引き延ばされ一部墨流し状を呈する) 71.70 ~ 72.30m 亜円礫混じりの固結粘土 71.70 ~ 71.88m 褐灰色を呈する固結粘土 泥岩の亜円礫点在 φ2~3mm の長石点在 71.88 ~ 72.30m 灰色を呈する固結粘土 φ2~12mm で円礫状の長石を含む 72.30m 70° 断層 幅 50mm 暗灰色砂状破砕部
72.30	断層破砕部	5YR 4/1 2.5GY 6/1 5YR 4/1 5P 6/1 10Y 5/1 5B 5/1	D		4	100	100	V	72.30 ~ 72.50 m 細粒砂岩 灰色を呈する細粒砂岩~ややシルト質な細粒砂岩
72.50	断層破砕部	10Y 4/1	C		74	52			72.50 ~ 74.38 m 泥岩 灰色~灰オリーブ色を呈する泥岩 72.50 ~ 73.16m 塊状泥岩 73.16 ~ 74.38m 泥岩 幅 1~2mm の葉理発達 30~70° 73.70 ~ 74.15m 幅 2mm 黒色炭化物層が 70~80° で連続し微小断層で何度も切られる
74.38	断層破砕部	7.5Y 4/2			1	26	14	II	74.38 ~ 74.80m 断層破砕部 74.38m 50° 幅 20mm 灰色を呈する砂混じり粘土 74.38 ~ 74.80m 泥岩礫や花崗岩礫が点在するやや軟質な粘土 礫は φ2~15mm で、引き延ばされている
74.80	断層破砕部	10G 6/1	D		4	19	19	V	74.80 ~ 74.92m 断層破砕部 灰色~暗灰色~淡緑灰色を呈する粘土
74.92	断層破砕部	5G 7/1	E					V	74.92 ~ (75.00) m 泥岩
75.00	断層破砕部	5G 7/1	E					V	
75.00	泥岩	7.5Y 3/2	D		1			II	

(軟質部は RQD, 最大コア長にカウントしない)

75

80

85

90

地層名	色 調	硬さ	風化	変質	RQD	最大 コア長	破砕 度	記 載
泥岩	7.5Y 3/2	C		1			II	(75.00) ~ 83.80m 泥岩
断層破砕部	5G 6/1	D		3	50	30	V	オリブ黒色 (～黄褐灰色) を呈する泥岩 幅 1～2mm の葉理が発達する
					78	53		75.10m 炭質物片を含む。 75.20m 固結した小断層 $\angle 20^\circ$ 75.40～75.52m 青灰色の粘土からなる断層破砕部 76.00～77.00m 付近 葉理 $\angle 40 \sim 50^\circ$ 77.00～78.00m 付近 葉理 $\angle 90^\circ$ 小断層で切られる 78.00～79.00m 付近 葉理 $\angle 60 \sim 70^\circ$ 小断層で切られる 79.00～80.00m 付近 葉理 $\angle 90^\circ$ 小断層で切られる。
泥岩	7.5Y 3/2	C	α ～(β)	1	95	46		
					81	81	II	
					75	75		
	7.5Y 3/2	C			68	52		80.22m $\angle 45^\circ$ 幅 10mm 細片状を呈する泥岩破砕部 80.22～81.08m 比較的均質・塊状のシルト岩 81.08～83.28m 泥岩 葉理発達 81.08m $\angle 30^\circ$ 幅 1～6mm の黒ずじ状の固結断層
断層破砕部	10G 6/1	E		4	73	33	V	81.08～81.43m $\angle 85^\circ$ の葉理 81.44～81.56m 淡緑灰色の粘土からなる軟質な断層破砕部 泥岩の岩片含む 上端と下端で傾斜方向が逆になる (81.44m $\angle 65 \sim 70^\circ$ 81.56m $\angle 60^\circ$) 81.87～81.91 m $\angle 60^\circ$ 幅 50mm 塊状シルト中に泥岩が挟まれる 葉理 $\angle 60^\circ$ 82.00～83.28 m 泥岩 葉理は多数の小断層に切られる 82.85 m $\angle 85^\circ$ 幅 2～3mm 灰色粘土を伴う固結した断層
泥岩	7.5Y 3/2	C	α	1	62	31	II	
	10Y 4/1		γ					
	5Y 4/1							
断層破砕部	10G 6/1	E	α	4	56	32	V	83.28～83.42 m $\angle 30^\circ$ 緑灰色粘土 泥岩岩片を含む 泥岩礫は引き伸ばされ、回転している。
泥岩	5Y 4/2	C	γ	1			II	
断層破砕部	10G 6/1	E	α	4			V	83.80～84.13m 泥岩 (断層破砕部)
泥岩	7.5YR 4/1	C	γ	3			IV	83.80～84.08 m 断層破砕部 $\phi 10 \sim 40$ mm の泥岩片を含む淡緑灰色粘土 上端 $\angle 70^\circ$
花崗岩 (断層破砕部)	10Y 8/1	D	α	3	10	10	V	84.08～84.13 m $\angle 50 \sim 60^\circ$ 変質した赤褐色泥岩を挟む
断層破砕部	5R 5/1	E		4			V	84.13～84.88m 花崗岩 (断層破砕部)
花崗岩 (断層破砕部)	10GY 7/1	D		3			IV	84.13～84.40 m 断層破砕部 $\angle 50 \sim 60^\circ$ 花崗岩組織を残しているが軟質化 (粘土分 20～30%含む)
	5PB 7/1	C		2				
	10GY 6/1	C			90	90		84.40～84.50 m 暗灰色を呈する粘土と泥岩片の混在部で全体に軟質 $\angle 50^\circ$ 84.50～84.60 m 灰色を呈する軟質な粘土からなる断層破砕部 幅 40～50mm $\angle 60^\circ$ 84.60～84.88 m 断層破砕部 上端は $\angle 60^\circ$ 下端は $\angle 30^\circ$ 花崗岩塊混じる
花崗岩 (弱破砕部)	5PB 5/1	C			100	100	III	84.88～88.28m 花崗岩 (弱破砕部) 淡緑灰色～赤褐色を呈する花崗岩 $\phi 2 \sim 40$ mm の垂門礫状の花崗閃緑岩、閃緑岩、花崗岩を 15～50%程度含む。 86.85m $\angle 60^\circ$ 灰色～暗褐色を呈するやや軟質な粘土 (再固結した粘土)
	5R 5/1	D	α	2				87.51～87.53m 幅 20mm の淡緑灰色粘土からなる再固結した断層 $\angle 45^\circ$ 87.73m, 87.99m 淡緑灰色粘土からなる再固結した断層 $\angle 20^\circ$ 88.09m 再固結した断層 $\angle 60^\circ$ 幅 3～50mm の灰色を呈する細粒砂状部 幅 5mm の粒子再配列部伴う
	5PB 5/1	C			95	48		
花崗岩 (断層破砕部)	10G 6/1	D		3	50	31	IV～V	88.28～88.80m 花崗岩 (断層破砕部) 緑灰色を呈する軟質な礫混じり粘土 下端 $\angle 45 \sim 50^\circ$
花崗岩 (断層破砕部)	5R 5/1	C			100	100	IV	88.80～90.00m 花崗岩 (断層破砕部) 赤褐色を呈する花崗岩 $\angle 60 \sim 80^\circ$ の剪断面が発達 89.81m $\phi 25 \times 40$ mm の花崗岩の健岩を礫状に含む

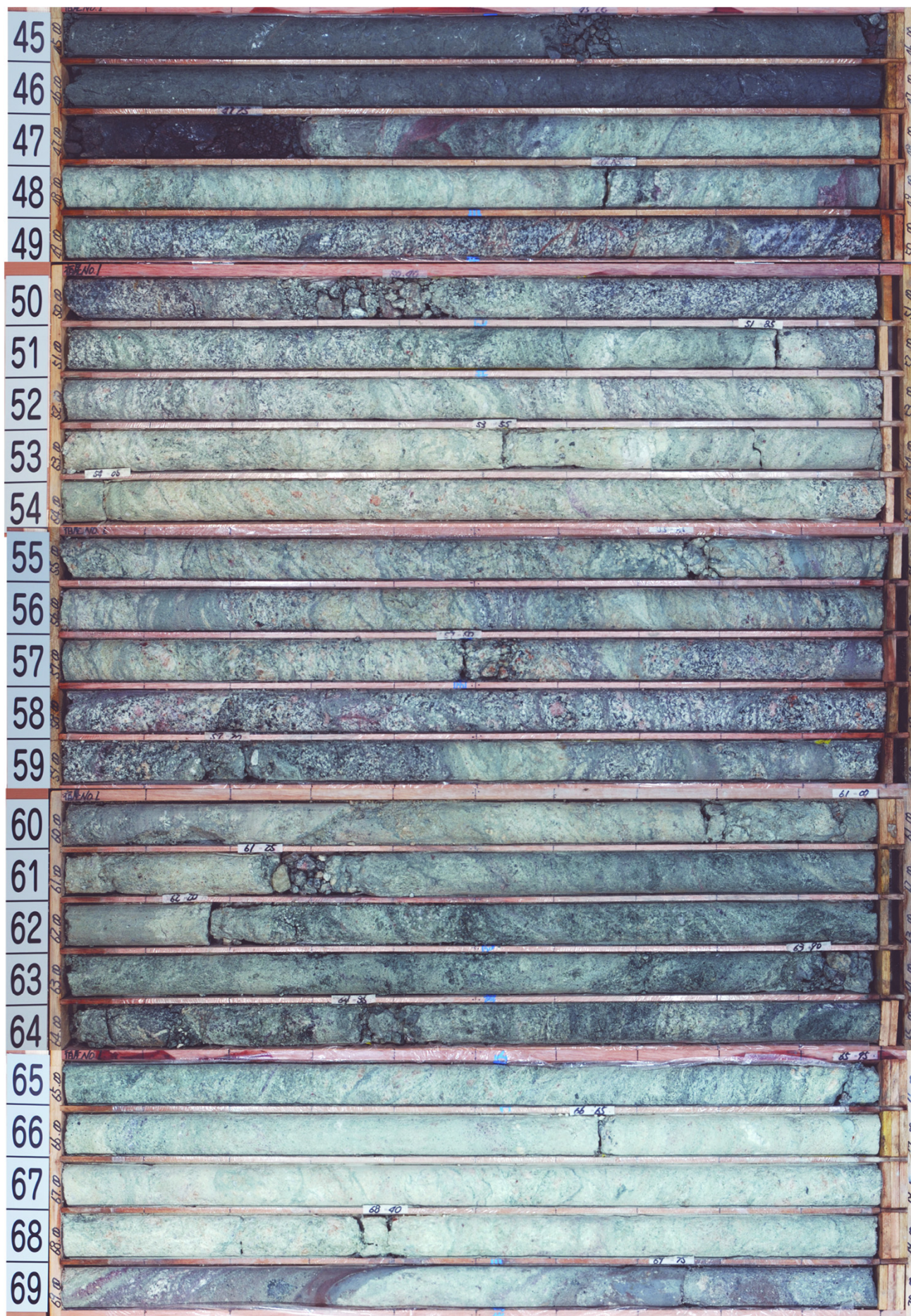
宿屋No.10 (0.00～20.00m)



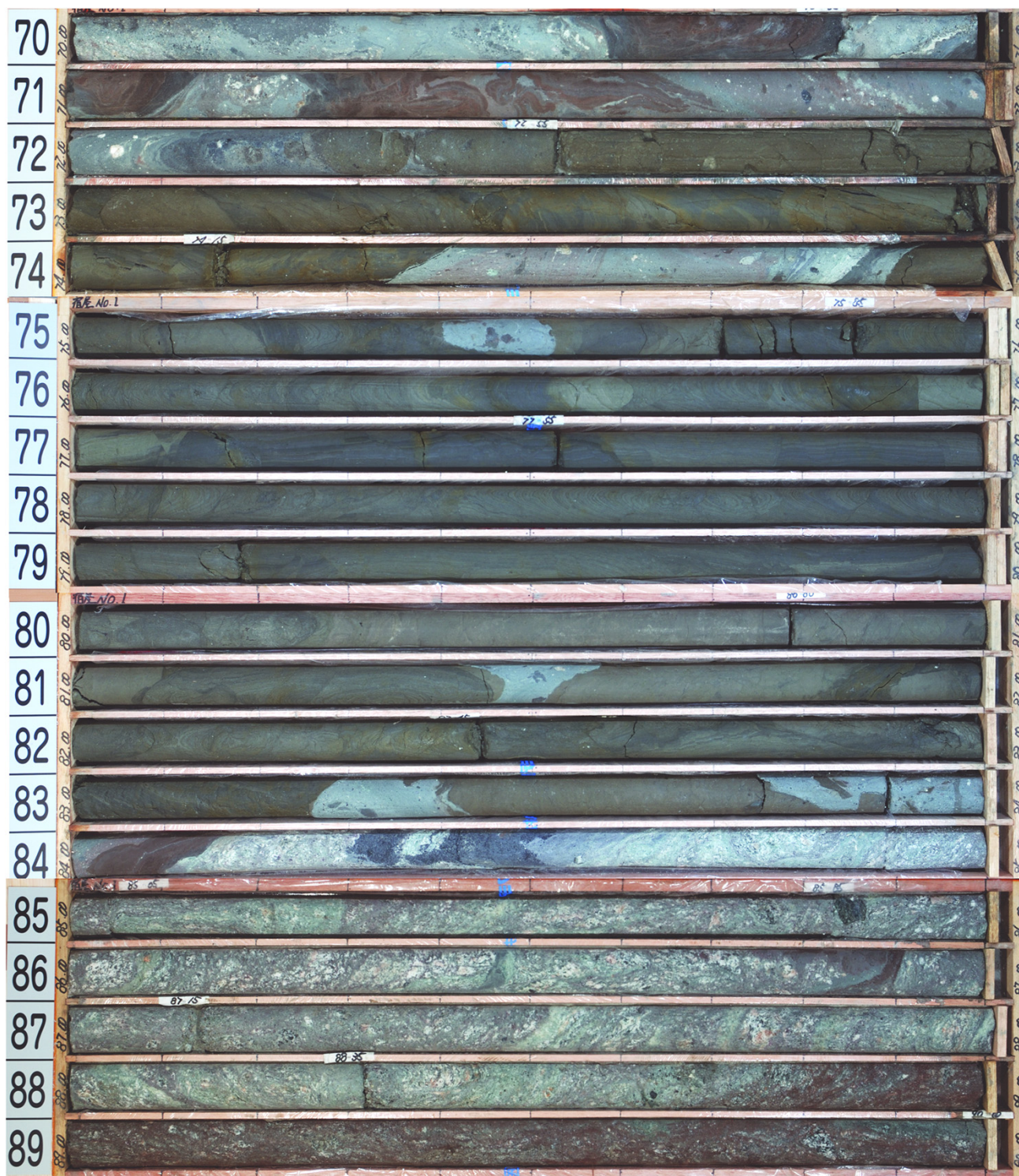
宿屋No.10 (20.00~45.00m)



宿屋No.10 (45.00～70.00m)



宿屋No.10 (75.00～90.00m)



地質柱状図	色調	地質記載	¹⁴ C 年代 測定値	火山灰 分析結果
<div><div><div>(見掛角度)</div><div>0</div><div>0.10</div><div>0.43</div><div>1</div><div>1.50</div><div>1.55</div><div>2</div><div>2.17</div><div>3</div><div>3.28</div><div>3.72</div><div>4</div><div>4.10</div><div>4.59</div><div>4.80</div><div>5</div><div>5.83</div><div>6</div><div>6.92</div><div>7</div><div>7.12</div><div>7.19</div><div>7.26</div><div>8</div><div>8.35</div><div>8.60</div><div>8.83</div><div>9</div></div><div><div>0.10</div><div>0.43</div><div>1.00</div><div>1.50</div><div>1.55</div><div>1.80</div><div>2.17</div><div>3.28</div><div>3.72</div><div>4.10</div><div>4.35</div><div>4.50</div><div>4.59</div><div>4.80</div><div>5.20</div><div>5.50</div><div>6.02</div><div>6.32</div><div>6.55</div><div>6.6</div><div>6.73</div><div>6.85</div><div>7.12</div><div>7.19</div><div>7.26</div><div>7.32</div><div>7.67</div><div>7.73</div><div>8.0</div><div>8.35</div><div>8.60</div><div>8.83</div></div><div><div>0.10</div><div>0.43</div><div>1.00</div><div>1.50</div><div>1.55</div><div>1.80</div><div>2.17</div><div>3.28</div><div>3.72</div><div>4.10</div><div>4.35</div><div>4.50</div><div>4.59</div><div>4.80</div><div>5.20</div><div>5.50</div><div>6.02</div><div>6.32</div><div>6.55</div><div>6.6</div><div>6.73</div><div>6.85</div><div>7.12</div><div>7.19</div><div>7.26</div><div>7.32</div><div>7.67</div><div>7.73</div><div>8.0</div><div>8.35</div><div>8.60</div><div>8.83</div></div></div>	<div><div>5Y 4/1 灰</div><div>5Y 6/3 オリーブ黄</div><div>2.5Y 6/6 明黄褐</div><div>7.5Y 7/3 浅黄</div><div>2.5Y 4/2 暗灰黄</div><div>2.5Y 6/6 明黄褐</div><div>10GY 7/1 明緑灰</div><div>5Y 3/1 オリーブ黒</div><div>5Y 4/1 灰</div><div>2.5Y 6/4 にぶい黄</div><div>2.5Y 6/2 灰黄</div><div>5GY 7/1 明オリーブ灰</div><div>2.5Y 7/6 明黄褐</div><div>10GY 7/1 明緑灰</div><div>5Y 7/6 黄</div><div>2.5Y 6/2 灰黄</div><div>10YR 5/6 黄褐</div><div>5Y 6/2 灰オリーブ</div><div>10GY 5/1 緑灰</div><div>7.5Y 6/2 灰オリーブ</div><div>7.5Y 6/2 灰オリーブ</div><div>2.5Y 6/2 (一部 10YR 6/6)</div><div>10Y 7/2 灰白</div><div>2.5Y 6/6 明黄褐</div><div>10YR 6/6 明黄褐</div><div>2.5Y 6/6 明黄褐</div><div>10YR 6/6</div><div>5Y 7/4</div><div>10YR 6/6 明黄褐</div><div>7.5Y 6/2 灰オリーブ</div><div>10YR 6/4 にぶい黄橙</div><div>2.5Y 6/4 にぶい黄</div><div>7.5GY 6/1 緑灰</div><div>2.5GY 6/1 黄灰</div><div>5GY 5/1 オリーブ灰</div></div>	<div><div>0.00～0.10m 表土 粗粒砂混じりシルト 植物根を多く含む。</div><div>0.10～0.43m 粘土 オリーブ黄色を呈する極軟質な粘土 上部はややシルト質</div><div>0.43～1.50m 粘土 (ややシルト質) 明黄褐色～浅黄色を呈する粘土 わずかにシルト分伴う 所々、粗粒砂～細礫を少量含む。</div><div>1.00～1.24m やや黄褐色化した部分を伴う。植物根を伴う。</div><div>1.33～1.37m 粗粒分伴う。</div><div>1.50～1.55m 腐植質シルト 黄褐色を呈する腐植質シルト</div><div>1.55～2.17m シルト 1.55～1.78m 黄灰色を呈するシルト 1.70～1.78m 腐植物やや多い。 1.78～2.17m 明緑灰色を呈するシルト質粘土 2.00mまで植物根を含む。 2.08～2.10m 花崗岩および頁岩起源の粗粒砂を 10～15%含む。</div><div>2.17～3.28m 腐植質粘土 オリーブ黒色の腐植質粘土 φ2～20mm の泥岩礫、花崗岩礫が 5～7%点在する 下部ほど多い。 上端は凹凸が著しく、上位層により削られている。∠30° (見掛けの傾斜) 下位層とはやや漸移的</div><div>3.28～3.72m 礫混じりシルト質中粒～細粒砂 にぶい黄色を呈するシルト質中粒～細粒砂 φ2～25mm (代表 φ 3～5mm) の円～亜円を 10～13%程度含む。 クサリ礫目立つ 3.35～3.40m付近 腐植物片点状する 下位層との境界∠60° (見掛けの傾斜)</div><div>3.72～4.10m シルト 灰黄色を呈するシルト 上部はわずかに砂質となる 下位層へ漸移</div><div>4.10～4.59m 粘土 明オリーブ灰色～明緑灰色を呈する粘土 下部に φ5～20mm の原岩不明なほど強風化したクサリ礫を含む。 下位層との境界凹凸あり</div><div>4.59～4.80m 礫 φ2～30mm、代表 φ5mm 程度と φ15～25mm の亜円～亜角礫を 30%程度含む 礫種は安山岩、泥岩、花崗岩 基質支持</div><div>4.80～5.00m 礫混じり粗粒砂 灰黄色を呈する礫混じり粗粒砂 シルト分を含む φ2～30mm、代表 φ3～5mm の礫を 10～15%含む 礫種は上位層と同質</div><div>5.00～5.83m 中礫 5.00～5.52m φ5～7mm、φ40～60mm を主体とする円～亜円礫を 40～50%含む 5.52～5.83m φ10～20mm を主体とする円～亜円礫を 90%以上含む 礫種は安山岩、泥岩、岩種不明のクサリ礫、花崗岩、チャートおよび頁岩 5.52m以浅は基質支持 5.52m以深は頁岩、安山岩主体で礫支持</div><div>5.83～6.02m 極細粒砂 灰オリーブ色を呈するルーズな極細粒砂 塊状で極めて淘汰良好</div><div>6.02～6.73m 細粒砂 灰オリーブ色を呈するアルコース質の細粒砂 所々に中粒～粗粒砂含む 6.07m付近 厚さ 10mm の中粒砂を挟む 6.20m付近 中粒砂粒子点在 6.28m 厚さ 10mm 以下の粗粒砂を挟む 6.40m付近 酸化褐色化 6.32～6.54m 斜交ラミナ ∠30～35° (見掛けの傾斜)</div><div>6.73～6.85m 中粒～粗粒砂 明黄褐色を呈する中粒～粗粒砂 やや淘汰悪い</div><div>6.85～6.96m 中粒砂 黄褐色呈する中粒砂</div><div>6.96～7.12m 礫混じり中粒砂 φ2～20mm の亜角～亜円礫を 3～5%程度含む礫混じり中粒砂 礫種は安山岩からなる 下位層との境界 ∠5～7° (見掛けの傾斜)</div><div>7.12～7.19m シルト質極細粒砂 明黄褐色を呈するシルト質極細粒砂 平行ラミナ ∠5～7° (見掛けの傾斜)</div><div>7.19～7.26m 礫 φ20～30mm の安山岩の角礫～亜円礫を 50%含む。但し、7.23～7.25mは細粒砂</div><div>7.26～7.67m 極細粒砂 灰オリーブ色を呈するアルコース質の極細粒砂 淘汰良好 7.45～7.63m ラミナ∠30° (見掛けの傾斜)</div><div>7.67～7.73m 中粒砂 にぶい黄橙色を呈する中粒砂 酸化による縞状部を伴う。</div><div>7.73～8.35m シルト質細粒砂 にぶい黄色～緑灰色を呈するシルト質細粒砂 8.05mで色調が急激に変化する。 8.20～8.35m付近 小さな腐植物片が点在する。 下位層に漸移する</div><div>8.35～8.60m 細粒砂 緑灰色を呈する細粒砂 下部はやや中粒で正級化を呈する。</div><div>8.60～8.83m 礫混じり粗粒砂 φ2～5mm の安山岩および花崗岩の角～亜角礫を 5～7%含む礫混じり粗粒砂</div><div>8.83～(9.00) m 粘土 オリーブ灰色を呈する粘土</div></div>		